

令和6年度
高山市まちづくりアンケート調査
—報告書—

令和7年1月

高山市

目次

第1章 調査の概要

1	調査の目的	1
2	調査の期間	1
3	調査の項目	1
4	調査の方法	1
5	回収結果	1
6	標本の構成	2
7	その他	2

第2章 調査結果の分析

1 高山市での暮らしについて

1	現在の市民幸福度	3
2	現在の幸せを判断する際に重視した事項	5
3	5年後の市民幸福度	14
4	将来の幸せを判断する際に重視する事項	16

2 高山市の市政運営について

1	市政運営への関心	25
2	高山市の取り組みに対する満足度	28

3 高山市のまちづくりに関するご意見など

自由記述	39
------	----

第Ⅰ章 調査の概要

Ⅰ 調査の目的

高山市第九次総合計画の策定に向けた市民意識の把握・分析、今後の評価検討のため

2 調査の期間

令和6年11月1日～12月5日

3 調査の項目

○高山市での暮らしについて

- ・現在の幸福度
- ・5年後の幸福度

○高山市の市政運営について

- ・市政運営への関心
- ・高山市の取り組みに対する満足度

○その他、高山市のまちづくりへの意見など（自由記述）

4 調査の方法

調査地域	高山市内全地域
実施方法	郵送による配布、郵送・インターネットによる回答、無記名式
調査対象	18歳以上の市民、3,000人
抽出方法	令和6年10月19日現在の住民基本台帳から無作為抽出

5 回収結果

発送数	3,000人
回収数	1,202人
回収率	40.1%

6 標本の構成

		件数 (件)	構成比 (%)
性別	男性	550	45.8
	女性	595	49.5
	無回答	57	4.7
年齢	10・20代	61	5.1
	30代	100	8.3
	40代	184	15.3
	50代	182	15.1
	60代	262	21.8
	70代以上	402	33.4
	無回答	11	0.9
居住地域	高山地域	753	62.7
	東地区	68	5.7
	西地区	71	5.9
	南地区	83	6.9
	北地区	126	10.5
	山王地区	106	8.8
	江名子地区	50	4.2
	新宮地区	79	6.6
	三枝地区	39	3.2
	大八地区	58	4.8
	岩滝地区	6	0.5
	花里地区	67	5.6
	丹生川地域	72	6.0
	清見地域	29	2.4
	荘川地域	16	1.3
	一之宮地域	38	3.2
	久々野地域	43	3.6
	朝日地域	26	2.2
	高根地域	13	1.1
	国府地域	113	9.4
	上宝・奥飛騨温泉郷地域	47	3.9
	無回答	52	4.3

		件数 (件)	構成比 (%)
家族構成	単身世帯	134	11.2
	夫婦のみ	328	27.3
	二世代世帯 (うち中学生以下の子と同居)	494 (152)	41.1 (12.7)
	三世代世帯 (うち中学生以下の子と同居)	197 (119)	16.4 (9.9)
	その他(※1)	27	2.3
	無回答	22	1.8
職業	農林畜産業	52	4.3
	自営業	138	11.5
	会社員・公務員・団体職員	390	32.5
	パート・アルバイト・内職	207	17.2
	家事従事者	61	5.1
	学生	17	1.4
	無職	279	23.2
	その他(※2)	15	1.3
	無回答	43	3.6
定住年数	1年未満	21	1.8
	1年以上～5年未満	32	2.7
	5年以上～10年未満	39	3.2
	10年以上～20年未満	92	7.7
	20年以上	999	83.1
	無回答	19	1.6
居住形態	持ち家(分譲マンション・家族所有含む)	1,040	86.5
	借家(アパート含む)	111	9.2
	間借	5	0.4
	社宅・寮	13	1.1
	その他(※3)	11	0.9
	無回答	22	1.8
「その他」の内容 ※1 四世代世帯、兄弟と同居、 など ※2 会社役員 など ※3 施設入所 など			

7 その他

・この報告書における「回答率」は、次の計算式により算出している。

回答率＝回答数／標本数

回答率は百分率(%)で、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計値が必ずしも100%とならない。また、2つ以上の回答を求めたものについての合計値は100%を超える。

第2章 調査結果の分析

Ⅰ 高山市での暮らしについて

Ⅰ 現在の市民幸福度

- ・ 現在の市民幸福度は10点中6.8点である。
- ・ 幸福度の割合については、「8点」と回答した割合が最も高く（24.2%）、次いで「7点」（19.6%）、「5点」（19.5%）が高い。

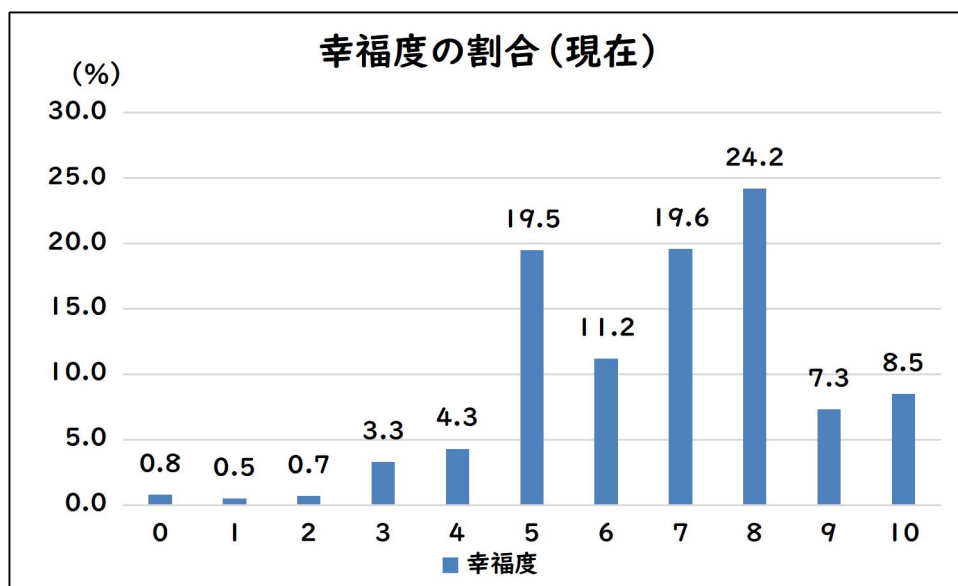
問Ⅰ

現在、あなたは、どの程度しあわせですか。日々の高山市での暮らしを振り返ってお答えください。

「とてもしあわせ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。
あなたの実感に近い数字を1つ選び、数字に○をつけてください（1つに○印）

	市民幸福度（点）
現在の市民幸福度	6.8

（標本数：1,177件）



■属性別集計（年齢別）

年齢別	市民幸福度（点）
10代・20代	6.6
30代	6.4
40代	6.7
50代	6.5
60代	6.6
70代以上	7.1

【年齢別】

- ・市民幸福度が最も高いのは、70代以上が最も高く、30代が最も低い。
- ・各年代において、市民幸福度に大きなバラつきは見られない。

2 現在の幸せを判断する際に重視した事項

- ・ 「体や心が健康な状態であること」が最も高い。
- ・ 「新たな事に挑戦・成長するための機会があること」と「国内外から人が訪れたくなる魅力があること」が最も低い。

問2

現在のあなたが、「幸せ」かどうかを判断する際に重視した事項は何ですか。（3つまで○印）

順位		回答数（件）	回答率（%）
1	体や心が健康な状態であること	825	68.6
2	近くに家族や友人、知人がいること	479	39.9
3	身近に豊かな自然があること	346	28.8
4	生活を送るために必要な収入があること	338	28.1
5	子ども達がいきいきと暮らせること	178	14.8
6	近隣の人と助け合う関係を築けていること	172	14.3
7	医療機関（病院や薬局など）が充実していること	171	14.2
8	出かける際の移動が便利なこと	130	10.8
9	やりたい仕事や安定した仕事ができること	123	10.2
10	買い物や外食を身近で楽しめること	114	9.5
11	介護・福祉施設のサービスが受けやすいこと	112	9.3
12	自宅や公園など心地のよい居場所があること	102	8.5
13	スポーツや文化芸術活動など楽しい時間を過ごせること	59	4.9
14	地域のまちなみがきれいなこと	56	4.7
15	防災対策がしっかりしており、安全で安心して暮らせること	53	4.4
16	万が一の際の消防救急体制が確保されていること	44	3.7
17	自分が望む子育てができるような環境があること	41	3.4
18	教育環境（小中高等学校）が整っていること	33	2.7
19	新たな事に挑戦・成長するための機会があること	30	2.5
	国内外から人が訪れたくなる魅力があること	30	2.5
—	その他	19	1.6
—	無回答	19	1.6
	計	3,474	

（標本数：1,202件）

(単位:%)



■ 令和6年度(標本数:1,202件)

属性別集計（年齢別）

		年齢					
		10代・20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
標本数（件）		61	100	184	182	262	402
現在の幸せを判断する際に重視した事項（％）	体や心が健康な状態であること	55.7	65.0	64.7	68.7	74.8	69.4
	近くに家族や友人、知人がいること	54.1	41.0	38.6	33.0	35.5	43.8
	身近に豊かな自然があること	41.0	16.0	30.4	32.4	28.2	28.4
	生活を送るために必要な収入があること	21.3	33.0	27.2	35.2	29.0	24.4
	こども達がいきいきと暮らせること	6.6	27.0	32.6	10.4	10.7	10.0
	近隣の人と助け合う関係を築けていること	3.3	7.0	6.0	10.4	12.6	23.6
	医療機関（病院や薬局など）が充実していること	9.8	8.0	7.6	8.8	12.2	23.4
	出かける際の移動が便利なこと	8.2	12.0	6.5	9.9	9.9	14.2
	やりたい仕事や安定した仕事ができること	13.1	15.0	16.8	12.6	12.6	3.0
	買い物や外食を身近で楽しめること	11.5	8.0	6.5	6.0	11.8	11.2
	介護・福祉施設のサービスが受けやすいこと	0.0	4.0	4.9	4.4	9.2	16.2
	自宅や公園など心地のよい居場所があること	11.5	10.0	9.8	10.4	8.4	6.0
	スポーツや文化芸術活動など楽しい時間を過ごせること	14.8	4.0	5.4	2.7	3.8	5.2
	地域のまちなみがきれいなこと	13.1	2.0	3.8	3.8	6.5	3.7
	防災対策がしっかりしており、安全で安心して暮らせること	1.6	1.0	3.8	2.7	5.7	5.7
	万が一の際の消防救急体制が確保されていること	0.0	0.0	0.5	4.4	2.3	7.2
	自分が望む子育てができるような環境があること	3.3	13.0	8.7	2.2	1.1	0.7
	教育環境（小中高等学校）が整っていること	4.9	5.0	4.3	1.6	1.9	2.0
	新たな事に挑戦・成長するための機会があること	4.9	6.0	1.6	1.6	1.9	2.5
	国内外から人が訪れたくなる魅力があること	3.3	1.0	4.3	2.7	3.1	1.5
	その他	3.3	1.0	1.6	2.2	2.7	0.5
	無回答	0.0	1.0	2.2	2.7	1.5	1.2

【年齢別】

- ・全ての年代で「体や心が健康な状態であること」の割合が最も高い。
- ・次に割合が高いのは、50代を除く全ての年代において「近くに家族や友人、知人がいること」である。50代においては「生活を送るために必要な収入があること」が次に高い割合である。

属性別集計（居住地域別）

		居住地域											
		高山地域	東地区	西地区	南地区	北地区	山王地区	江名子地区	新宮地区	三枝地区	大八地区	岩滝地区	花里地区
標本数（件）		753	68	71	83	126	106	50	79	39	58	6	67
現在の幸せを判断する際に重視した事項（％）	体や心が健康な状態であること	70.4	76.5	67.6	67.5	73.0	68.9	76.0	67.1	61.5	69.0	100.0	71.6
	近くに家族や友人、知人がいること	39.0	35.3	36.6	34.9	45.2	44.3	38.0	35.4	33.3	43.1	50.0	34.3
	身近に豊かな自然があること	27.1	38.2	19.7	28.9	23.8	26.4	30.0	34.2	28.2	31.0	16.7	14.9
	生活を送るために必要な収入があること	30.8	22.1	33.8	20.5	29.4	28.3	34.0	34.2	38.5	37.9	50.0	37.3
	こども達がいきいきと暮らせること	13.4	8.8	8.5	20.5	18.3	12.3	16.0	11.4	5.1	10.3	0.0	16.4
	近隣の人と助け合う関係を築けていること	11.3	14.7	9.9	9.6	11.1	10.4	12.0	13.9	15.4	12.1	16.7	6.0
	医療機関（病院や薬局など）が充実していること	15.3	13.2	18.3	15.7	19.0	17.9	10.0	7.6	20.5	10.3	0.0	17.9
	出かける際の移動が便利なこと	12.5	10.3	21.1	15.7	13.5	13.2	10.0	11.4	10.3	6.9	0.0	9.0
	やりたい仕事や安定した仕事ができること	10.0	8.8	11.3	6.0	4.0	12.3	12.0	15.2	7.7	12.1	16.7	13.4
	買い物や外食を身近で楽しめること	10.9	11.8	14.1	9.6	11.9	12.3	6.0	5.1	10.3	8.6	16.7	16.4
	介護・福祉施設のサービスが受けやすいこと	8.2	8.8	7.0	8.4	7.1	10.4	12.0	3.8	10.3	8.6	0.0	9.0
	自宅や公園など心地のよい居場所があること	9.3	14.7	7.0	8.4	10.3	9.4	4.0	13.9	7.7	6.9	0.0	7.5
	スポーツや文化芸術活動など楽しい時間を過ごせること	4.6	4.4	8.5	6.0	5.6	2.8	2.0	5.1	2.6	1.7	0.0	6.0
	地域のまちなみがきれいなこと	5.3	7.4	11.3	8.4	5.6	4.7	2.0	0.0	2.6	1.7	0.0	7.5
	防災対策がしっかりしており、安全で安心して暮らせること	4.6	2.9	4.2	2.4	4.0	4.7	6.0	7.6	7.7	3.4	0.0	6.0
	万が一の際の消防救急体制が確保されていること	3.5	0.0	4.2	4.8	4.8	1.9	6.0	2.5	5.1	3.4	0.0	3.0
	自分が望む子育てができるような環境があること	3.5	2.9	4.2	2.4	5.6	3.8	4.0	2.5	5.1	1.7	0.0	1.5
	教育環境（小中高等学校）が整っていること	2.7	1.5	2.8	0.0	3.2	5.7	2.0	0.0	0.0	3.4	0.0	6.0
	新たな事に挑戦・成長するための機会があること	2.0	1.5	1.4	3.6	0.0	0.9	2.0	1.3	7.7	1.7	0.0	4.5
	国内外から人が訪れたいくなる魅力があること	1.8	0.0	0.0	2.1	1.6	2.2	4.3	0.0	0.0	7.3	8.3	0.0
その他	2.5	4.1	3.9	2.1	0.0	1.1	2.2	1.4	2.6	3.6	8.3	6.3	
無回答	1.7	0.0	1.3	1.0	2.4	1.1	6.5	1.4	0.0	1.8	0.0	1.6	

属性別集計（居住地域別）

		居住地域								
		丹生川地域	清見地域	荘川地域	一之宮地域	久々野地域	朝日地域	高根地域	国府地域	上宝・奥飛騨温泉郷地域
標本数（件）		72	29	16	38	43	26	13	113	47
現在の幸せを判断する際に重視した事項（％）	体や心が健康な状態であること	65.3	75.9	50.0	63.2	69.8	65.4	76.9	64.6	72.3
	近くに家族や友人、知人がいること	36.1	31.0	50.0	47.4	32.6	38.5	38.5	43.4	46.8
	身近に豊かな自然があること	34.7	31.0	43.8	36.8	34.9	46.2	15.4	30.1	29.8
	生活を送るために必要な収入があること	18.1	31.0	18.8	23.7	16.3	23.1	23.1	29.2	29.8
	子ども達がいきいきと暮らせること	16.7	17.2	0.0	21.1	9.3	7.7	7.7	18.6	21.3
	近隣の人と助け合う関係を築けていること	25.0	24.1	6.3	28.9	23.3	26.9	15.4	12.4	19.1
	医療機関（病院や薬局など）が充実していること	16.7	3.4	18.8	5.3	9.3	7.7	7.7	16.8	6.4
	出かける際の移動が便利なこと	5.6	6.9	18.8	7.9	9.3	3.8	0.0	8.8	2.1
	やりたい仕事や安定した仕事ができること	11.1	10.3	12.5	10.5	9.3	7.7	30.8	9.7	8.5
	買い物や外食を身近で楽しめること	5.6	3.4	0.0	7.9	4.7	0.0	0.0	10.6	4.3
	介護・福祉施設のサービスが受けやすいこと	12.5	0.0	12.5	13.2	18.6	15.4	15.4	6.2	10.6
	自宅や公園など心地のよい居場所があること	6.9	13.8	0.0	7.9	2.3	0.0	15.4	8.8	4.3
	スポーツや文化芸術活動など楽しい時間を過ごせること	2.8	0.0	12.5	5.3	11.6	0.0	0.0	6.2	2.1
	地域のまちなみがきれいなこと	2.8	0.0	6.3	2.6	0.0	0.0	7.7	5.3	4.3
	防災対策がしっかりしており、安全で安心して暮らせること	4.2	6.9	12.5	2.6	2.3	3.8	15.4	3.5	0.0
	万が一の際の消防救急体制が確保されていること	4.2	6.9	0.0	7.9	2.3	7.7	0.0	2.7	6.4
	自分が望む子育てができるような環境があること	2.8	3.4	12.5	5.3	2.3	0.0	7.7	2.7	2.1
	教育環境（小中高等学校）が整っていること	4.2	3.4	0.0	5.3	2.3	0.0	0.0	3.5	0.0
	新たな事に挑戦・成長するための機会があること	4.2	6.9	6.3	2.6	0.0	0.0	7.7	1.8	2.1
	国内外から人が訪れたいくなる魅力があること	2.8	0.0	0.0	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0	2.1
	その他	1.4	0.0	0.0	0.0	2.3	0.0	7.7	2.7	0.0
	無回答	2.8	0.0	0.0	2.6	4.7	0.0	0.0	3.5	2.1

【居住地域別】

- ・全ての地域（地区）で「体や心が健康な状態であること」の割合が最も高い。（荘川地域においては「近くに家族や友人、知人がいること」が同率）
- ・次に割合が高いのは、多くの地域（地区）において「近くに家族や友人、知人がいること」であるが、3番目に高いのは、高山地域内では「生活を送るために必要な収入があること」（11地区中6地区）で、支所地域内では「身近に豊かな自然があること」（9地域中4地域）が多い。

属性別集計（家族構成別）

		家族構成						
		単身世帯	夫婦のみ	二世代世帯	（うち中学生以下の子と同居）	三世代世帯	（うち中学生以下の子と同居）	その他
標本数（件）		134	328	494	(152)	197	(119)	27
現在の幸せを判断する際に重視した事項（％）	体や心が健康な状態であること	71.6	70.4	69.0	(60.5)	64.0	(65.5)	77.8
	近くに家族や友人、知人がいること	34.3	34.5	42.5	(36.2)	44.2	(43.7)	44.4
	身近に豊かな自然があること	25.4	29.9	27.7	(24.3)	31.5	(31.9)	37.0
	生活を送るために必要な収入があること	33.6	26.5	27.3	(27.0)	28.9	(28.6)	25.9
	こども達がいきいきと暮らせること	6.7	9.1	16.4	(38.8)	25.4	(32.8)	18.5
	近隣の人と助け合う関係を築けていること	14.9	16.8	11.9	(9.2)	11.7	(10.9)	22.2
	医療機関（病院や薬局など）が充実していること	15.7	16.8	13.0	(8.6)	10.2	(8.4)	3.7
	出かける際の移動が便利なこと	20.9	12.2	7.3	(6.6)	9.6	(8.4)	11.1
	やりたい仕事や安定した仕事ができること	11.9	8.8	10.9	(9.2)	10.7	(10.9)	7.4
	買い物や外食を身近で楽しめること	13.4	11.3	8.9	(6.6)	6.1	(5.9)	0.0
	介護・福祉施設のサービスが受けやすいこと	9.7	8.2	8.9	(5.3)	9.1	(8.4)	11.1
	自宅や公園など心地のよい居場所があること	9.7	7.9	8.7	(9.2)	8.6	(8.4)	7.4
	スポーツや文化芸術活動など楽しい時間を過ごせること	4.5	4.0	5.5	(5.3)	6.1	(6.7)	0.0
	地域のまちなみがきれいなこと	7.5	4.6	4.3	(3.3)	4.1	(2.5)	0.0
	防災対策がしっかりしており、安全で安心して暮らせること	6.0	5.2	3.6	(3.9)	3.6	(3.4)	0.0
	万が一の際の消防救急体制が確保されていること	4.5	3.4	3.2	(1.3)	3.0	(1.7)	3.7
	自分が望む子育てができるような環境があること	1.5	0.9	5.5	(14.5)	4.6	(7.6)	0.0
	教育環境（小中高等学校）が整っていること	0.0	0.9	3.8	(8.6)	5.1	(6.7)	0.0
	新たな事に挑戦・成長するための機会があること	3.0	1.5	3.0	(3.3)	1.5	(2.5)	3.7
	国内外から人が訪れたくなる魅力があること	2.2	1.5	2.6	(3.3)	4.1	(4.2)	0.0
	その他	1.5	1.8	1.6	(2.0)	1.0	(0.8)	0.0
	無回答	1.5	2.4	1.2	(2.6)	0.5	0.0	3.7

【家族構成別】

- ・全ての世帯で「体や心が健康な状態であること」の割合が最も高く、次いで「近くに家族や友人、知人がいること」の割合が高い。

属性別集計（職業別）

		職業							
		農林畜産業	自営業	会社員・公務員・団体職員	パート・アルバイト・内職	家事従事者	学生	無職	その他
標本数（件）		52	138	390	207	61	17	279	15
現在の幸せを判断する際に重視した事項（％）	体や心が健康な状態であること	76.9	64.5	66.9	74.9	82.0	52.9	66.7	80.0
	近くに家族や友人、知人がいること	36.5	39.9	38.2	41.5	54.1	64.7	37.3	40.0
	身近に豊かな自然があること	44.2	26.8	29.5	27.1	27.9	52.9	25.8	26.7
	生活を送るために必要な収入があること	19.2	25.4	30.0	34.8	24.6	5.9	25.4	33.3
	こども達がいきいきと暮らせること	19.2	15.2	17.9	15.9	13.1	5.9	9.3	20.0
	近隣のひとと助け合う関係を築けていること	17.3	18.8	8.2	15.0	18.0	0.0	18.3	0.0
	医療機関（病院や薬局など）が充実していること	7.7	11.6	9.7	9.2	6.6	11.8	26.5	6.7
	出かける際の移動が便利なこと	3.8	6.5	10.3	7.2	4.9	5.9	18.3	0.0
	やりたい仕事や安定した仕事ができること	9.6	13.8	15.4	8.2	1.6	11.8	3.9	13.3
	買い物や外食を身近で楽しめること	1.9	11.6	9.0	7.2	8.2	0.0	12.9	6.7
	介護・福祉施設のサービスが受けやすいこと	9.6	4.3	5.1	3.9	13.1	0.0	18.6	13.3
	自宅や公園など心地のよい居場所があること	9.6	8.7	7.4	9.2	8.2	17.6	7.2	6.7
	スポーツや文化芸術活動など楽しい時間を過ごせること	9.6	4.3	5.6	4.3	4.9	17.6	3.2	0.0
	地域のまちなみがきれいなこと	0.0	5.1	5.6	2.9	3.3	17.6	3.9	6.7
	防災対策がしっかりしており、安全で安心して暮らせること	0.0	2.9	3.6	3.9	6.6	5.9	6.1	0.0
	万が一の際の消防救急体制が確保されていること	3.8	2.2	2.1	1.4	1.6	0.0	7.5	6.7
	自分が望む子育てができるような環境があること	0.0	2.9	6.7	2.9	3.3	0.0	0.7	6.7
	教育環境（小中高等学校）が整っていること	1.9	4.3	3.1	1.9	0.0	11.8	2.5	0.0
	新たな事に挑戦・成長するための機会があること	0.0	4.3	3.1	1.9	1.6	5.9	1.4	0.0
	国内外から人が訪れたくなる魅力があること	3.8	5.1	2.8	1.4	0.0	11.8	1.4	0.0
	その他	0.0	1.4	1.8	1.0	1.6	0.0	1.1	13.3
	無回答	3.8	2.2	1.0	1.4	0.0	0.0	1.4	0.0

【職業別】

- ・ 学生を除いた全ての職業で、「体や心が健康な状態であること」の割合が最も高い。学生は「近くに家族や友人、知人がいること」の割合が最も高い。
- ・ 次に割合が高いのは、多くの職業において「近くに家族や友人、知人がいること」であるが、3番目に高い事項にはバラつきが見られる。

属性別集計（定住年数別）

		定住年数				
		1年未満	1年以上～5年未満	5年以上～10年未満	10年以上～20年未満	20年以上
標本数（件）		21	32	39	92	999
現在の幸せを判断する際に重視した事項（％）	体や心が健康な状態であること	47.6	68.8	82.1	62.0	69.5
	近くに家族や友人、知人がいること	52.4	21.9	28.2	37.0	40.7
	身近に豊かな自然があること	38.1	37.5	28.2	30.4	28.0
	生活を送るために必要な収入があること	28.6	28.1	15.4	19.6	29.5
	子ども達がいきいきと暮らせること	4.8	15.6	25.6	25.0	13.6
	近隣の人と助け合う関係を築けていること	0.0	0.0	2.6	10.9	15.3
	医療機関（病院や薬局など）が充実していること	14.3	9.4	10.3	13.0	14.4
	出かける際の移動が便利なこと	23.8	15.6	12.8	10.9	10.1
	やりたい仕事や安定した仕事ができること	14.3	9.4	15.4	13.0	9.6
	買い物や外食を身近で楽しめること	23.8	9.4	0.0	15.2	8.7
	介護・福祉施設のサービスが受けやすいこと	0.0	9.4	10.3	6.5	9.7
	自宅や公園など心地のよい居場所があること	23.8	6.3	15.4	9.8	7.6
	スポーツや文化芸術活動など楽しい時間を過ごせること	14.3	0.0	7.7	6.5	4.6
	地域のまちなみがきれいなこと	14.3	18.8	5.1	6.5	3.6
	防災対策がしっかりしており、安全で安心して暮らせること	0.0	0.0	0.0	4.3	4.6
	万が一の際の消防救急体制が確保されていること	0.0	0.0	2.6	1.1	3.9
	自分が望む子育てができるような環境があること	4.8	0.0	20.5	6.5	2.6
	教育環境（小中高等学校）が整っていること	0.0	0.0	0.0	5.4	2.7
	新たな事に挑戦・成長するための機会があること	19.0	3.1	2.6	3.3	1.9
	国内外から人が訪れたくなる魅力があること	0.0	6.3	0.0	3.3	2.4
	その他	0.0	3.1	5.1	3.3	1.2
	無回答	0.0	3.1	2.6	0.0	1.6

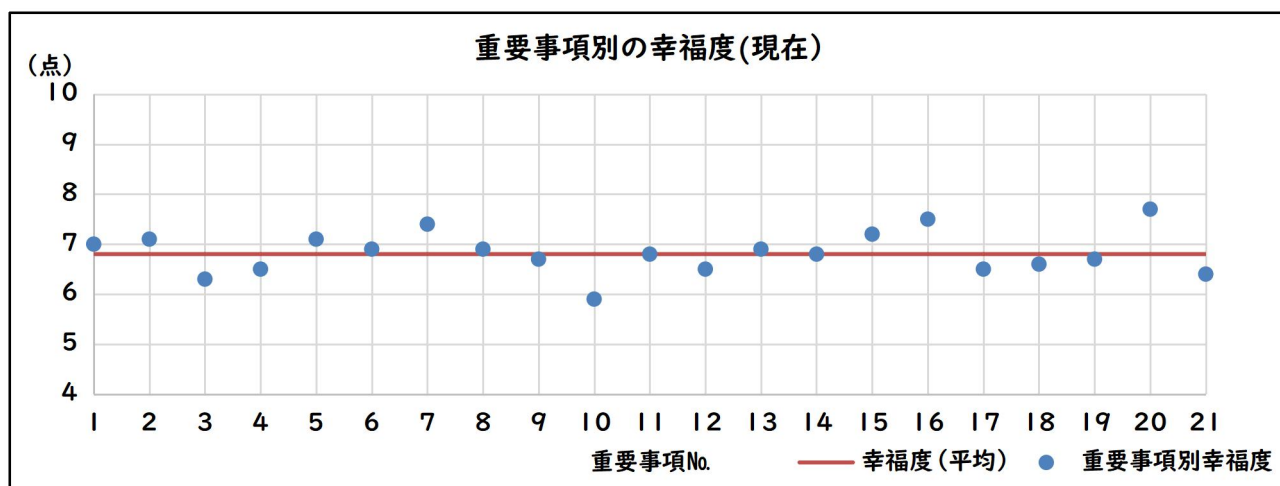
【定住年数別】

- ・ 1年未満を除く全ての年数別で「体や心が健康な状態であること」の割合が最も高い。1年未満は「近くに家族や友人、知人がいること」の割合が最も高い。
- ・ 次に割合が高いのは、多くの年数において「近くに家族や友人、知人がいること」であるが、3番目に高い事項にはバラつきが見られる。

重視事項の回答ごとの市民幸福度（現在）について

- ・ 現在の「幸せ」かどうかを判断する際に重視した事項で「国内外から人が訪れたいくなる魅力があること」と回答した人の市民幸福度が最も高い。
- ・ 「出かける際の移動が便利なこと」と回答した人の市民幸福度が最も低い。

No.	現在の幸せを判断する際に重視した事項	市民幸福度 (点)
1	体や心が健康な状態であること	7.0
2	近くに家族や友人、知人がいること	7.1
3	介護・福祉施設のサービスが受けやすいこと	6.3
4	医療機関（病院や薬局など）が充実していること	6.5
5	子ども達がいきいきと暮らせること	7.1
6	自分が望む子育てができるような環境があること	6.9
7	教育環境（小中高等学校）が整っていること	7.4
8	スポーツや文化芸術活動など楽しい時間を過ごせること	6.9
9	新たな事に挑戦・成長するための機会があること	6.7
10	出かける際の移動が便利なこと	5.9
11	自宅や公園など心地のよい居場所があること	6.8
12	防災対策がしっかりしており、安全で安心して暮らせること	6.5
13	近隣の人と助け合う関係を築けていること	6.9
14	万が一の際の消防救急体制が確保されていること	6.8
15	身近に豊かな自然があること	7.2
16	地域のまちなみがきれいなこと	7.5
17	生活を送るために必要な収入があること	6.5
18	やりたい仕事や安定した仕事ができること	6.6
19	買い物や外食を身近で楽しめること	6.7
20	国内外から人が訪れたいくなる魅力があること	7.7
21	その他（具体的に）	6.4



3 5年後の市民幸福度

- ・ 5年後の市民幸福度は10点中6.0点である。
- ・ 幸福度の割合については、「5点」と回答した割合が最も高く（25.1%）、次いで「8点」（15.2%）、「7点」（14.1%）が高い。
- ・ 現在の市民幸福度（6.8点）と比較すると、0.8点低い。

問3

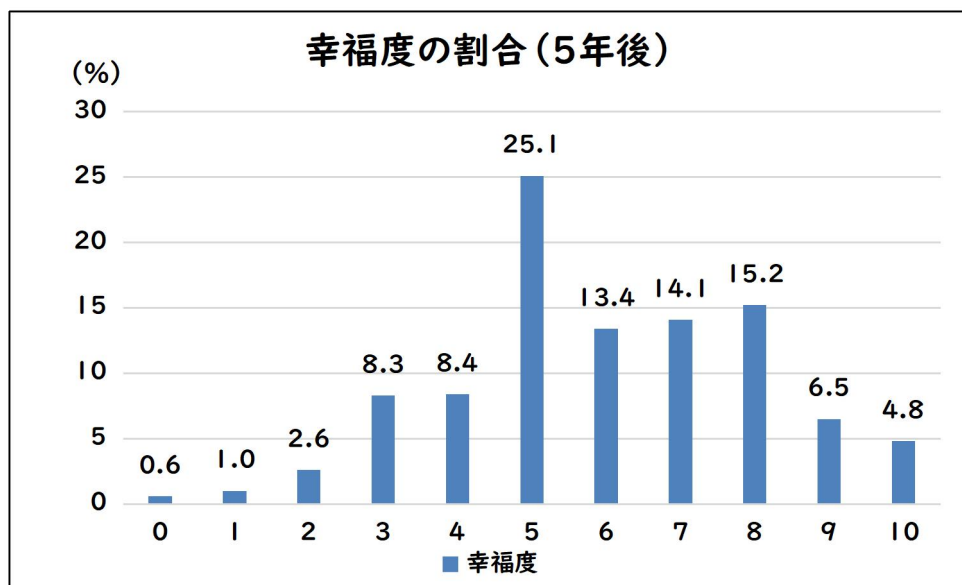
今から5年後、あなたは、どの程度しあわせだと思いますか。

「とてもしあわせ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。

あなたの実感に近い数字を1つ選び、数字に○をつけてください（1つに○印）

	市民幸福度（点）
5年後の市民幸福度	6.0

（標本数：1,147件）



■属性別集計（年齢別）

年齢別	5年後の 市民幸福度	現在の 市民幸福度	5年後と現在の 市民幸福度の差
10代・20代	6.5	6.6	▲0.1
30代	6.3	6.4	▲0.1
40代	6.3	6.7	▲0.4
50代	5.8	6.5	▲0.7
60代	5.8	6.6	▲0.8
70代以上	5.9	7.1	▲1.2

（単位：点）

【年齢別】

- ・ 5年後の市民幸福度が最も高いのは、10代・20代が最も高く、50代と60代が最も低い。
- ・ 5年後と現在の市民幸福度の差を見ると、年代が高くなるにつれて、市民幸福度の差が広がっている。

2 将来の幸せを判断する際に重視する事項

- ・ 「体や心が健康な状態であること」が最も高い。
- ・ 「国内外から人が訪れたいくなる魅力があること」が最も低い。
- ・ 問2の現在の幸せを判断する際に重視した事項と比較すると、「体や心が健康な状態であること」の順位はいずれも1位である。「介護・福祉施設のサービスが受けやすいこと」の順位は11位から3位と大きく上昇しており、一方「身近に豊かな自然があること」の順位は3位から12位と大きく低下している。

問4

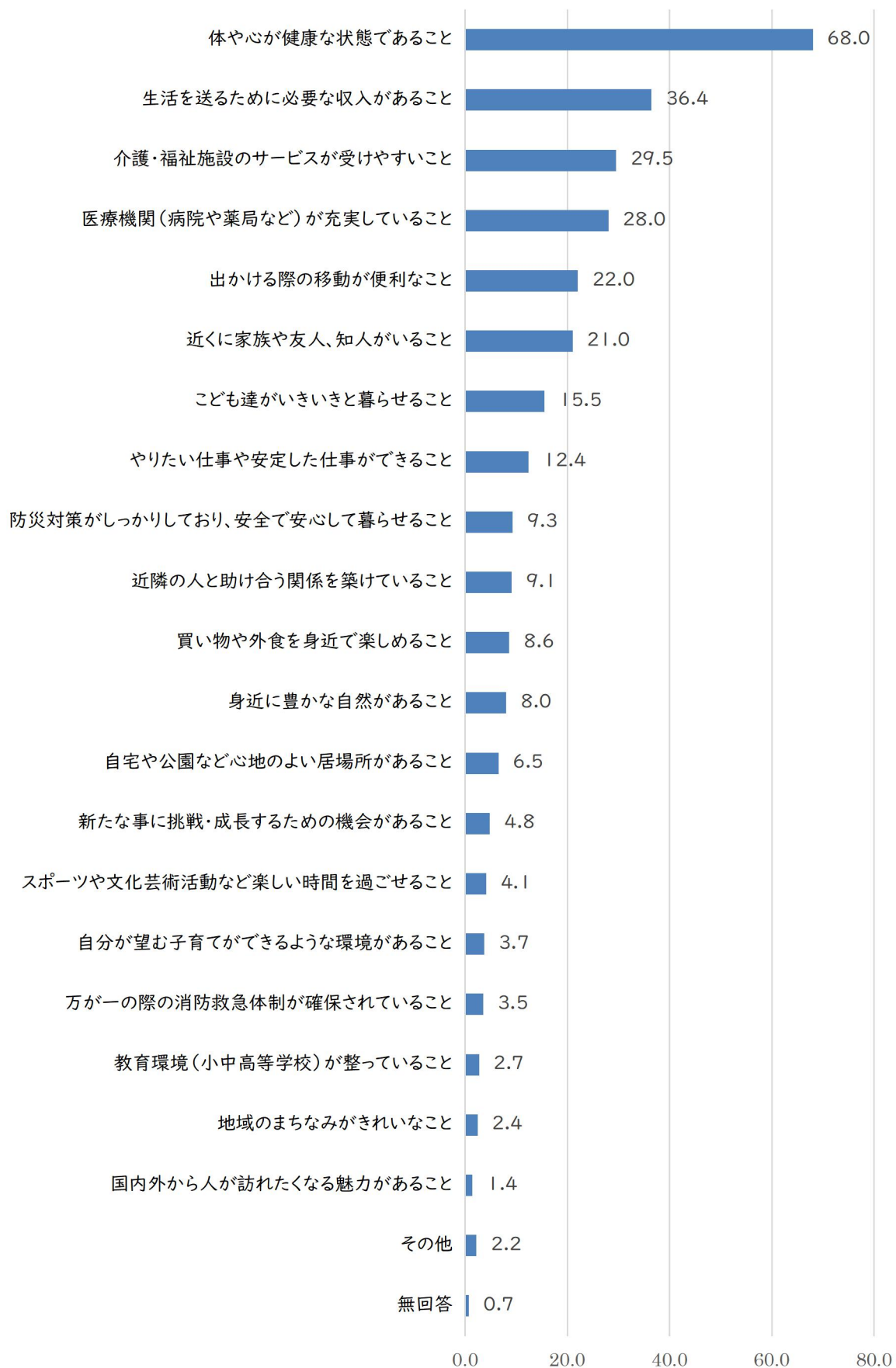
5年後、10年後に、今よりも「幸せ」と感じるためには、どのようなことがさらに充実すればよいと考えますか

(3つまで○印)

順位		回答数 (件)	回答率 (%)	現在の幸せ を判断する 際の重視事 項の順位
1	体や心が健康な状態であること	817	68.0	1
2	生活を送るために必要な収入があること	438	36.4	4
3	介護・福祉施設のサービスが受けやすいこと	355	29.5	11
4	医療機関（病院や薬局など）が充実していること	336	28.0	7
5	出かける際の移動が便利なこと	265	22.0	8
6	近くに家族や友人、知人がいること	252	21.0	2
7	こども達がいきいきと暮らせること	186	15.5	5
8	やりたい仕事や安定した仕事ができること	149	12.4	9
9	防災対策がしっかりしており、安全で安心して暮らせること	112	9.3	15
10	近隣の人と助け合う関係を築けていること	109	9.1	6
11	買い物や外食を身近で楽しめること	103	8.6	10
12	身近に豊かな自然があること	96	8.0	3
13	自宅や公園など心地のよい居場所があること	78	6.5	12
14	新たな事に挑戦・成長するための機会があること	58	4.8	19
15	スポーツや文化芸術活動など楽しい時間を過ごせること	49	4.1	13
16	自分が望む子育てができるような環境があること	45	3.7	17
17	万が一の際の消防救急体制が確保されていること	42	3.5	16
18	教育環境（小中高等学校）が整っていること	32	2.7	18
19	地域のまちなみがきれいなこと	29	2.4	14
20	国内外から人が訪れたいくなる魅力があること	17	1.4	19
—	その他	26	2.2	—
—	無回答	8	0.7	—
	計	3,602		

(標本数：1,202件)

(単位:%)



■ 令和6年度(標本数:1,202件)

属性別集計（年齢別）

		年齢					
		10代・20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
標本数（件）		61	100	184	182	262	402
将来の幸せを判断する際に重視する事項（％）	体や心が健康な状態であること	34.4	53.0	59.8	69.8	75.2	75.4
	生活を送るために必要な収入があること	44.3	44.0	44.0	41.8	38.2	26.4
	介護・福祉施設のサービスが受けやすいこと	4.9	10.0	13.0	28.6	31.7	44.5
	医療機関（病院や薬局など）が充実していること	18.0	23.0	25.0	28.6	30.9	30.1
	出かける際の移動が便利なこと	18.0	17.0	17.9	20.9	24.8	23.6
	近くに家族や友人、知人がいること	19.7	13.0	14.7	17.6	18.3	29.1
	こども達がいきいきと暮らせること	13.1	35.0	28.3	9.9	11.1	10.4
	やりたい仕事や安定した仕事ができること	34.4	19.0	21.7	18.7	7.6	3.7
	防災対策がしっかりしており、安全で安心して暮らせること	1.6	8.0	12.0	10.4	10.3	8.7
	近隣の人と助け合う関係を築けていること	8.2	3.0	5.4	6.6	8.8	13.7
	買い物や外食を身近で楽しめること	18.0	11.0	8.2	6.0	7.3	9.0
	身近に豊かな自然があること	11.5	6.0	8.2	7.7	6.1	9.2
	自宅や公園など心地のよい居場所があること	11.5	7.0	8.2	4.9	6.5	5.5
	新たな事に挑戦・成長するための機会があること	8.2	6.0	6.5	8.8	4.6	1.7
	スポーツや文化芸術活動など楽しい時間を過ごせること	8.2	6.0	4.9	4.4	3.4	2.7
	自分が望む子育てができるような環境があること	11.5	19.0	7.1	1.1	1.1	0.0
	万が一の際の消防救急体制が確保されていること	0.0	0.0	1.6	2.7	4.6	5.2
	教育環境（小中高等学校）が整っていること	4.9	11.0	5.4	1.6	0.8	0.7
	地域のまちなみがきれいなこと	4.9	4.0	2.7	1.6	1.9	2.2
	国内外から人が訪れたくなる魅力があること	3.3	1.0	1.6	0.0	1.5	1.7
	その他	4.9	3.0	2.2	1.6	2.3	1.7
	無回答	0.0	0.0	0.0	1.1	0.4	1.2

【年齢別】

- ・10代・20代を除く全ての年代で、「体や心が健康な状態であること」の割合が最も高い。
- ・次に割合が高いのは、多くの年代において「生活を送るために必要な収入があること」であるが、3番目に高い事項にはバラつきが見られる。

属性別集計（居住地域別）

		居住地域											
		高山地域	東地区	西地区	南地区	北地区	山王地区	江名子地区	新宮地区	三枝地区	大八地区	岩滝地区	花里地区
標本数（件）		753	68	71	83	126	106	50	79	39	58	6	67
将来の幸せを判断する際に重視する事項（％）	体や心が健康な状態であること	69.7	75.0	53.5	74.7	68.3	77.4	66.0	62.0	69.2	69.0	83.3	77.6
	生活を送るために必要な収入があること	38.9	27.9	43.7	38.6	39.7	37.7	36.0	38.0	46.2	37.9	50.0	44.8
	介護・福祉施設のサービスが受けやすいこと	28.8	32.4	33.8	30.1	27.0	25.5	36.0	26.6	25.6	29.3	16.7	26.9
	医療機関（病院や薬局など）が充実していること	27.4	20.6	35.2	26.5	25.4	31.1	26.0	31.6	20.5	27.6	0.0	26.9
	出かける際の移動が便利なこと	21.1	27.9	19.7	25.3	18.3	17.0	16.0	30.4	28.2	17.2	33.3	13.4
	近くに家族や友人、知人がいること	21.0	32.4	23.9	16.9	17.5	25.5	28.0	15.2	10.3	20.7	16.7	19.4
	こども達がいきいきと暮らせること	15.8	10.3	19.7	12.0	23.8	11.3	18.0	17.7	15.4	8.6	16.7	16.4
	やりたい仕事や安定した仕事ができること	11.7	13.2	11.3	8.4	12.7	13.2	10.0	13.9	15.4	12.1	16.7	6.0
	防災対策がしっかりしており、安全で安心して暮らせること	10.2	7.4	15.5	3.6	9.5	8.5	14.0	12.7	7.7	13.8	33.3	10.4
	近隣の人と助け合う関係を築けていること	8.4	10.3	8.5	12.0	5.6	10.4	12.0	6.3	12.8	3.4	0.0	6.0
	買い物や外食を身近で楽しめること	8.1	11.8	7.0	7.2	7.1	8.5	6.0	8.9	7.7	10.3	0.0	7.5
	身近に豊かな自然があること	6.9	11.8	2.8	6.0	6.3	9.4	6.0	5.1	5.1	10.3	0.0	6.0
	自宅や公園など心地のよい居場所があること	8.1	13.2	11.3	3.6	11.1	5.7	6.0	8.9	7.7	12.1	0.0	1.5
	新たな事に挑戦・成長するための機会があること	5.2	5.9	4.2	0.0	5.6	4.7	6.0	5.1	12.8	3.4	0.0	9.0
	スポーツや文化芸術活動など楽しい時間を過ごせること	4.9	2.9	9.9	2.4	4.0	7.5	2.0	5.1	2.6	8.6	0.0	3.0
	自分が望む子育てができるような環境があること	4.2	1.5	2.8	2.4	11.1	4.7	2.0	1.3	5.1	3.4	0.0	3.0
	万が一の際の消防救急体制が確保されていること	3.5	0.0	4.2	1.2	4.0	2.8	4.0	3.8	5.1	3.4	0.0	7.5
	教育環境（小中高等学校）が整っていること	2.1	0.0	4.2	2.4	1.6	2.8	2.0	1.3	0.0	1.7	16.7	3.0
	地域のまちなみがきれいなこと	2.0	4.4	1.4	2.4	1.6	1.9	0.0	3.8	2.6	0.0	0.0	1.5
	国内外から人が訪れたいくなる魅力があること	1.6	2.9	0.0	2.4	2.4	0.9	2.0	1.3	0.0	3.4	0.0	0.0
	その他	2.1	0.0	2.8	1.2	2.4	1.9	6.0	1.3	0.0	1.7	0.0	4.5
	無回答	0.7	1.5	0.0	1.2	0.0	0.9	0.0	1.3	0.0	1.7	0.0	0.0

属性別集計（居住地域別）

		居住地域								
		丹生川地域	清見地域	荘川地域	一之宮地域	久々野地域	朝日地域	高根地域	国府地域	上宝・奥飛騨温泉郷地域
標本数（件）		72	29	16	38	43	26	13	113	47
将来の幸せを判断する際に重視する事項（％）	体や心が健康な状態であること	62.5	55.2	62.5	60.5	72.1	73.1	53.8	63.7	63.8
	生活を送るために必要な収入があること	33.3	24.1	18.8	39.5	16.3	38.5	38.5	34.5	36.2
	介護・福祉施設のサービスが受けやすいこと	34.7	27.6	37.5	39.5	39.5	46.2	15.4	28.3	29.8
	医療機関（病院や薬局など）が充実していること	30.6	34.5	50.0	10.5	30.2	26.9	7.7	31.9	31.9
	出かける際の移動が便利なこと	12.5	41.4	31.3	31.6	16.3	15.4	23.1	26.5	27.7
	近くに家族や友人、知人がいること	15.3	17.2	12.5	26.3	30.2	15.4	30.8	20.4	14.9
	子ども達がいきいきと暮らせること	15.3	10.3	6.3	15.8	11.6	15.4	7.7	15.9	17.0
	やりたい仕事や安定した仕事ができること	20.8	10.3	18.8	10.5	9.3	7.7	23.1	14.2	6.4
	防災対策がしっかりしており、安全で安心して暮らせること	9.7	13.8	0.0	10.5	7.0	3.8	15.4	5.3	6.4
	近隣の人と助け合う関係を築けていること	11.1	3.4	0.0	15.8	11.6	15.4	23.1	9.7	6.4
	買い物や外食を身近で楽しめること	2.8	6.9	37.5	10.5	7.0	7.7	0.0	8.0	10.6
	身近に豊かな自然があること	15.3	6.9	6.3	13.2	9.3	3.8	0.0	14.2	4.3
	自宅や公園など心地のよい居場所があること	1.4	10.3	0.0	2.6	7.0	0.0	0.0	4.4	2.1
	新たな事に挑戦・成長するための機会があること	4.2	6.9	6.3	5.3	2.3	3.8	0.0	2.7	4.3
	スポーツや文化芸術活動など楽しい時間を過ごせること	1.4	0.0	0.0	0.0	2.3	0.0	0.0	4.4	0.0
	自分が望む子育てができるような環境があること	2.8	6.9	0.0	2.6	2.3	0.0	0.0	5.3	0.0
	万が一の際の消防救急体制が確保されていること	1.4	3.4	6.3	5.3	4.7	0.0	7.7	4.4	4.3
	教育環境（小中高等学校）が整っていること	5.6	3.4	0.0	0.0	2.3	0.0	15.4	3.5	4.3
	地域のまちなみがきれいなこと	5.6	3.4	6.3	0.0	2.3	0.0	15.4	2.7	0.0
	国内外から人が訪れたいくなる魅力があること	1.4	0.0	0.0	2.6	0.0	0.0	0.0	0.9	2.1
	その他	1.4	0.0	0.0	2.6	0.0	3.8	7.7	0.9	4.3
	無回答	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0

【居住地域別】

- ・全ての地域（地区）で「体や心が健康な状態であること」の割合が最も高い。
- ・次に割合が高いのは、多くの地域（地区）において「生活を送るために必要な収入があること」であるが、3番目に高い事項にはバラつきが見られる。

属性別集計（家族構成別）

		家族構成						
		単身世帯	夫婦のみ	二世代世帯	（うち中学生以下の子と同居）	三世代世帯	（うち中学生以下の子と同居）	その他
標本数（件）		134	328	494	(152)	197	(119)	27
将来の幸せを判断する際に重視する事項（％）	体や心が健康な状態であること	68.7	73.2	68.2	(60.5)	59.4	(60.5)	66.7
	生活を送るために必要な収入があること	38.1	29.6	41.9	(42.8)	35.5	(41.2)	29.6
	介護・福祉施設のサービスが受けやすいこと	23.9	35.7	27.3	(12.5)	24.9	(23.5)	40.7
	医療機関（病院や薬局など）が充実していること	23.1	32.0	25.3	(21.7)	29.9	(26.9)	25.9
	出かける際の移動が便利なこと	28.4	26.8	17.8	(11.8)	19.8	(20.2)	29.6
	近くに家族や友人、知人がいること	23.1	18.6	21.9	(11.8)	20.3	(16.8)	22.2
	こども達がいきいきと暮らせること	9.7	10.1	15.6	(32.9)	28.9	(34.5)	14.8
	やりたい仕事や安定した仕事ができること	15.7	6.1	14.6	(19.1)	15.7	(17.6)	3.7
	防災対策がしっかりしており、安全で安心して暮らせること	7.5	8.8	9.7	(9.9)	11.7	(10.9)	0.0
	近隣の人と助け合う関係を築けていること	9.7	10.4	8.1	(7.2)	6.6	(2.5)	11.1
	買い物や外食を身近で楽しめること	13.4	9.8	7.9	(9.2)	5.1	(6.7)	7.4
	身近に豊かな自然があること	11.2	7.3	7.1	(7.2)	8.6	(6.7)	7.4
	自宅や公園など心地のよい居場所があること	11.2	6.7	5.7	(7.9)	6.1	(7.6)	0.0
	新たな事に挑戦・成長するための機会があること	8.2	4.0	4.7	(6.6)	5.6	(5.0)	0.0
	スポーツや文化芸術活動など楽しい時間を過ごせること	3.0	2.7	4.3	(3.9)	6.1	(7.6)	0.0
	自分が望む子育てができるような環境があること	0.7	1.2	5.7	(12.5)	5.1	(8.4)	7.4
	万が一の際の消防救急体制が確保されていること	2.2	3.7	4.0	(2.6)	2.0	(0.8)	0.0
	教育環境（小中高等学校）が整っていること	0.7	1.8	1.8	(4.6)	7.6	(12.6)	3.7
	地域のまちなみがきれいなこと	4.5	1.5	1.6	(1.3)	3.6	(3.4)	3.7
	国内外から人が訪れたいくなる魅力があること	2.2	0.9	1.2	(2.6)	1.5	(1.7)	3.7
	その他	6.0	1.8	1.2	(0.7)	2.5	(3.4)	0.0
	無回答	0.0	1.2	0.4	(1.3)	0.0	0.0	0.0

【家族構成別】

- ・全ての世帯で「体や心が健康な状態であること」の割合が最も高い。
- ・次に割合が高いのは、多くの世帯において「生活を送るために必要な収入があること」である。
- ・二世代世帯と三世代世帯において「こども達がいきいきと暮らせること」や「教育環境（小中高等学校）が整っていること」などこどもに関する事項の割合が、世代全体とうち中学生以下の子と同居している世帯の割合を比較するといずれも高い。

属性別集計（職業別）

		職業							
		農林畜産業	自営業	会社員・公務員・団体職員	パート・アルバイト・内職	家事従事者	学生	無職	その他
標本数（件）		52	138	390	207	61	17	279	15
将来の幸せを判断する際に重視する事項（％）	体や心が健康な状態であること	61.5	65.9	61.8	73.9	77.0	47.1	72.8	73.3
	生活を送るために必要な収入があること	44.2	37.0	39.2	44.4	37.7	35.3	25.8	40.0
	介護・福祉施設のサービスが受けやすいこと	32.7	26.1	19.5	24.6	41.0	0.0	47.3	6.7
	医療機関（病院や薬局など）が充実していること	36.5	23.9	25.6	32.9	24.6	0.0	31.2	0.0
	出かける際の移動が便利なこと	11.5	17.4	20.5	22.7	26.2	11.8	26.2	13.3
	近くに家族や友人、知人がいること	17.3	29.7	16.9	18.8	16.4	41.2	22.9	13.3
	こども達がいきいきと暮らせること	13.5	13.8	20.3	16.4	9.8	11.8	11.8	6.7
	やりたい仕事や安定した仕事ができること	15.4	14.5	17.9	10.6	8.2	29.4	4.3	20.0
	防災対策がしっかりしており、安全で安心して暮らせること	7.7	10.1	11.5	6.8	4.9	5.9	8.2	20.0
	近隣の人と助け合う関係を築けていること	13.5	13.0	5.1	8.2	8.2	5.9	11.1	13.3
	買い物や外食を身近で楽しめること	3.8	6.5	9.5	7.2	9.8	5.9	9.7	6.7
	身近に豊かな自然があること	9.6	8.7	7.9	6.8	9.8	11.8	6.5	6.7
	自宅や公園など心地のよい居場所があること	3.8	6.5	7.7	4.3	3.3	23.5	5.0	6.7
	新たな事に挑戦・成長するための機会があること	3.8	8.0	6.7	4.8	0.0	5.9	2.2	6.7
	スポーツや文化芸術活動など楽しい時間を過ごせること	1.9	4.3	6.2	3.9	0.0	11.8	2.2	0.0
	自分が望む子育てができるような環境があること	1.9	5.1	6.2	3.4	4.9	11.8	0.0	6.7
	万が一の際の消防救急体制が確保されていること	3.8	4.3	1.8	3.4	1.6	5.9	5.0	0.0
	教育環境（小中高等学校）が整っていること	1.9	2.2	4.9	1.4	1.6	0.0	1.8	0.0
	地域のまちなみがきれいなこと	3.8	2.2	2.8	1.0	3.3	11.8	0.7	6.7
	国内外から人が訪れたいくなる魅力があること	3.8	2.9	0.8	0.0	0.0	11.8	1.4	6.7
	その他	1.9	3.6	2.3	1.9	0.0	0.0	1.8	6.7
	無回答	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.7	6.7

【職業別】

- ・全ての職業で「体や心が健康な状態であること」の割合が最も高い。
- ・次に割合が高いのは、多くの職業において「生活を送るために必要な収入があること」である。
- ・3番目に高い事項については、半数の職業において「医療機関（病院や薬局など）が充実していること」であるが、学生とその他においては、いずれもその割合は0.0%である。

属性別集計（定住年数別）

		定住年数				
		1年未満	1年以上～5年未満	5年以上～10年未満	10年以上～20年未満	20年以上
標本数（件）		21	32	39	92	999
将来の幸せを判断する際に重視する事項（％）	体や心が健康な状態であること	28.6	50.0	69.2	62.0	69.8
	生活を送るために必要な収入があること	42.9	28.1	33.3	34.8	37.2
	介護・福祉施設のサービスが受けやすいこと	4.8	12.5	15.4	13.0	32.5
	医療機関（病院や薬局など）が充実していること	19.0	34.4	23.1	28.3	27.9
	出かける際の移動が便利なこと	28.6	28.1	23.1	21.7	21.4
	近くに家族や友人、知人がいること	19.0	12.5	12.8	19.6	21.4
	子ども達がいきいきと暮らせること	19.0	21.9	30.8	19.6	14.4
	やりたい仕事や安定した仕事ができること	33.3	15.6	10.3	18.5	11.4
	防災対策がしっかりしており、安全で安心して暮らせること	4.8	0.0	0.0	15.2	9.5
	近隣の人と助け合う関係を築けていること	9.5	0.0	2.6	9.8	9.4
	買い物や外食を身近で楽しめること	19.0	18.8	7.7	17.4	7.1
	身近に豊かな自然があること	23.8	15.6	7.7	7.6	7.2
	自宅や公園など心地のよい居場所があること	14.3	12.5	2.6	9.8	5.5
	新たな事に挑戦・成長するための機会があること	4.8	12.5	2.6	5.4	4.6
	スポーツや文化芸術活動など楽しい時間を過ごせること	0.0	6.3	5.1	6.5	3.8
	自分が望む子育てができるような環境があること	9.5	0.0	23.1	7.6	2.7
	万が一の際の消防救急体制が確保されていること	4.8	3.1	2.6	1.1	3.6
	教育環境（小中高等学校）が整っていること	0.0	3.1	5.1	6.5	2.3
	地域のまちなみがきれいなこと	9.5	3.1	2.6	2.2	2.0
	国内外から人が訪れたくなる魅力があること	4.8	3.1	0.0	4.3	1.0
	その他	0.0	3.1	5.1	6.5	1.7
	無回答	0.0	3.1	0.0	1.1	0.4

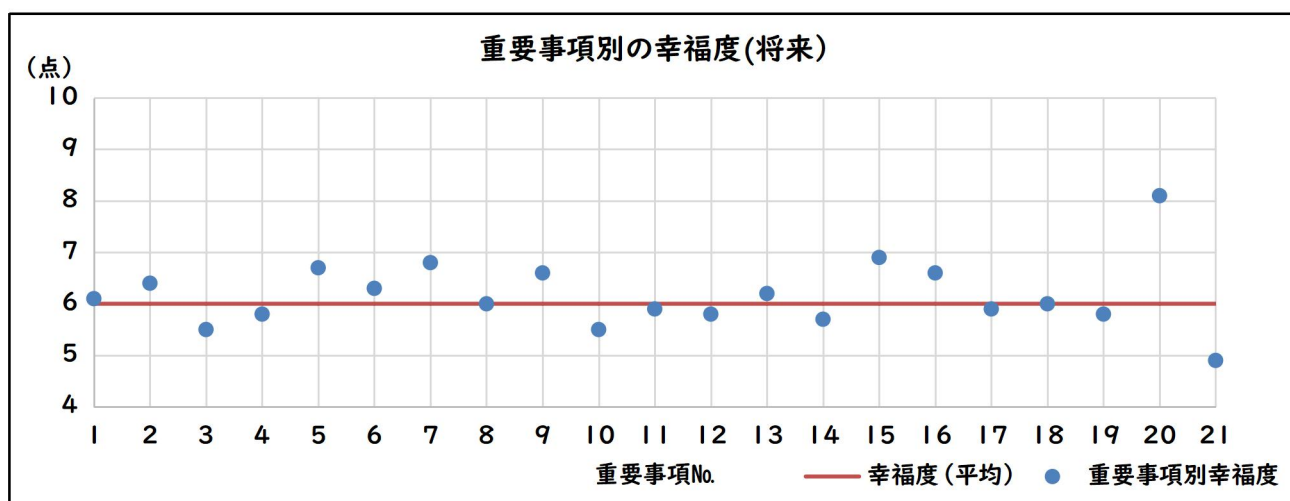
【定住年数別】

- ・1年未満を除く全ての年数別で「体や心が健康な状態であること」の割合が最も高い。1年未満は「生活を送るために必要な収入があること」の割合が最も高い。
- ・次に割合が高いのは、多くの年数において「生活を送るために必要な収入があること」であるが、3番目に高い事項にはバラつきが見られる。

重視事項の回答ごとの市民幸福度（将来）について

- ・ 将来の「幸せ」かどうかを判断する際に重視した事項で「国内外から人が訪れたいくなる魅力があること」と回答した人の市民幸福度が最も高い。
- ・ 「出かける際の移動が便利なこと」と回答した人の市民幸福度が最も低い（その他を除く）。

No.	将来の幸せを判断する際に重視した事項	市民幸福度 (点)
1	体や心が健康な状態であること	6.1
2	近くに家族や友人、知人がいること	6.4
3	介護・福祉施設のサービスが受けやすいこと	5.5
4	医療機関（病院や薬局など）が充実していること	5.8
5	子ども達がいきいきと暮らせること	6.7
6	自分が望む子育てができるような環境があること	6.3
7	教育環境（小中高等学校）が整っていること	6.8
8	スポーツや文化芸術活動など楽しい時間を過ごせること	6.0
9	新たな事に挑戦・成長するための機会があること	6.6
10	出かける際の移動が便利なこと	5.5
11	自宅や公園など心地のよい居場所があること	5.9
12	防災対策がしっかりしており、安全で安心して暮らせること	5.8
13	近隣の人と助け合う関係を築けていること	6.2
14	万が一の際の消防救急体制が確保されていること	5.7
15	身近に豊かな自然があること	6.9
16	地域のまちなみがきれいなこと	6.6
17	生活を送るために必要な収入があること	5.9
18	やりたい仕事や安定した仕事ができること	6.0
19	買い物や外食を身近で楽しめること	5.8
20	国内外から人が訪れたいくなる魅力があること	8.1
21	その他	4.9



2 高山市の市政運営について

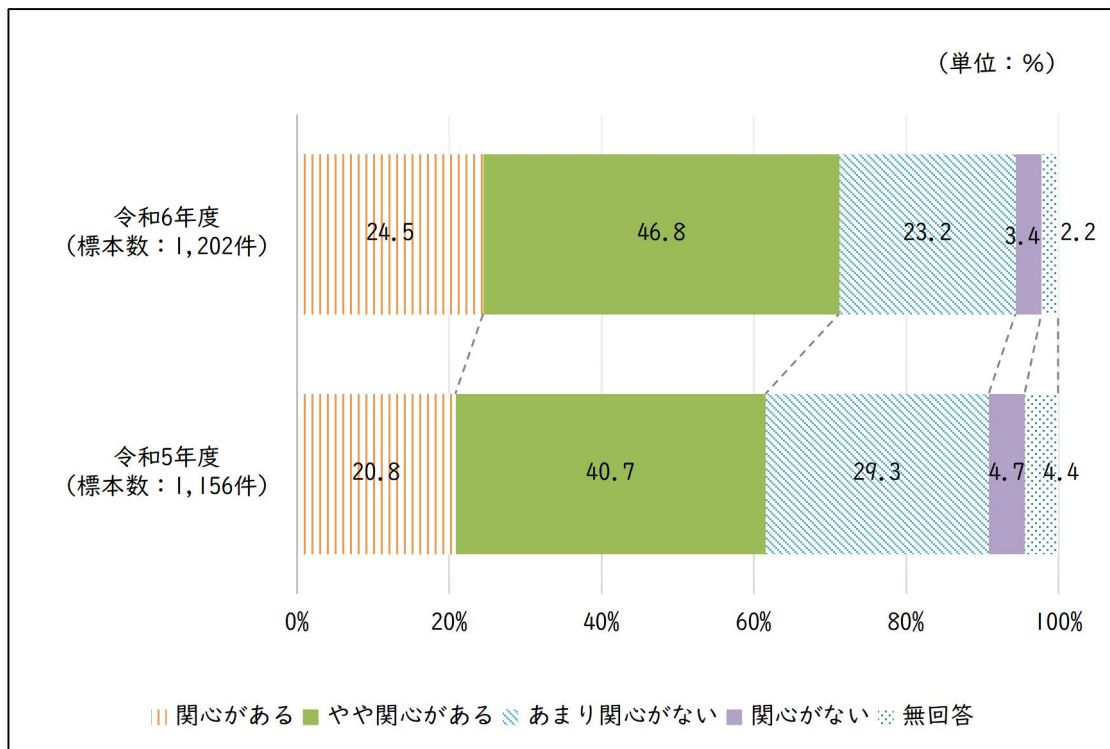
1 市政運営への関心

- ・ 「やや関心がある」の割合が最も高い。
- ・ 「関心がある」と「やや関心がある」を合わせると71.3%を占めているが、前回（R5）の調査結果（61.5%）に比べ9.8ポイントと上昇している。

問5 あなたは、高山市の市政運営に関心をお持ちですか。（1つに○印）

	回答数 (件)	回答率 (%)
関心がある	294	24.5
やや関心がある	562	46.8
あまり関心がない	279	23.2
関心がない	41	3.4
無回答	26	2.2
計	1,202	

(標本数：1,202件)



属性別集計（年齢別）

		標本数 (件)	市政運営の関心（％）				
			関心がある	やや関心がある	あまり関心がない	関心がない	無回答
年齢	１０代・２０代	61	11.5	37.7	41.0	9.8	0.0
	３０代	100	26.0	50.0	20.0	4.0	0.0
	４０代	184	25.5	41.3	28.8	4.3	0.0
	５０代	182	26.4	45.6	24.7	2.2	1.1
	６０代	262	22.9	48.9	23.3	4.6	0.4
	７０代以上	402	25.6	49.0	18.4	1.7	5.2

【年齢別】

- ・「関心がある」と「やや関心がある」を合わせた割合は、１０代・２０代と４０代を除く年代が７０％以上で、１０代・２０代が４９.２％と最も低い。

属性別集計（居住地域別、定住年数別）

		標本数 (件)	市政運営の関心 (%)				
			関心がある	やや関心がある	あまり関心がない	関心がない	無回答
居住地域	高山地域	753	24.3	48.6	21.9	3.2	2.0
	東地区	68	23.5	47.1	26.5	2.9	0.0
	西地区	71	23.9	46.5	22.5	2.8	4.2
	南地区	83	21.7	50.6	21.7	2.4	3.6
	北地区	126	27.0	52.4	19.8	0.8	0.0
	山王地区	106	29.2	50.0	17.0	3.8	0.0
	江名子地区	50	12.0	52.0	26.0	4.0	6.0
	新宮地区	79	21.5	40.5	25.3	8.9	3.8
	三枝地区	39	30.8	41.0	23.1	2.6	2.6
	大八地区	58	25.9	43.1	27.6	1.7	1.7
	岩滝地区	6	16.7	50.0	33.3	0.0	0.0
	花里地区	67	23.9	56.7	14.9	3.0	1.5
	丹生川地域	72	29.2	37.5	25.0	4.2	4.2
	清見地域	29	20.7	58.6	13.8	3.4	3.4
	荘川地域	16	12.5	62.5	25.0	0.0	0.0
	一之宮地域	38	26.3	47.4	26.3	0.0	0.0
	久々野地域	43	18.6	39.5	39.5	0.0	2.3
	朝日地域	26	11.5	50.0	23.1	7.7	7.7
	高根地域	13	46.2	53.8	0.0	0.0	0.0
	国府地域	113	26.5	34.5	31.0	6.2	1.8
	上宝・奥飛騨温泉郷地域	47	23.4	48.9	23.4	0.0	4.3
定住年数	1年未満	21	9.5	47.6	33.3	9.5	0.0
	1年以上～5年未満	32	21.9	43.8	28.1	3.1	3.1
	5年以上～10年未満	39	25.6	53.8	15.4	0.0	5.1
	10年以上～20年未満	92	25.0	37.0	28.3	8.7	1.1
	20年以上	999	24.8	47.4	22.7	3.0	2.0

【居住地域別】

- ・「関心がある」と「やや関心がある」を合わせた割合は、高根地域（100.0%）が最も高く、次いで花里地区（80.6%）、北地区（79.4%）が高い。一方、久々野地域（58.1%）が最も低く、次いで国府地域（61.0%）、朝日地域（61.5%）が低い。

【定住年数別】

- ・「関心がある」と「やや関心がある」を合わせた割合は、5年以上～10年未満（79.4%）が最も高く、1年未満（57.1%）が最も低い。

2 高山市の取り組みに対する満足度

- ・ 満足度の高い分野は、高い順に「上水道・下水道」分野（90.1%）、「生活環境・資源循環」分野（87.6%）、「消防・救急」分野（77.3%）となっている。
- ・ 満足度の低い分野は、低い順に「担い手」分野（19.7%）、「若者」分野（27.0%）、「地域の支え合い」分野（27.2%）となっている。

問6 高山市の取り組みに対する満足度についてお伺いします。

あなたは、現在の高山市の行政サービスやまちづくりに関して、どのように感じていますか。

それぞれの分野の設問ごとにあなたのお気持ちに最も近いものを選んでください。

（それぞれの設問ごとに1つに○印）

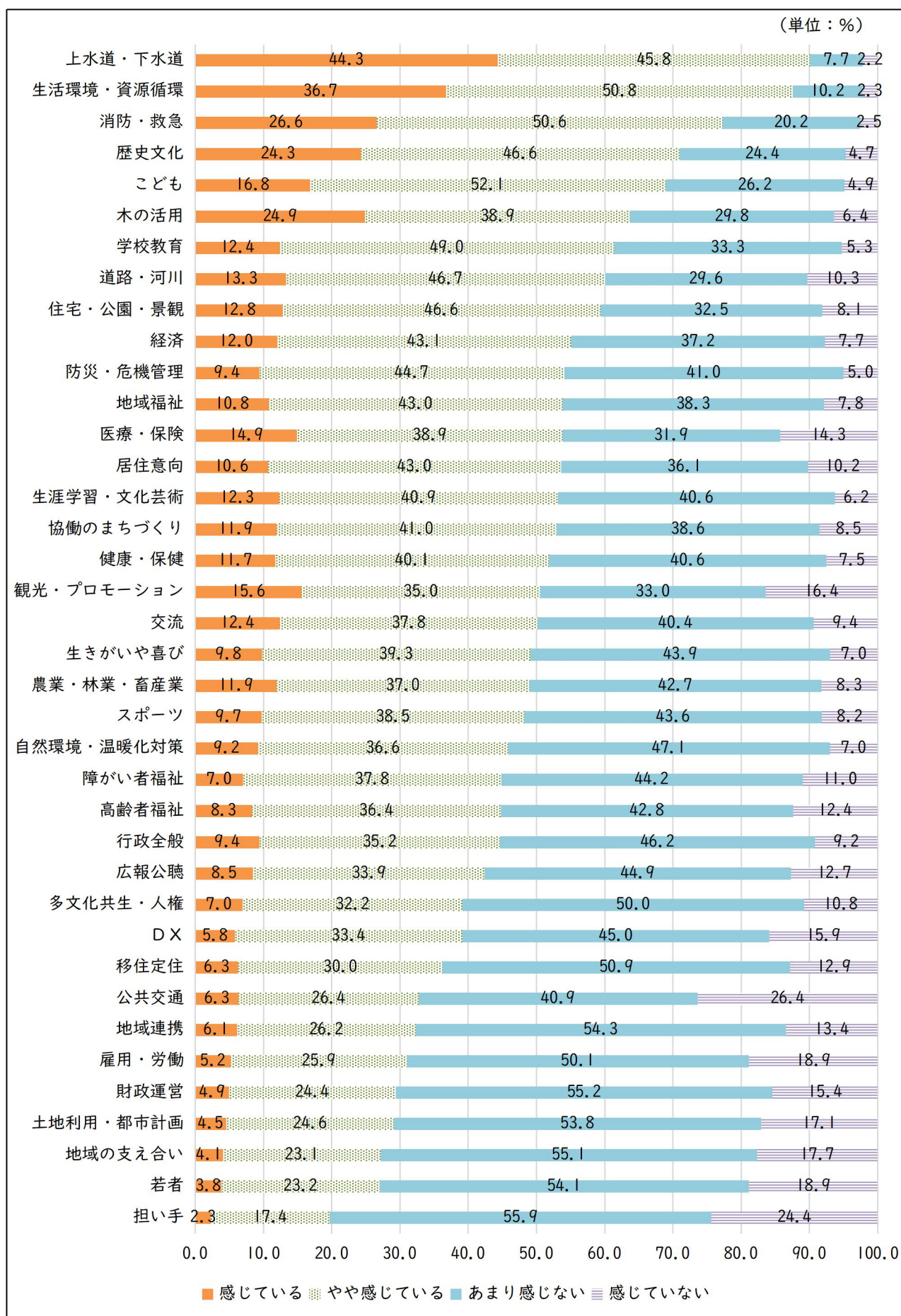
（満足度の算出方法）

$$\text{満足度} = \frac{\text{「感じている」、「やや感じている」の合計}}{\text{「感じている」、「やや感じている」、「あまり感じない」、「感じていない」の合計}}$$

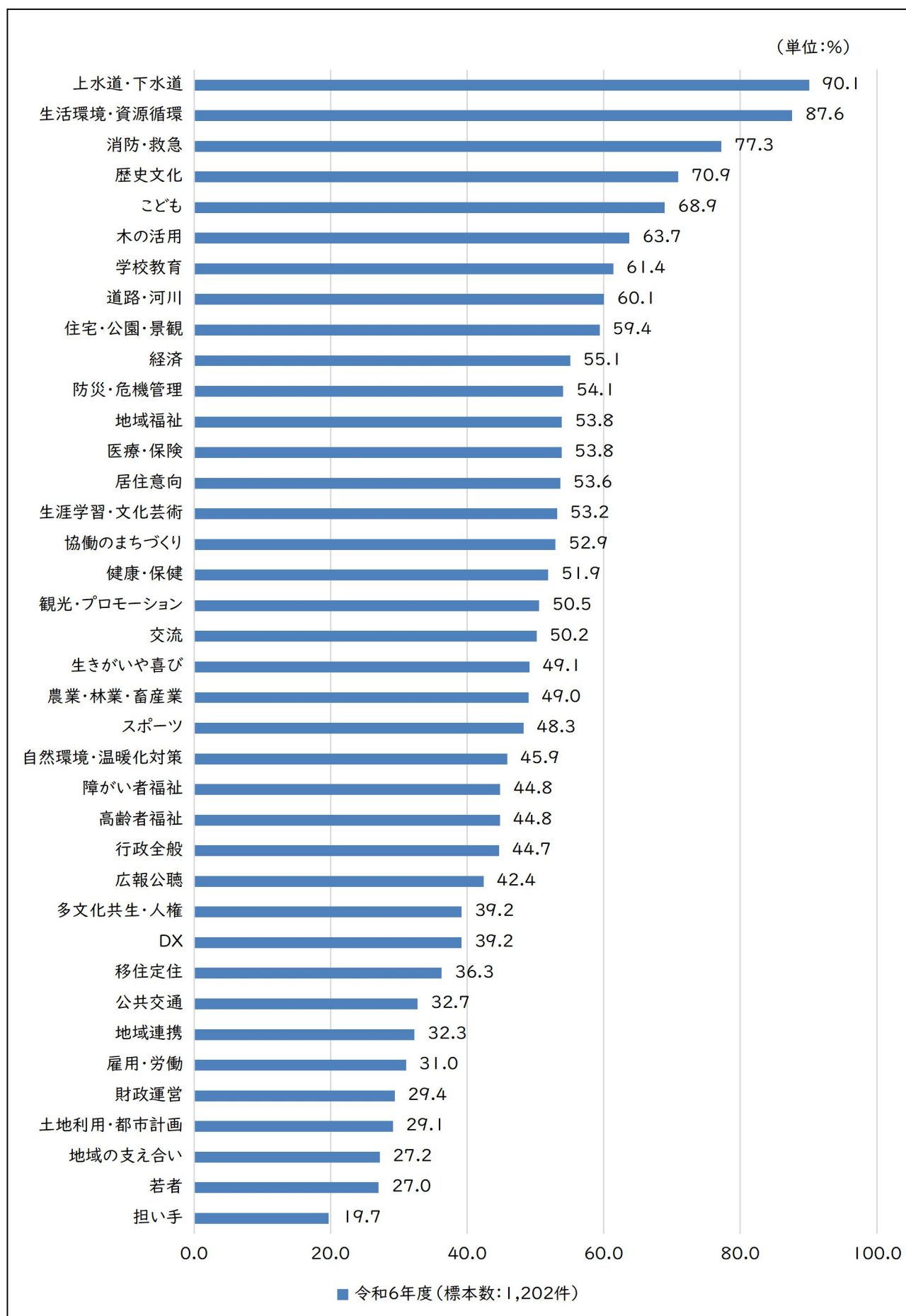
順位	満足度 (%)	分野	設問	回答数（件）				
			満足度指標	感じて いる	やや感じ ている	あまり 感じない	感じて いない	無回答
1	90.1%	上水道・下水道	あなたは、「安全でおいしい水が提供され、汚水処理が適切に行われている」と感じていますか。	528	545	92	26	11
2	87.6%	生活環境・資源循環	あなたは、「ごみ処理や分別収集が適切に行われ、良好な生活環境が保たれている」と感じていますか。	438	606	121	27	10
3	77.3%	消防・救急	あなたは、「消防救急体制が整っている」と感じていますか。	316	601	240	30	15
4	70.9%	歴史文化	あなたは、「文化財や伝承芸能が保存、継承され、郷土の歴史文化に誇りを持っている」と感じていますか。	286	549	287	55	25
5	68.9%	こども	あなたは、「こどもが健やかに育つ環境が整っている」と感じていますか。	197	611	307	57	30
6	63.7%	木の活用	あなたは、「身の回りに木や森に親しむ環境が整っている」と感じていますか。	294	460	353	76	19
7	61.4%	学校教育	あなたは、「学校・家庭・地域が連携した児童生徒の教育環境が整っている」と感じていますか。	143	566	385	61	47
8	60.1%	道路・河川	あなたは、「安全で快適に移動できる道路環境が整っている」と感じていますか。	158	553	351	122	18
9	59.4%	住宅・公園・景観	あなたは、「快適な住宅環境や公園、美しい景観が保たれている」と感じていますか。	151	551	384	96	20
10	55.1%	経済	あなたは、「市内で生産されたものが市内で販売、消費されるなど、地域内で経済が循環し、活性化している」と感じていますか。	142	508	439	91	22
11	54.1%	防災・危機管理	あなたは、「災害から命・財産を守るための準備や体制が整っている」と感じていますか。	111	529	485	59	18
12	53.8%	地域福祉	あなたは、「地域で支え合い、安心して暮らせる環境が整っている」と感じていますか。	128	510	454	93	17
	53.8%	医療・保険	あなたは、「安心して医療を受けられる環境が整っている」と感じていますか。	178	464	380	171	9
14	53.6%	居住意向	あなたは、「地域で住みやすい環境が整っている」と感じていますか。	126	509	428	121	18
15	53.2%	生涯学習・文化芸術	あなたは、「文化芸術や生涯学習などに触れ、学び、成果を活かせる環境が整っている」と感じていますか。	144	478	475	73	32
16	52.9%	協働のまちづくり	あなたは、「多様な主体（市民、町内会、地域内団体、学校、事業者、行政等）が協働してまちづくりに取り組んでいる」と感じていますか。	140	483	454	100	25
17	51.9%	健康・保健	あなたは、「主体的な健康づくりや病気の予防に取り組む環境が整っている」と感じていますか。	139	475	481	89	18
18	50.5%	観光・プロモーション	あなたは、「観光客の来訪が、市民生活の向上に繋がっている」と感じていますか。	185	415	392	195	15
19	50.2%	交流	あなたは、「国内外との都市と様々な分野において交流が進んでいる」と感じていますか。	145	442	473	110	32
20	49.1%	生きがいや喜び	あなたは、「生きがいや喜びをもって、自分らしく生活できる環境が整っている」と感じていますか。	116	467	521	83	15

順位	満足度 (%)	分野	設問	回答数（件）				
			満足度指標	感じて いる	やや感じ ている	あまり 感じない	感じて いない	無回答
21	49.0%	農業・林業・畜産業	あなたは、「地元の農畜産物や木材が広く消費され、農畜産業や林業が活性化している」と感じていますか。	140	434	501	97	30
22	48.3%	スポーツ	あなたは、「スポーツをしたり、楽しんだりできる環境が整っている」と感じていますか。	114	452	511	96	29
23	45.9%	自然環境・温暖化対策	あなたは、「自然環境の保全や自然エネルギーの活用をはじめ、地球環境を守る取り組みが進んでいる」と感じていますか。	109	433	557	83	20
24	44.8%	障がい者福祉	あなたは、「障がい者が必要な支援を受け、自立して暮らせる環境が整っている」と感じていますか。	82	443	517	129	31
	44.8%	高齢者福祉	あなたは、「高齢者が生きがいをもち、安心して暮らせる環境が整っている」と感じていますか。	99	433	509	147	14
26	44.7%	行政全般	あなたは、「効率的で良質な行政サービスが提供されている」と感じていますか。	111	415	544	108	24
27	42.4%	広報公聴	あなたは、「必要な情報が入手できるとともに、市政へ意見を言える環境が整っている」と感じていますか。	100	400	529	150	23
28	39.2%	多文化共生・人権	あなたは、「年齢や性別、障がいの有無、国籍などに関わらず、多様な生き方・暮らし方への理解が深まっている」と感じてますか。	82	379	589	127	25
29	39.2%	D X (デジタルトランスフォーメーション)	あなたは、「地域におけるデジタル活用が進んでいる」と感じていますか。	68	391	527	186	30
30	36.3%	移住定住	あなたは、「移住を希望される方を受け入れる環境が整っている」と感じていますか。	74	352	598	151	27
31	32.7%	公共交通	あなたは、「日常的に利用できる公共交通体系が整っている」と感じていますか。	75	312	483	312	20
32	32.3%	地域連携	あなたは、「高山地域や各支所地域が地域を超えて連携した（一体となった）取り組みにより地域が活性化している」と感じていますか。	72	308	639	158	25
33	31.0%	雇用・労働	あなたは、「若者や女性、高齢者、障がい者、外国人など、働く人が望む就労の場が確保されている」と感じていますか。	61	304	589	222	26
34	29.4%	財政運営	あなたは、「将来を見据えた財政運営に取り組んでいる」と感じていますか。	58	287	648	181	28
35	29.1%	土地利用・都市計画	あなたは、「保全と開発とのバランスのとれた秩序ある土地利用が行われている」と感じていますか。	53	288	630	200	31
36	27.2%	地域の支え合い	あなたは、「地域を支える担い手を確保できる環境が整っている」と感じていますか。	48	273	650	209	22
37	27.0%	若者	あなたは、「若者が活躍できる環境が整っている」と感じていますか。	45	273	636	222	26
38	19.7%	担い手	あなたは、「地域産業が受け継がれるための人材確保・後継者育成が進んでいる」と感じていますか。	27	205	658	287	25

各分野における回答数の割合



各分野の満足度（「感じている」、「やや感じている」の合計
「感じている」、「やや感じている」、「あまり感じない」、「感じていない」の合計）



属性別集計（年齢別）

		年齢					
		20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
標本数（件）		61	100	184	182	262	402
取り組みに対する満足度（％）	上水道・下水道	91.8	88.0	88.0	92.3	87.3	92.1
	生活環境・資源循環	91.8	81.0	83.7	87.9	89.3	89.1
	消防・救急	80.3	75.0	74.3	70.9	74.6	83.1
	歴史文化	83.6	65.0	69.6	74.6	65.4	73.2
	こども	68.3	67.0	69.4	74.4	62.1	70.8
	木の活用	82.0	76.0	71.7	66.9	56.3	57.9
	学校教育	73.8	61.0	56.8	59.7	53.5	68.0
	道路・河川	68.9	68.0	63.6	52.5	54.2	62.6
	住宅・公園・景観	77.0	74.0	65.0	56.9	49.4	58.4
	経済	70.5	60.0	59.8	49.2	47.3	56.9
	防災・危機管理	65.6	59.0	54.3	49.2	49.0	56.8
	地域福祉	67.2	59.0	49.5	50.3	47.3	58.5
	医療・保険	60.7	49.0	42.4	44.0	45.2	69.5
	居住意向	63.9	54.0	54.9	50.3	46.5	58.4
	生涯学習・文化芸術	77.0	57.0	49.2	43.6	46.0	60.2
	協働のまちづくり	62.3	56.0	53.3	50.3	47.7	55.5
	健康・保健	60.7	42.0	48.4	46.7	41.3	64.3
	観光・プロモーション	55.7	57.0	59.8	49.2	44.4	48.3
	交流	70.5	58.0	51.9	49.2	39.5	51.2
	生きがいや喜び	57.4	49.0	46.7	45.3	40.2	57.3
	農業・林業・畜産業	67.2	60.0	51.9	50.8	42.1	46.1
	スポーツ	52.5	53.0	50.5	43.1	39.6	53.6
	自然環境・温暖化対策	62.3	50.0	48.9	38.1	39.8	48.4
	障がい者福祉	54.1	51.0	39.1	37.9	40.2	51.2
	高齢者福祉	65.6	65.0	41.5	38.5	36.0	47.4
	行政全般	57.4	42.0	44.3	37.2	39.5	50.3
	広報公聴	42.6	40.0	38.6	40.0	40.8	47.5
	多文化共生・人権	55.7	43.0	42.4	37.2	32.3	39.9
	DX	47.5	36.0	39.7	35.2	35.4	42.7
	移住定住	62.3	44.0	40.4	35.4	31.4	31.0
	公共交通	39.3	38.0	30.2	17.1	28.4	42.4
	地域連携	50.8	43.0	36.4	26.0	23.4	34.2
	雇用・労働	52.5	38.0	36.6	22.8	22.6	32.6
	財政運営	37.7	29.0	27.2	21.1	25.1	36.1
	土地利用・都市計画	50.8	35.0	38.6	23.2	22.4	27.1
	地域の支え合い	41.7	26.0	23.5	24.4	20.6	33.3
	若者	35.0	29.0	24.0	26.0	20.1	32.5
	担い手	23.3	16.0	13.7	15.0	14.9	28.5

【年齢別】

- ・ 60代以外の全ての年代で「上水道・下水道」の割合が最も高い。
- ・ 次に割合が高いのは、多くの年代において「生活環境・資源循環」である。

属性別集計（居住地域別）

		居住地域（高山地域）											
		高山地域	東地区	西地区	南地区	北地区	山王地区	江名子地区	新宮地区	三枝地区	大八地区	岩滝地区	花里地区
標本数（件）		753	68	71	83	126	106	50	79	39	58	6	67
取り組みに対する満足度（％）	上水道・下水道	89.8	92.6	91.4	92.7	89.7	90.4	88.0	87.3	87.2	91.4	100.0	84.6
	生活環境・資源循環	86.4	95.5	85.7	88.0	82.5	83.7	88.0	83.5	84.6	91.4	100.0	84.8
	消防・救急	77.2	79.1	80.0	80.5	77.8	73.8	71.4	74.7	84.6	75.9	83.3	75.8
	歴史文化	74.7	80.0	81.4	72.0	73.8	75.0	66.7	73.7	71.8	74.1	66.7	76.9
	こども	69.7	67.7	67.6	75.9	68.3	68.0	72.9	64.9	70.3	75.4	83.3	68.2
	木の活用	63.2	75.8	61.4	63.4	65.1	63.5	61.2	63.3	52.6	62.1	83.3	54.5
	学校教育	62.1	69.8	60.9	62.3	64.2	65.3	61.7	54.5	71.1	61.4	83.3	49.2
	道路・河川	60.3	66.2	61.4	63.4	57.9	55.2	55.1	65.4	71.8	58.6	66.7	54.5
	住宅・公園・景観	61.9	67.7	70.0	70.0	57.9	63.5	51.0	60.8	53.8	60.3	50.0	59.1
	経済	56.6	65.6	71.0	56.3	52.8	59.0	60.0	49.4	48.7	47.4	50.0	56.1
	防災・危機管理	52.0	56.9	60.0	56.6	47.6	53.3	55.1	44.3	43.6	45.6	83.3	53.0
	地域福祉	53.6	59.7	56.3	50.6	55.2	55.8	52.1	43.6	59.0	55.2	66.7	49.2
	医療・保険	55.6	66.7	54.9	60.2	51.6	55.7	59.2	51.3	66.7	48.3	33.3	50.8
	居住意向	54.5	57.6	50.7	58.2	57.9	60.0	55.1	44.2	51.3	56.1	16.7	50.8
	生涯学習・文化芸術	54.2	56.9	58.6	53.7	59.2	56.9	50.0	48.7	52.6	49.1	50.0	49.2
	協働のまちづくり	53.5	53.1	53.6	60.0	49.2	51.4	65.3	44.3	59.0	47.4	50.0	62.1
	健康・保健	53.1	58.5	61.4	57.3	48.4	52.4	56.3	48.7	61.5	48.3	50.0	46.2
	観光・プロモーション	51.5	47.8	55.7	56.1	50.0	53.3	48.0	51.9	51.3	52.6	66.7	45.5
	交流	51.8	46.9	55.7	50.6	60.3	55.3	47.9	45.3	50.0	46.6	66.7	46.2
	生きがいや喜び	48.3	57.6	49.3	50.6	48.4	46.6	47.9	42.3	48.7	48.3	33.3	46.2
	農業・林業・畜産	50.6	57.1	55.1	51.3	48.8	52.9	59.2	44.3	44.7	48.2	33.3	47.0
	スポーツ	47.3	47.0	48.6	52.4	50.8	54.5	29.2	43.4	50.0	39.7	50.0	44.6
	自然環境・温暖化対策	45.0	53.0	50.0	51.9	45.2	42.3	40.8	43.0	41.0	33.3	50.0	43.9
	障がい者福祉	44.6	48.4	46.5	40.3	44.4	44.8	43.8	43.6	59.0	34.5	50.0	45.3
	高齢者福祉	43.0	43.9	53.5	44.6	42.9	47.6	38.8	35.9	43.6	36.2	33.3	40.0
	行政全般	43.4	50.0	49.3	44.4	42.4	46.2	47.9	30.8	43.6	49.1	33.3	34.8
	広報公聴	40.6	43.1	39.7	51.9	39.2	44.8	41.7	24.4	33.3	43.9	33.3	41.5
	多文化共生・人権	39.5	38.5	42.0	42.5	44.8	36.5	52.1	32.5	33.3	40.4	16.7	33.3
	DX	38.7	42.2	39.7	38.8	35.2	41.0	39.6	35.1	41.0	43.6	50.0	34.8
	移住定住	35.2	35.9	42.6	35.8	39.5	27.9	49.0	27.8	33.3	35.1	20.0	30.3
	公共交通	35.3	32.8	40.8	30.5	37.3	45.1	28.6	28.6	43.6	34.5	0.0	30.8
	地域連携	33.2	36.9	36.2	33.3	34.4	33.3	36.7	24.4	44.7	30.4	33.3	27.3
	雇用・労働	30.6	36.4	34.8	30.9	28.6	29.1	32.7	25.3	27.0	30.4	50.0	31.8
	財政運営	28.6	31.3	31.9	27.5	29.8	24.3	33.3	21.8	28.2	35.7	33.3	27.3
	土地利用・都市計画	28.7	29.7	32.9	31.3	34.9	25.0	21.3	26.3	31.6	30.4	33.3	18.5
	地域の支え合い	27.8	26.6	35.2	28.8	32.5	24.0	29.2	15.4	34.2	24.6	33.3	28.8
	若者	27.1	20.6	30.0	24.1	27.8	34.6	25.0	16.5	32.4	33.3	33.3	26.2
	担い手	20.8	28.6	20.0	25.0	21.6	18.3	25.0	9.0	26.3	22.8	33.3	16.7

【居住地域別】

- ・高山地域は、１１地区中９地区で「上水道・下水道」の割合が最も高く、次いで１１地区中６地区で「生活環境・資源循環」が高い。

属性別集計（居住地域別）

		居住地域（支所地域）								
		丹生川地域	清見地域	莊川地域	一之宮地域	久々野地域	朝日地域	高根地域	国府地域	上宝・奥飛驒温泉郷地域
標本数（件）		72	29	16	38	43	26	13	113	47
取り組みに対する満足度（％）	上水道・下水道	88.9	89.7	93.8	89.5	93.0	92.3	100.0	92.0	89.4
	生活環境・資源循環	87.5	89.7	81.3	81.6	97.7	84.6	100.0	91.9	91.5
	消防・救急	67.1	75.9	68.8	84.2	90.7	80.8	66.7	82.1	65.2
	歴史文化	68.6	79.3	68.8	64.9	58.1	41.7	76.9	67.0	51.1
	こども	68.6	51.7	75.0	73.7	83.7	32.0	69.2	73.0	60.0
	木の活用	52.9	69.0	86.7	57.9	60.5	42.3	75.0	71.8	58.7
	学校教育	60.3	55.2	100.0	59.5	65.1	45.8	76.9	62.6	51.1
	道路・河川	60.3	55.2	81.3	42.1	69.8	46.2	75.0	71.2	31.9
	住宅・公園・景観	52.2	48.3	50.0	65.8	51.2	46.2	50.0	64.0	42.6
	経済	48.6	55.2	40.0	50.0	51.2	30.8	50.0	60.9	52.2
	防災・危機管理	47.8	51.7	68.8	65.8	65.1	50.0	75.0	57.1	60.9
	地域福祉	53.5	41.4	50.0	55.3	53.5	48.0	76.9	55.9	48.9
	医療・保険	50.0	41.4	43.8	50.0	62.8	48.0	46.2	55.9	34.0
	居住意向	47.9	37.9	50.0	52.6	48.8	48.0	61.5	61.6	27.7
	生涯学習・文化芸術	48.5	58.6	62.5	37.8	62.8	41.7	58.3	56.0	40.4
	協働のまちづくり	45.7	44.8	66.7	62.2	55.8	50.0	58.3	55.5	46.8
	健康・保健	41.4	37.9	50.0	52.6	48.8	44.0	66.7	57.3	46.8
	観光・プロモーション	37.5	51.7	50.0	44.7	51.2	46.2	75.0	47.3	57.4
	交流	44.9	34.5	53.3	40.5	44.2	32.0	58.3	57.8	38.3
	生きがいや喜び	46.5	37.9	50.0	55.3	53.5	32.0	69.2	58.9	38.3
	農業・林業・畜産業	40.8	48.3	46.7	42.1	46.5	23.1	66.7	52.3	40.0
	スポーツ	48.6	41.4	53.3	43.2	55.8	33.3	61.5	51.4	44.7
	自然環境・温暖化対策	43.5	48.3	62.5	42.1	32.6	30.8	75.0	47.7	53.2
	障がい者福祉	42.3	37.9	50.0	34.2	39.5	45.8	69.2	51.9	43.5
	高齢者福祉	43.5	37.9	50.0	44.7	51.2	40.0	46.2	53.6	44.7
	行政全般	45.1	34.5	43.8	39.5	48.8	34.6	76.9	54.5	37.8
	広報公聴	42.3	31.0	40.0	34.2	51.2	34.6	76.9	44.1	56.5
	多文化共生・人権	35.2	31.0	31.3	23.7	41.9	34.6	76.9	41.3	41.3
	DX	29.6	27.6	28.6	28.9	37.2	34.6	61.5	49.5	42.2
	移住定住	31.0	31.0	40.0	36.8	30.2	36.0	41.7	41.8	45.7
	公共交通	27.1	13.8	25.0	18.4	23.3	20.0	46.2	41.8	14.9
	地域連携	32.4	27.6	18.8	34.2	20.9	15.4	41.7	39.1	17.8
	雇用・労働	22.5	20.7	21.4	23.7	39.5	28.0	41.7	36.4	34.0
	財政運営	29.6	17.2	25.0	31.6	25.6	30.8	76.9	26.6	33.3
	土地利用・都市計画	27.5	24.1	46.7	28.9	25.6	12.5	46.2	31.8	23.4
	地域の支え合い	31.9	17.2	25.0	31.6	23.3	11.5	15.4	31.5	14.9
	若者	28.6	27.6	18.8	28.9	32.6	3.8	46.2	29.1	14.9
	担い手	22.9	17.2	25.0	15.8	9.3	11.5	30.8	19.8	10.6

【居住地域別】

- ・支所地域は、9地域中7地域で「上水道・下水道」の割合が最も高い。
- ・次に割合が高いのは、各地域においてバラつきが見られる。

属性別集計（家族構成別）

		家族構成						
		単身世帯	夫婦のみ	二世代世帯	下の子と同居 （うち中学生以下）	三世代世帯	下の子と同居 （うち中学生以下）	その他
標本数（件）		134	328	494	(152)	197	(119)	27
取り組みに対する満足度（％）	上水道・下水道	90.9	89.0	91.1	(88.8)	89.8	(94.1)	84.6
	生活環境・資源循環	90.2	88.3	86.4	(85.5)	87.8	(86.6)	88.5
	消防・救急	77.4	77.0	77.6	(80.3)	79.6	(78.2)	57.7
	歴史文化	75.0	68.5	69.1	(72.8)	77.2	(79.8)	64.0
	こども	63.5	67.0	70.2	(81.5)	73.1	(73.9)	64.0
	木の活用	63.4	60.9	64.8	(73.0)	68.4	(67.2)	61.5
	学校教育	58.7	59.6	59.9	(68.2)	71.8	(74.8)	41.7
	道路・河川	55.0	57.6	58.7	(61.8)	69.9	(73.1)	65.4
	住宅・公園・景観	63.1	51.2	62.7	(65.8)	62.8	(65.5)	53.8
	経済	54.7	52.9	56.2	(60.3)	57.0	(57.3)	46.2
	防災・危機管理	56.1	50.8	55.2	(57.0)	57.9	(61.3)	30.8
	地域福祉	54.5	50.6	53.1	(52.6)	61.4	(63.0)	52.0
	医療・保険	59.0	53.9	49.2	(40.1)	61.4	(59.7)	46.2
	居住意向	55.3	49.7	53.2	(58.6)	58.4	(59.7)	64.0
	生涯学習・文化芸術	56.0	52.4	51.4	(50.3)	59.7	(62.2)	40.0
	協働のまちづくり	48.4	47.8	55.6	(60.9)	59.2	(62.2)	46.2
	健康・保健	51.9	52.2	50.0	(48.0)	56.3	(56.3)	44.0
	観光・プロモーション	50.0	44.3	52.2	(65.1)	54.9	(58.5)	61.5
	交流	50.8	50.5	48.5	(58.3)	56.3	(56.3)	40.0
	生きがいや喜び	46.3	49.7	47.7	(53.6)	53.1	(51.7)	56.0
	農業・林業・畜産業	55.2	45.6	47.9	(55.0)	53.8	(52.9)	44.0
	スポーツ	46.9	46.7	49.4	(53.0)	50.3	(47.9)	40.0
	自然環境・温暖化対策	46.9	43.1	48.4	(55.3)	44.9	(44.5)	42.3
	障がい者福祉	50.8	45.0	43.0	(44.7)	48.2	(51.3)	24.0
	高齢者福祉	49.2	41.3	45.2	(47.7)	47.7	(44.5)	34.6
	行政全般	46.1	49.7	41.4	(44.7)	44.9	(45.4)	34.6
	広報公聴	43.4	46.1	40.7	(43.7)	41.3	(44.5)	38.5
	多文化共生・人権	46.2	36.2	41.1	(50.3)	37.8	(39.5)	19.2
	DX	41.1	39.4	37.8	(41.4)	43.3	(44.5)	34.6
	移住定住	40.5	31.8	36.5	(41.4)	40.7	(38.7)	34.6
	公共交通	33.6	31.5	34.4	(35.5)	32.5	(32.8)	19.2
	地域連携	30.7	27.8	36.0	(45.4)	32.8	(35.3)	23.1
	雇用・労働	32.3	29.6	30.1	(34.4)	36.2	(32.8)	26.9
	財政運営	29.9	31.8	28.7	(32.2)	29.1	(33.6)	15.4
	土地利用・都市計画	30.4	25.9	31.1	(38.8)	30.5	(31.1)	24.0
	地域の支え合い	32.3	20.2	28.7	(30.3)	29.9	(26.9)	20.0
	若者	25.6	23.7	27.8	(33.8)	31.0	(32.8)	12.0
	担い手	26.0	17.2	17.3	(19.1)	23.4	(21.8)	20.0

【家族構成別】

・その他以外で「上水道・下水道」の割合が最も高く、次いで「生活環境・資源循環」が高い。

属性別集計（職業別）

		職業							
		農 林 畜 産 業	自 営 業	員 会 社 ・ 団 体 職 員 ・ 公 務 員	バ イ ト ・ 内 職	パ ー ト ・ ア ル	家 事 従 事 者	学 生	無 職
標本数（件）		52	138	390	207	61	17	279	15
取り組みに対する満足度（％）	上水道・下水道	90.2	87.6	90.5	90.8	96.7	88.2	89.1	100.0
	生活環境・資源循環	90.2	86.9	87.2	84.0	95.1	94.1	89.5	80.0
	消防・救急	78.4	82.4	72.8	71.8	86.9	88.2	82.8	93.3
	歴史文化	73.1	69.9	71.0	73.0	73.3	94.1	69.1	66.7
	こども	69.2	74.8	69.2	68.0	65.0	64.7	69.1	53.3
	木の活用	51.0	69.9	69.2	59.1	60.0	82.4	59.1	86.7
	学校教育	65.4	59.0	58.7	65.8	58.6	70.6	64.2	66.7
	道路・河川	62.7	56.2	61.0	56.6	63.3	76.5	61.5	66.7
	住宅・公園・景観	51.0	59.3	63.6	51.0	67.2	70.6	60.7	60.0
	経済	46.0	50.7	55.1	57.3	57.6	70.6	56.9	53.3
	防災・危機管理	52.9	56.6	55.9	44.2	53.3	64.7	57.2	46.7
	地域福祉	50.0	54.0	53.6	52.2	48.3	70.6	57.8	46.7
	医療・保険	63.5	51.1	48.2	44.7	57.4	64.7	66.4	46.7
	居住意向	51.9	58.4	54.1	54.6	40.0	64.7	52.6	53.3
	生涯学習・文化芸術	63.5	51.1	50.1	53.2	55.0	76.5	54.8	60.0
	協働のまちづくり	49.0	56.6	48.8	56.6	53.3	58.8	54.3	53.3
	健康・保健	52.9	52.2	47.6	45.6	55.7	52.9	63.1	40.0
	観光・プロモーション	52.9	44.5	54.4	50.7	45.9	52.9	48.7	66.7
	交流	54.9	49.3	53.5	43.3	45.8	64.7	50.8	53.3
	生きがいや喜び	57.7	53.7	46.2	42.5	50.8	64.7	53.0	40.0
	農業・林業・畜産業	41.2	46.7	51.0	51.7	48.3	70.6	47.2	60.0
	スポーツ	53.8	40.7	47.3	44.4	47.5	64.7	55.1	53.3
	自然環境・温暖化対策	39.2	53.7	46.4	39.3	44.3	64.7	48.1	53.3
	障がい者福祉	38.5	40.1	42.4	44.1	43.3	70.6	51.9	46.7
	高齢者福祉	46.2	47.4	44.2	35.4	45.9	70.6	49.5	53.3
	行政全般	55.8	42.6	42.3	41.9	49.2	58.8	47.8	40.0
	広報公聴	44.2	41.2	42.9	34.8	53.3	47.1	47.4	33.3
	多文化共生・人権	36.5	37.5	41.6	35.0	41.0	58.8	38.8	53.3
	DX	36.5	36.0	37.8	36.9	50.0	47.1	42.9	35.7
	移住定住	29.4	29.9	38.2	35.0	37.3	64.7	36.8	66.7
	公共交通	34.6	31.3	27.4	32.7	35.0	41.2	39.8	46.7
	地域連携	27.5	30.9	31.8	33.3	29.5	52.9	33.2	33.3
	雇用・労働	25.5	28.9	30.5	34.8	31.7	47.1	30.6	40.0
	財政運営	25.0	25.0	29.0	24.1	31.7	52.9	34.8	33.3
	土地利用・都市計画	23.1	25.9	33.0	25.9	25.4	64.7	30.3	20.0
	地域の支え合い	17.3	27.9	23.6	28.4	29.5	52.9	30.7	40.0
	若者	23.1	26.1	24.2	27.3	27.9	52.9	29.6	40.0
	担い手	25.0	18.4	15.1	15.8	23.0	35.3	25.8	33.3

【職業別】

- ・ 学生と無職以外で「上水道・下水道」の割合がそれぞれ高い。
- ・ 次に割合が高いのは、各職業においてバラつきが見られる。

属性別集計（定住年数別）

		定住年数				
		1 年 未 満	5 年 未 満	1 年 以 上 5 年 未 満	10 年 未 満	20 年 未 満
標本数（件）		21	32	39	92	999
取り組みに対する満足度（％）	上水道・下水道	90.5	93.5	89.7	86.8	90.3
	生活環境・資源循環	90.5	90.3	87.2	84.6	87.6
	消防・救急	76.2	71.0	82.1	68.9	78.4
	歴史文化	76.2	74.2	84.2	75.8	69.9
	こども	71.4	74.2	75.7	71.4	68.3
	木の活用	76.2	80.6	94.7	74.7	60.9
	学校教育	76.2	55.2	71.1	65.6	60.5
	道路・河川	66.7	54.8	63.2	69.2	59.3
	住宅・公園・景観	76.2	77.4	73.7	71.1	57.0
	経済	61.9	54.8	69.2	67.8	53.3
	防災・危機管理	71.4	67.7	47.4	59.3	52.9
	地域福祉	61.9	40.0	42.1	57.6	54.4
	医療・保険	57.1	45.2	56.4	45.7	54.3
	居住意向	71.4	48.4	48.7	59.3	53.0
	生涯学習・文化芸術	66.7	63.3	60.5	60.0	51.7
	協働のまちづくり	57.1	51.6	60.5	60.0	51.9
	健康・保健	52.4	41.9	68.4	45.7	52.1
	観光・プロモーション	66.7	45.2	59.0	60.4	49.2
	交流	76.2	58.1	47.4	60.0	48.6
	生きがいや喜び	47.6	51.6	63.2	52.2	48.2
	農業・林業・畜産業	66.7	54.8	52.6	68.5	46.9
	スポーツ	42.9	53.3	63.2	44.0	48.1
	自然環境・温暖化対策	66.7	41.9	47.4	54.9	44.8
	障がい者福祉	38.1	37.9	55.3	48.9	44.4
	高齢者福祉	71.4	58.1	59.0	54.3	42.3
	行政全般	52.4	48.4	45.9	53.8	43.6
	広報公聴	33.3	51.6	51.4	51.1	41.4
	多文化共生・人権	57.1	35.5	43.2	52.2	37.7
	DX	38.1	29.0	37.8	45.6	39.2
	移住定住	61.9	38.7	47.4	50.6	34.1
	公共交通	42.9	32.3	25.6	40.0	32.3
	地域連携	61.9	40.0	44.7	41.1	30.1
	雇用・労働	38.1	33.3	31.6	40.0	30.1
	財政運営	42.9	29.0	35.1	34.1	28.7
	土地利用・都市計画	47.6	51.6	23.7	39.6	27.5
	地域の支え合い	28.6	22.6	21.6	34.1	26.7
	若者	28.6	30.0	23.7	34.1	26.3
	担い手	38.1	10.0	18.9	22.0	19.1

【定住年数別】

- ・ 5年以上～10年未満を除くすべての年数で「上水道・下水道」の割合が最も高く、次いで、多くの年数において「生活環境・資源循環」の割合が高い。

3 高山市のまちづくりに関するご意見など

問7 その他、ご意見、ご提案などがございましたらご自由にご記入ください。

こども

- ・こども・人材育成には「教える」「ほめる」ことが大事だと思っている（教えないで、けなしてばかりでは、何も育たない）。
- ・現在、市では高校を卒業したら、その先のための学校へ進学するには市を離れなければ学べない。それから市へ帰って、やりたいことができる環境ではないのも現状だと思う。高山で生まれたこども達が市でやりたいと思える「夢のある場所」になってほしい。こども達がワクワクしたり感動したりできるキラキラした体験を作れる場所を、多く作ってほしい。私のこどもは夢を叶えるために現在は市を離れて努力の日々を過ごしているが、いつか今の経験を携えて市に帰ってくると思う。その時、我が子の経験が市の将来のこども達の夢への一歩になってくれたらと願っている。こども達の明るい未来が見えるまちづくりに期待している。
- ・私は生産年齢にあるが、共働きでもギリギリの生活のため、こどもを産み育てることに強く不安がある。
- ・市には、子育て支援（金銭面）でとても助けられている。我が家では将来こどもが進学等を望んだ際の出費を考えて、こどもは2人のみにしたが、どの家庭でもこどもの人数に関係なく同じように支援してほしい。私はこどもに携わる仕事を通してたくさんの家庭を見てきた中で、こどもに手をかけない家庭が多く産んでいる例を知っている。そのような家庭に手厚い支援（第3子以降3万円支給等）がなされることに対し、非常に疑問を感じる。皆が平等に生活しやすくなることを願っている。
- ・不妊治療のため岐阜市、名古屋市、富山市へ通っている。若者にとって負担となっている。市としても、少子化対策として応援策をとってほしい。
- ・今のこどもたちは挨拶ができない、ハイと返事もできない子が多い。今の世の中は、善悪の見境がわからなくなっている人が多い。詐欺、こどもの虐待など、悲しい事件が多い。一体何が悪いのか。昔の人間では考えられない。若い人達の考えがわからないことが多い。このままでは日本がいけない方向に向かっているように思う。善悪、義理と人情、感謝をもう一度見直さないといけないと思う。
- ・都会と違って、田舎ではいろいろな事に挑戦する環境が少ないと思う。こどもには「田舎だから…」と諦めてほしくないで、何でもよいのでたくさんの機会を与えてほしい。
- ・市の賃金は低く、他県の人達に比べて収入が圧倒的に少ないのに、ここの家賃は都会並みに高い。こどもが保育園などに通うと、仕事を時短にするしかないと思う。育児休暇中にもらう手当より、育休明けの時短勤務の時の収入の方が少ないという人もいるそうだ。私の周囲でも「2人目がほしいけれど金銭的にやっていけない」という人は多い。大型商業施設もなく、どこに行くにも遠くてお金がかかる一方、気軽に行ける公園は少ない。本当に対策してもらいたい。こどもに優しい環境づくりと、子育て中の親に少しでも心の余裕ができるような施策を。
- ・こどもが遊べる場所がもっとあるとよい。子育て世代にもっと保障があってもいいと思う。こどもが大きくなった時にどれだけ費用がかかるか、いつも不安だ。今はこども1人だが、不安がなくなれば2人目も産みたい。

- ・ハード系の事業は整備されているが、ソフト系の事業にも力を入れてほしい。特に産前産後ケア。
 (1) 母乳ケアの助成 (2) 情報を得やすくしてほしい (情報を自らとりに行かなくてはいけない状態だと思う。初産婦には大変) (3) ギフト、さるぼぼコインの取得上限を上げてほしい (第2子以降だと持っているものも多いため)。 (4) 入園・入学のタイミングでの学用品購入支援。上記の(1)、(4)は飛騨市の事業と同程度を希望する。
- ・育ち盛りで部活や友人と遊びたい年頃のこども達の中で、家庭の事情でそれもできず、学校が終わるとすぐ家に帰り、家族の世話をしているこどもがいることを聞き、他人事とは思えずとても胸が痛む。市や国には、何とかしてそのこども達にもっと自由を与えてやってほしいと切に願う。
- ・市に住んで幸せに思う。もっとこども達が増えるように力を入れてほしい。
- ・現在未就学児を2人育てており、以下を要望する。(1) 室内で走り回って遊べるような施設。
 (2) 小児医療機関の充実。耳鼻科や皮膚科などの専門小児科も。(3) 療育施設の増設や充実、診断できる専門医の充実。我が子は療育施設に通っており、自己負担がないのはありがたい。しかし一方で、通所希望者が多く、キャンセル待ちが多々ある。また、敷居が高いので、少しこどもの発達が不安なくらいでも気軽に相談してチェックを受けられる場所ができるとよい。
- ・小さなこども達が安心して遊べる公園が少なく、数少ない公園で大勢のこども達を安全に遊ばせることも不安を感じる。観光・移住等すばらしいことだと思うが、これから市を活性化させる一つの中に子育ても入れて、小さなこども達を守る市になってほしい。
- ・核家族、フルタイムの共働きで小学生までのこどもを3人育てている。最近では市民プールや公園のリニューアル、週末のこども向けのイベントなど、親子で楽しめる場所が増え、とても子育てしやすい環境だと思う。小学校でもいろいろ経験する機会があり、こどもを大切にしているのが伝わって感謝している。病児保育の利用に多子世帯に対する補助があるのはよいが、満員で利用できないときも多いので、さらに充実させてほしい。学童保育にも2人目以降半額などの助成がほしい(我が家は金銭的理由もあり、1人利用中止を決めたので)。
- ・子育て世代を支援することが、市の住みやすさにつながると思う。移住者が増えることになるといえる。そのためには、小中学校の給食費無料化など、大胆に実行してほしい。飛騨市は福祉・教育等よく目の行き届いた施策を行っていると思う。高山市も他に自慢できる施策を率先して行ってほしい。
- ・こどもの学費含め無償化してほしい。
- ・不妊治療の助成の対象に人工受精も加えてほしい。
- ・支所地域での乳幼児の発達検診について。保健指導員に支所地域へ来てもらいたい。母子が1時間かけ高山地区へ出かけて受けるより、大人が移動する方が負担が小さいように思う。病児保育は支所地域になく、高山地区まで病気の子を預けに行き仕事に出かけることは、親の負担が大きいと思う。
- ・雨の日でもこどもだけで遊べる施設があるとよい。
- ・地域の担い手として成長していくこども達が地域コミュニティの中に住んでいる。このコミュニティ再生の試みは、すぐに成果が出なくても、長期的にはこども達の成長を通じて地域の再生産につながっていくことだろう。学校で地域づくり活動を推進されていると思う。学習・実践・体験、それぞれの活動を結びつけながら生きる力の育成につながることを願っている。
- ・私は現在大学1年生と3年生のこどもがいる。子育てをしてきて、一番お金がかかるのは今だ。市には大学が無いので、進学を選択すれば下宿になり、お金がかかる。(貸与型の)奨学金制度に頼ると、ほとんどの場合実際に奨学金を返済するのはこども自身だ。大学を卒業し、やっと就職できても、最初から借金を抱えている。それでは未来に結婚もこどもも望めないだろう。今のところ、

私のこども達は卒業後すぐに市に帰ってくるとは言わないが、知り合いのこどもの中には「大学卒業したら絶対帰ってくる」とか「子育ては絶対に高山でしたい」とか言う子もいる。そういう子達を手厚く迎え入れるために、例えば奨学金返済の手助け等があれば、帰ってきやすくなり、少子化対策にもつながると思う。

- ・稲沢市では子育て支援として、オムツ補助金制度があった（２歳まで１カ月 2000 円分のオムツ券が届き、指定の店舗でベビー用品すべてに使える）。高山市は支援センターが土日も開いており、中学生も遊びに来たりして活気があってよい。子育てのしやすさをアピールするとよいと思う。
- ・子育て支援について、雨の日にこども達が健全に遊べる場所を増やしてほしい。また、小さいこどもを連れての雨の日の移動は大変なため、屋根つきの駐車場がほしい。児童館の駐車場が屋根つきであれば、「雨だから止めよう」と思わなくて済むと思う。
- ・こどもが道路で遊ぶことによって、危険な状況をよく目にしたり聞くことが多いので、公園やスポーツ施設などで遊ぶことを推奨してほしい。
- ・もう少し子育て世代への保障や現金給付があると、もっと子育てしやすい環境になる。雨の日にこどもを遊ばせる場所が少ない。
- ・子育て支援・その他の一環として、早期の高校授業料無償化等の促進を望む。
- ・子育て世代のため教育費用無償化を。こどもを持たない、結婚しない選択肢が強調され、少子化がすすむ一方である。こどもは今後の日本を担う宝なので国で育てていかなくては。育児中の共働きの母親は忙しすぎる。この社会でもう少し余裕のある時間を作ってあげることができないか。
- ・全国に同じような環境にある地域がたくさんある中で、私が住んでいる地域で今後居住人口を減らさないためには、今までと同じようなことをしては変わらないと思っている。地域にこどもがいることで未来を見据えることができると思うので、関係人口を増やし、働き世代の親と学びあるこどもが健やかに生活できるように魅力的な施策が必要だと感じる。
- ・こども達が新しいものに触れあえる機会が本当に少ない。屋外にただの公園しかなく、例えばデジタルアートを楽しめる施設や、木に触れ合いながら室内で遊べる全天候型プレイルーム、野外で思いっきり遊べる場所がない。休日にこどもを遊ばせようと思うと選択肢として一番にあがるのは富山や岐阜、愛知、長野といった他自治体になるのが現状である。有料施設でも良いので市と企業が協力し実現できると、家族連れの観光客にも選択肢の一つに入り、観光地としての幅が広がるのではないかと思う。
- ・市は、冬は寒さが厳しく夏は都会並みに気温が上がり、光熱費は勿論のこと冬タイヤ、防寒着、雪かき用品等、他の地方より係る経費も多い。その上、自宅から通える大学が無く、マンション代、食費、授業料など大金が必要となるので、その親は大変な思いをしている。せっかく大学を出て高山市に戻ろうとしても大卒に見合った就職口も少なく、Ｕターンを諦める人もいるようだ。そこで、選択した大学に自宅通学できない人に対し奨学金を無利子にする、市役所などの大卒採用を増やす（高卒、専門卒を減らす）等、考えてほしい。第三子から大学無償化は不公平なので、努力して入学した国公立から始めてもよかったのではないか。
- ・こども達が外で遊べる環境を市内にもう少し作るべきだと考える。安全という面では高山市はかなり優秀だと思うが、楽しく遊べる公園が町中にあるかと言われたら微妙だと思う。特にエネルギーな中学、高校生が運動して発散できる場があると尚良いと思う。現在留学でフランスに住んでいるが、高山が恋しい。これからも大好きな故郷にしてほしい。自分もできることがあったら参加したい。

- ・ひとり親家庭を支援してほしい。私の場合は死別のため、こども達が不安定でフルタイムで働くことが難しいので、灯油の購入券や温泉の入浴券等があればうれしい。福祉医療費受給者証の色は黄色以外にしてほしい（「離婚」との区別）。
- ・小児科が少ない、予約が取りづらい（患者が多いと時間内でも締め切りになってしまう）。若者が住みやすいとは思わないが、子育てしやすい環境や施設、レジャースポットなどもっと充実すれば、若者もこどもも増えると思う。

若者

- ・若者が遊べる場所（楽しめる場所）。若者がふるさとに残れるような場所にしてほしい。
- ・ホテルがたくさん建ち、外国からの観光客が多いことはうれしく、誇らしい気持ちになったが、コロナ禍で考えを改めた。本当は、若者が働く場所が多く、都会と同じくらい給料がもらえる産業が必要なのではないかと思う。若者が地元に興味を持てるようなもっと積極的な仕組みがあったら、若者が市に残ってくれるのではないかな。
- ・市に住んで、どちらかと言えば満足に近い。山間部に移住してきてくれる若い世代の方達を増やしてほしい。あちらこちらの田舎の町が、今どきの魅力的な方法で、いろいろなことに挑戦しているバイタリティあふれる若者や家族に移住してもらっている様子がうらやましい。そのような人達に山や田畑を使ってもらいたい。
- ・労働力・雇用の課題。外国人雇用へ重点を置かざるを得ない環境である。若い日本人の労働力（高校生）が少ないにもかかわらず、ルールで縛り、無駄にしている。校則を見直すべきだ。働き手となる年代が高校生にも適用されるルールを施行できなければ、未来の市は日本人が消える。高校生が働けない→働くことを知らない幼稚な大人になる→県外・外国人に労働力を頼らざるを得ない→市を大切にする住民が減る→町が汚れていく→未来ある若者に希望や地元愛を育むことができない→地元から離れ、戻りたい地元が消えて、人も消える。未来につながらない環境である。
- ・若い人達が今後ずっと楽に生活できていくことを願っている。
- ・土地は広いけれど「何もないまち」だと思っている。我が子も「高山を出ようかな」とよく言う。買い物や遊びに行くときは、富山や岐阜に足を延ばす。市には大型商業施設がないので、これからを担う若者のために誘致してもよい。先日の全日本ラリー等もっとアピールするのもよい。将来を担う若者にもっと目を向けてほしい。高山からの若者の流出を止める努力が必要だ。
- ・こども達が進学のために市外・県外へ一度出ていくと、なかなか就職先がなく（職種にもよるが）、市から離れてしまうという現実、やはり悲しいと思う。
- ・買い物する場所が少ない。服などを買う際、他県等に行かなければ買いたいものがない。若者離れがすすむ。
- ・若者の交流するイベントが少ないように感じる。
- ・大学進学で他県へ行くこども達がせっかく学んできた事を生かせるような環境や職がほぼなく、Uターンの子が少なく思う。大学へ行くこども達が、「高山に戻って働きたい」と思える事がないようだ。進学する子が多い現代、将来の市のためにも、こども達がもっと地域への関心を持てるような何かがあるといいのでは。
- ・ほとんどのこどもが大学を卒業すると名古屋や関東に就職してしまう。市に戻ってきて大学で学んだことを生かせるかと考えると、親としても引き留めることができない。市に戻ってくれる若者が増えるよう、対策を考えてほしい。
- ・私のこどもは県外で就学しているが、卒業しても市には戻って来ないと言っている（友人の多くも）。若くて元気な人達が市に戻って働きたい、こちらで結婚し、生活していきたいと思うような

環境を整えていくことが、今後の市にとって大切だと思っている。子育ての基盤は、医療費の無償化などで充実している。問題なのは、若い親・若者のための取組みを考えることだろう（働きたいと思える環境、住居の確保など）。市は家賃相場が高いので、若者向きの市営住宅や空き家の改修などがあれば、若者も住みやすくなるのではないかと。今、空き家が民泊などに使用されていることは、本当にもったいないと思う。そこに若者を呼び込むことができれば、きっと双方にメリットがあるのではないかと。

- ・若者が市を離れることなく暮らせるよう、仕事面での助成などを考えていく必要がある。外から人を入れるのではなく、市で生まれ育った人達を大切にしてほしい。
- ・若者の結婚離れが多く、東京都を見習ったらどうか。
- ・市はとてもよいまちだと思うので、今後も若者が戻ってきたい、ずっと暮らしたいと思えるようなまちであり続けてほしいし、他所の人々にももっと市の魅力を知ってほしい。高山祭など若手が少なく大変だと聞くので、飛騨市の面白い取組みが高山市でもあるとよいのではないかと。
- ・市には若者の遊び場がないので、せめて映画館をつくってほしい。
- ・市は観光に力を入れているが、それを支える市民および将来を担う若者が生き生きと暮らせるまちづくりを期待している。
- ・若い人が都会へ行かなくても生活できる（収入を得られる）ような政策をしてほしい。
- ・もっと多くの若者に政治に参加してほしい。投票率を上げる取組みをしてほしい（投票済証明書を持っていけば店で割引がある等）。
- ・人口減少が気になる。若者がもっと働ける環境など、魅力あるまちづくりが必要。今でも取り組んでいると思うが、出生数は減少していると思うので。
- ・高校を卒業すると市を出ていく子どもが多い。若者が働ける職場が少ないと思う。大学などを卒業した後、市に戻って就職できるとよい。少子化対策の前に、若者同士が出会える機会を増やすためのイベントを企画してほしい。
- ・映画館や若者が集まって遊べる施設を作してほしい。
- ・野外ライブやeスポーツなど、若者が注目するイベントを定期的に行う事で、若い世代に魅力を感じさせる都市であってほしい。
- ・若い世代の地元離れが進んでいる。薬局やホテル等は増えているが、もう少し若い世代が地元に住みたいと思うような施設もあるといいと思う。豊かな自然と伝統的な文化を残しつつ、若い世代に向けた施策をこれからの市政に期待する。
- ・若い人達が希望を持って働ける職場が無く、地元を離れ、人口が減り続けている。また観光業に頼った経済のためコロナ禍のような状況になった場合困窮してしまう。地域独自の新しい産業の必要性を感じる。
- ・多くの高校生が他地域への大学へすすむしかないので、飛騨地域外へ出る家庭への援助が厚いと良い。また、飛騨の大学が早くすすむことを期待する。
- ・観光、農畜産業ばかりが優先の行政にも全く魅力を感じられない。若者が高山に住み続けたいと思う気が起きないのも仕方がないと思う。あまりにも他都市から遠すぎて、もっと色々な文化なり情報なりアミューズメントなりに触れたくてもできない（映画館すらない）、全く魅力のないまちになっている。若者にとって、観光が何をしてくれるというのか。農業離れの今誰が就農しようとするか。未来へのビジョンは全くと言うほど見られない。高山の町並みはとても綺麗だ。それは住民の気持ちがとても素晴らしいのだと思う。だからこそ、おぎなりの方向づけが残念でならない。
- ・大学を作れば若者が増えると思う。
- ・もっと若者が楽しめる場所を作してほしい。

- ・若者がここで暮らしたいと思える魅力的な市になるように切望する。具体的に何と言われたら難しいが、チャレンジできるものが少ないのかもしれない。
- ・私は東京からUターンした。市には遊ぶ場所、娯楽が圧倒的に無いと感じている。中高生の子が遊び行く場所は商業施設1店舗、カラオケも2店舗くらいしかない。若者が都会に遊びに行きやすいように電車やバスの交通費を割引したらよいと思う。市から出るまで地下鉄に乗ったことがない場合、圧倒的田舎者になってしまう(名古屋に行けば映画館、カラオケやファッション、人の数や電車間隔など、都会に慣れることが出来ると思う)。問題は、都会に出て事故に巻き込まれる可能性が無いとは言えないので(高山の感覚で行くと危ない)、自衛することもちゃんと覚える必要があるだろう。
- ・観光産業も大切だが、将来を担う若者が住み良いまちづくりをしてほしい。
- ・自分の小さい時と比べ、市は変わって来ていて、それに伴ってまちも変わって来ている。若者が大学などの後に戻って来る環境を何とか整えてほしい。自分のこども達も、すぐには戻って来たくないと言っている。
- ・若い人達は市外に出てから戻ってくる人はどのくらいいるのか。今はこどもの頃から地域学習などで地域の魅力に触れているため、戻ってきそうな気もするが。ぜひ帰ってきたくなるまちにしてほしい。若い人があふれるくらいいるのが夢である。
- ・定住する若者や、進学等で出てしまった若者が、Uターンできる環境(雇用状況、就労の場の拡大など)づくりにぜひ力を注いでほしい。
- ・若い人達が都会や高山地域に家を建て、私達の住んでいる地域はますます過疎化していき、こどもの数が少なくなっている。
- ・若者が帰ってきて就職・定住できるような地域づくりができればよい。

地域の支え合い

- ・市に住む人がゆったり穏やかに暮らせるのが望みである。収入はそれほど多くなくてもよい。地域の人と助け合い、忙しすぎないことが一番だと思う。
- ・祖父母を見ていて、車がないことがやはり大変そうである。この先、核家族の世代が高齢になったとき助け合える人間関係があるか、不安だ。
- ・若者には優しいまちだと思うが、中年・高齢者には厳しいと思う。もっとやりがいや助け合いの精神を向上できる仕組み作りをしないと、活性化していかないと思う。まちづくり協議会のことも知っている人しか知らないし、町内会を抜ける人も多いので、この先10年20年後が不安でたまらない。これだけ外国人が多く県外の企業の参入も多いと、高山市らしさも消えていくのではないかと考える。老若男女がいろいろなことに携わり、皆で助け合う心を養わないと、「自分だけが良ければいい」といった若者も増えてくるのではないだろうか。実際、行政がどのようなことをしているか分からないし、参加者は同じような人に偏っているのではないかと思った。皆が多くのかことにチャレンジできる市にしたい。
- ・江名子川の清掃について。自分の町内側はきちんと実行している。一方、川向う側は、高齢のため危険だと言い、若い人からもまったく協力が無い。人員の手配を市から依頼するよう申し出ているが改善されない。
- ・農村地域での草刈り作業等が、住民の安全な生活や水路の確保、景観の保持に役立っていると思う。しかし、地域住民の高齢化により、今後も今の方法が続けられるか不安だ。個人所有の山林や休耕田の手入れについても同様の不安がある。
- ・地域での助け合いが必要だと思っている。

- ・以前は住民が自宅周辺の草取り、落ち葉掃き、雪かきなどをして自主的に整えることで環境が美しく保たれていた。しかし近年の高齢化により自主的な活動が減ったことが原因だろうか、最近では落ち葉が目立つ。落ち葉掃きなどに市民で取り組む日を設けるとよいかもしれない。みんなで取り組みれば短時間できれいになる。
- ・市民の力を借りたいことがあれば、募集や呼びかけを通して役割分担していただければと思う。
- ・祭りの後継者不足、まちなかのドーナツ化を解決してほしい。住民は伝統を背負わされ、逃げることもできずにかわいそう。
- ・まちなかの空き家が目立つ。民泊に利用されて空き家は少なくなっているが、まちなかの住民が減っていくことは変わっていない。まちなかは古くからの住民が多く、新しく引っ越して来た人が住みにくいという話を聞いたことがある。しかし、この先災害などが起きた時、地域・近隣の住民との協力が欠かせない。古き良き物を大切にしつつ、新しい考え方も取り入れて、地域の繋がりを大切にしたいと思う。
- ・地域参加の行事は、参加する側は良いが、運営側は負担に感じる人が多い。
- ・小さな集落。役がたくさんあり、大きいところと比べると負担が大きく不公平である。町内の合併や行政不介入だと思うが、神社の合祀なども必要ではないかと思う。文化財も守れなくなるのではないかと思う。

担い手

- ・市の伝統工芸を継ぎたいと思っている若者も、経済面が心配でその仕事に就けない。
- ・どこも人手不足である。それなら、どこから人手を呼ぶのだろうか。
- ・飛騨全体の人材不足により、人材の確保ができず後継者育成ができていない状態である。若者の会社へのあっせんなどを市として取り組んでほしい。中途採用などができる環境を整備してほしい。
- ・すべての産業で担い手確保の政策を望む。

生きがいや喜び

- ・すべての産業で担い手確保の政策を望む。
- ・高齢者も元気で社会生活ができるような市であってほしい。
- ・こどもだけでなく、お年寄りや障がい者、若者にも優しいまちであってほしい。

居住意向

- ・映画館ができたらうれしい。
- ・老人の娯楽施設が少ないように感じる。ぜひ、市に映画館を。小さな「あちらこちら」の小ホールでは迫力がなく、富山や岐阜まで行くことになる。有名な映画を見たいと思っても、つついちゃめでしまう。時間があっても遠距離すぎ、体力もなくて行けない。
- ・娯楽施設、映画館、大型商業施設を誘致してほしい。映画館はぜひ。
- ・映画館がほしい（毎日でなくても、土日くらい）。金銭的に無理……。
- ・昔ながらの風習が変化していないことで、暮らしにくいと感じることが多くある。もっと柔軟な風習に変化してほしい。必要だと感じる者が加入する、無理のない所で役を担う選択ができるような環境を考えてほしい。高齢になったとき、今のままだととても不安を感じている。
- ・楽しみがたくさんあるまちになっていったらよいと思う。
- ・年齢を重ねると、いつまで健康でいられるか、医療施設がもっと近くにあればいいのに……等、健康の不安が頭をよぎるようになってきた。一人でウォーキングや体操などは、なかなかできないの

で、スポーツ教室の充実、他の人とのふれあい・交流ができるきっかけとなるものがあるとよい。耳鼻科、歯科、定期検診で中核病院へ行く際、市の中心部まで往復 100 キロある。一日仕事で疲れる。早くトンネルができてほしい。私の住んでいる奥飛騨は自然、温泉、きれいな水など大好きだが、不便もたくさんあるので、移住を検討している。

- 私はこの地に居を構えて 40 年になるが、今でも部外者（よそもの）である。この地は、通り過ぎていく人には親切だが、ここに根付くものには従来からの秩序、習慣に従うことを迫る。それを拒否すると、いつまでも部外者扱いされる（神社の氏子、政治家の後援会への入会等々）。同質化を迫る無言の雰囲気、時として疲れを覚える。確かに、異質なものと共生共存は大変なことだが、それができなければ、やがてこの地域は衰退していくように思う。ハードも一案だろうが、住民の意識改革（ソフト）が一番大切だと思う。
- 市内にかつては開業医が何軒もあったが、後継者がおらず閉院が増えてきた。高齢者にとっては先行きがとても不安だ。また、自動車の運転ができなくなると、市中心部から離れた地域からは交通の便がない。「のらマイカー」はとても不便で利用できそうにないし、タクシーは高くて台数も少ないので使えそうにない。地域医療および地域の食料品店等への行政の支援が不可欠である。
- 観光地であるため、病院や買い物する施設がない。充実させてほしい。
- 市の観光客や外国人もごく一部の地域だけのため、人口増加や財政にはつながっていないように思う。宿泊業に従事する外国人研修生や派遣社員が増えているが、移住してもらうために行政から優遇策を考えて、国籍などに関わらず若年層にとっても住みやすい自然豊かなまちになればよいと思う。年金世代の方々にも社会とのつながりを持ってもらうために、隙間時間アルバイトの老年バージョンのような働き口を増やしてもらい（スマホを使わなくても応募でき、日払いで収入を得られる）、老後の日常生活を充実して過ごしてほしい。
- 高山地域は発展しているが、奥飛騨温泉郷地域は人口が少なく、道路、商店、薬局などは 20 年前と変わらない（道路を走れば、川がジャングルのようだ）。ATMのあるコンビニ、食料品店、薬局、ホームセンター（雪が多いので）などがあると助かる。
- 市に映画館を希望する。
- 私は市で生まれ、市で育ち、就職も市内、市で 60 年ほど暮らしている。ほかの地で暮らしたことがないからそう思うのかもしれないが、嫌いな厳しい冬以外はとても良いところだ。自然も人柄も……。この飛騨の良さを大切に守り、若い世代の人達に、さらに暮らしやすい市を続けてほしい。
- 現在、支所地域に住んでいるが、高山市になってもここは人口が減るばかりだ。高齢の親を介護しているが、自分も年をとり、こどもは頼れない。運転できなくなった時を思うと、年金だけでの生活が大変不安だ。過疎化しつつあるこの地で死ぬまで過ごしたいと思っているので、住みやすく安心できる生活を保障してほしい。
- 映画館などの娯楽施設がほしい。交通機関が整っておらず、岐阜までの運賃が高い。
- 市はどこに行くにしても遠くて不便。映画を観に行くにしても富山や岐阜の方まで行かなくてはならなくて交通費もかかるので、せめて映画館 1 つだけでも作ってほしい。
- 市は観光に重点を置いているようだが、治安が悪くなっているようで不安だ。地べたに座り込む外国人を飲食店の前で見る。観光業に携わっていない市民も安心して生活できる環境を整えてほしい。
- 市に住んで 10 年以上たつ。地域の人々が温かく、過ごしやすいと思う。古い町並も風情があって好きだ。最近は観光客も増えてきて活気があってうれしい。
- 休日に過ごせる場所が限られているので、市内で過ごせる施設や公園など充実した場所を設置してほしい。

- ・大型の複合商業施設などがほしい。店内ウォーキングが年中できるような施設、アミューズメントがほしい。
- ・ホテルばかり建てて観光産業に力を入れるよりも、定住が促されるように賃貸の家賃の見直しや、遠方に行かなくても済む商業施設の誘致を。
- ・市民プールや原山公園などの再建設はとてありがたい。今後も市民が集える施設建設を整備してほしい。
- ・市があまり好きではない。特に交通マナーが他の地と比べひどすぎていると感じている。
- ・大学を作る、魅力的な会社がある、起業しやすいなどの若者が出て行かないようなまちづくり、そして高齢者にも住みやすい、自然や街の魅力を伝えられるまちにしてほしい。
- ・今はとても良い環境の中で過ごしているが、車がないと移動出来ないこと、医療機関の不足など、不安材料がある。
- ・若者が流出していくのは、市に娯楽施設が無さすぎるからだと思う。ゆえに、少なくとも映画館程度はつくるべきだ。
- ・夜遅くまでやっているお店を増やしてほしい。

地域福祉

- ・私の子育ての頃は、教科書、給食費他は自分達で買い、支払うことが当たり前の実情だった。生活が苦しくとも、皆が同じような環境だったので、文句も言わずそれなりの行動をしていた。今の時代は、私達の頃より皆裕福で恵まれているのに、あまりにも福祉に頼りすぎていると思う。
- ・障がい者福祉、児童福祉に関わる人材不足を何とかしてほしい。
- ・生活保護について。体の悪い所のない人には仕事を与え、体の悪い人は支障のない（例：足の悪い人には手を動かす仕事）その人に合った仕事をしてもらう。足りない生活費分を補うようにしたらよい。
- ・不登校のこどもや、精神疾患などで働けない人が多いので、もっとそちらにも目を向けて支援してほしい(話を聞いてほしい)。そういった取り組みをしている団体や事業所が頑張っているので、応援してあげてほしい。
- ・引きこもりやその家族に対する支援、就労が難しいと感じている人に対しての支援がほしい。

障がい者福祉

- ・福祉課の障がい者手当全般について、所得制限の部分の説明が足りない（ホームページ）。堺市等のホームページを参照し、改善すべき。
- ・もっと障がい者雇用に力を入れてほしい。
- ・障がい者で就職できない人が大勢いるような気がする。
- ・障がい者の手帳等の書類手続きを手伝ってくださる方を配置するか、手続きを簡素化できないか。次から次へと手続きや書類が多くて大変なので、専門の相談窓口があるとよい。
- ・福祉課の時間延長もしくは（月１回でもよいから）土日に開いてほしい。わざわざ仕事を休まないと行けない。
- ・障がい者福祉について。幼児でたん吸引などのケアを必要とする者がいるが、ケアできるものが自分達しかおらず、こどもを置いていく必要がある際に預ける機関がない状況だ。飛騨市には最近１件できたが、利用補助などがなく、１日足らず預けるだけでも８万円程度かかった。市内の某病院でもレスパイト入院できるようだが、大人１人をつける必要があり、利用が難しい。福祉関連におけるケアする側を行政に支えてほしい。

- ・低所得者が入れる高齢者施設を増やしてほしい。
- ・年金受給者にとって市民税・県民税、介護保険料、健康保険料が非常に高すぎる。
- ・今後の高齢化が進展するなか、やむを得ず運転免許を返納すると、その結果買い物難民が増加する。買い物については、移動販売車のPR（場所、いつ来るか、何時に来るのか等）が不足している。交通機関については、予約制のところもあるようだ。タクシー利用が現実的だろうか。
- ・このアンケートを元に市は今後どうしていくのか。市の良い所はどんな所か。物価は高いが給料が低い。自分が60歳過ぎたら安心して老後を迎えることができるのか……。果たして年金はもらえるのか……。私達ぐらいの世代が一番損している。意見を書いたらきりがない。誰もが安心して暮らせる、平等な対応ができる市を目指してほしい。
- ・今後、高齢世帯の増加に伴い、住民負担（金額、出役）等の軽減に努力してほしい。
- ・支所地域は自分で車に乗らないと行動できない不都合なことがたくさんある。高齢になると、ますます日々の生活が不安になる。食生活について、生鮮食品を手に入れにくくなるし、他の生活日用品等も高山地域まで行かなければならない。コンビニでは手に入りにくいものもあるので、スーパーマーケット等が市外にもできて、過疎地域にならないようにしてほしい。
- ・年金生活者は、物価の上昇等で生活も質素になってきている。その辺りのところ何とか考えてほしい。
- ・私の地区で来年、地元のスーパーが閉店すると、高齢者が買い物する場所が無くなる。今後のことを考えてほしい。
- ・残された親が高齢になっても若者に迷惑をかけずに暮らしていけるよう、福祉をもっと充実させてほしい。
- ・高齢化社会に向けての準備（交通手段、買い物難民への対応）が必要不可欠だ。
- ・現在、夫婦共に健康で生活できていることに幸せを感じているが、5年後、10年後、どちらかが倒れた場合の日々の生活を想像すると、不安だらけだ。
- ・介護サービスの充実化。本当に必要な人がサービスを受けられない、介護の現場を見てほしい。介護業界の働き手の給料などを充実させてほしい。
- ・私は高齢の一人暮らしで、買い物、医療機関その他への移動手段が大変不便だ。交通券、交通割引券を要望する。
- ・地元のスーパーが来春閉店する。車がなく移動手段のない高齢者にとって買い物が心配だ。
- ・少子化対策・子育て支援もとても大切だと思うが、今の市にとって高齢化も大変な問題だと思う。独居老人も増えている。町内でも見回りにも限界があり、困っている地域が多々ある。何かサポート方法があるとよい。
- ・市による高齢者の安否確認システムを構築する。
- ・年金生活者にも充分な人、生活が苦しい人とさまざまだが、ある程度は考えてほしい。
- ・自分が高齢者として一人になってみて、寂しい。若い人達と会話できない寂しさもある。
- ・寝たきりの家族を介護している。市から介護用品購入券をもらっているが、この購入券で「トロミ剤」も購入できるようにしてほしい。主治医や看護師の許可を条件にしてもよい。
- ・プールの利用料が上がった上に補助券もなくなった。利用者の意向も踏まえない突然の値上げに窮している。私は、夏のプールは長年（何十年も）健康維持のため利用してきた。冬は、雪かき、春夏は山歩きやウォーキング。これが一番医療費の節約になる。75歳以上くらいはプールの利用料金を現在の3分の1または1回100円程度にしてほしい。そうすれば通いやすく、その方が市の医療費出費を節約できると思われる。

- ・実際に市民が必要としているサービスなどをもっと深く理解する必要があると思う。例えば敬老の日の記念品にタオルなど不要である。こども達に毎月手当が出るのであれば、高齢者にも100年に1回、88年に1回など、金一封くらい渡してもよいのではないか。介護や保育などは市民が安心して暮らすための根本だと思う。そういった仕事に従事している方に対して、もう少し手厚い対応を。

医療・保険

- ・万が一に頼れる病院がほしい。
- ・いろいろな公共施設が新しく建て替えられているのに、生活に一番必要な中核病院が古すぎる。健康な生活を送るためにも、生命を守るためにも、中核病院の新設を早くすすめなければならないと思う。市民が待ち望んでいる。
- ・後期高齢者の保険証廃止は、高齢者には優しくないの見直しを求める。
- ・以前と比べて市内の大きな中核病院でも安心して受診できる状態ではないと感じ、どちらも受診したいと思えないことがある。個人医院も高齢化しており、今はよいが、この先どこで診てもらおうかと悩む。早く退院させられる割には、地域で安心して過ごせる状態にはないと感じている。
- ・市内の病院に良い医者がいない。岐阜、富山へ行かざるを得ず、大変。
- ・私はある病気を抱えていて入院・手術が必要だが、市内では中核病院しか所でしか対応できない（3か月待機している）。これから高齢化社会が進み、市としては、手術ができない病院しか所では、どう対応していくのか。大きな病院の誘致に尽力してもらいたい。
- ・市に住んでいて一番心配なのは、民間医療機関が少なすぎて、選択することさえできないことだ。医師の高齢化によって診療時間が短かったり、新しい治療をしてもらえなかったりする。この先を考えると、もう少し民間医療機関を増やすことに市でも注力してもらいたい。三世代で同居しているが、家族皆の意見でもある。皮膚科、耳鼻科、小児科が選べないなど。
- ・耳鼻咽喉科、皮膚科、眼科などが少ないため、常に混んでいたり、病院を変えたくても変えられなかったりする。こどもも気軽に受診できるように地域医療にも力を入れてほしい。
- ・医療機関、特に小児科、皮膚科が少なく、孫の診察の際に毎回大変苦勞している。選択肢が少ない現状を見直してほしい。
- ・医療格差をどうすれば改善できるのか。高齢医師の引退と若手への引き継ぎ。
- ・医療の点でも、都会と違い、医者やクリニックを選べるほどの選択肢がなく、困ることもある。個人医院の先生方の高齢化も問題なのでは。
- ・私は高山地域に住んでいるが、実家は支所地域にある。支所地域の医療体制が十分だとは言えないと感じている。支所地域は住民が少ない上、老人が多くて若者が少なくなっている。だからこそ余計に医療体制を整えてほしい。風邪をひいても近くに医療機関がなく、一人で病院に行こうとすると、一日がかりで市中心部の病院まで数少ないバスで行って帰ることになっている。
- ・市の医療は大丈夫か。医療過疎地とよく言われているが、医師の確保は。観光より大切だと思う。
- ・昨年病気になって、市内の中核病院に通院している。市内の病院では手術できないので岐大病院を薦められた。病人が岐阜や富山へ行くというのは大変なことである。地元で安心して生活できることのひとつとして、医療体制の充実を切に求める。
- ・医療機関の医師不足が不安だ。もう少しお金をかけてでも、充実させてほしい。
- ・各地域に常駐の医師を望む。
- ・医療について。他市と比べ、遅れていることや不十分なことが多いと思う。リハビリ可能な整形外科がほぼ1院（個人医院）のみで、私の知る限りでは、そこに市内の人、飛騨市の遠方から通う人

も多い。杖の人、足の不自由な人も、狭い玄関でスリッパに履き替えねばならず、スリッパを重ねて置いてあるのも不衛生だ。医療施設のスリッパ廃止に市として取り組んでほしい。

- 子育てに関し、今の市の医療体制に不安を感じる。小児科のある中核病院が2か所しかなく、どちらもいつも混んでいる。小児科医院も医師が高齢化している。耳鼻科、皮膚科も1、2軒しかない。予約診療もままならないのが現状である。市内で個人の産婦人科医院が次々と閉院される中、何年か前に市に産婦人科専門病院を誘致されたことは、とても心強かった。これからの世代が安心して子を産み育てられるまちづくりとして、小児科、耳鼻科、皮膚科などをぜひ市に誘致してほしい。また、病児保育室を増やしてほしい。
- 小児科が無くなってきていると感じる。こども達が安心して暮らせるように、子育て世代が受診しやすくするため、小児科だけでなく耳鼻科、皮膚科の充実を。
- コロナワクチンを始め、市はいまだに数々のワクチン接種を推進しているが、税金を使って助成金を出す必要性はないと思う。必要な人が自費で打てばよい。また、0歳児から多種多様なワクチンを接種するが、これだけインフラが整備されて清潔な国に本当に必要な物なのか。人間は生まれてから5年ほどかけて肝臓の機能が作られると聞く。未発達のうちにバンバン打って大丈夫なのか。無頓着なワクチン接種によって医療費はどんどん膨れ上がる。それよりも、免疫力向上および医療費削減のためにも、もっと衣食住を大切にし、未来のあるこども達の心身の健康のために税金を使ってほしい。
- 中核病院において医師確保のため、市外から診察に来るシステムはありがたい。病院が少ないため病棟が足りず、十分な期間入院して治療を受けられないことは残念だ。また、高齢者施設の問題がある。老健の入所が3カ月に区切られており、3カ月たつとといったん出所して他施設へ移り、再度入所するというシステムだが、費用もかさんで大変だ。特養にもかなり待たないと入所できない。
- 個人院の小児科医の高齢化が著しいので、こどもの成長していく段階で小児科の供給は大丈夫なのかと不安になる。
- 小児科や耳鼻科が少なくて困っている。
- 病院が少なすぎるので充実させてほしい。
- 都市部と比べて医療格差が大き過ぎるので、是正を。
- 小児科がもっとほしい。どこの小児科も連日いっぱいなので、こどもが受診できる医療施設がもっとあればよいと思う。
- 医療介護が弱いと感じる。高齢化が進んでおり、市民が安心して医療を受けられるようにすることが必須の状況である。まず老朽化している中核病院をを新しく立て直せるよう、飛騨市や下呂市とも協力して整備するべき。外国人観光客を呼び込むのであれば、病院もグローバル化して安心して旅行してもらえる環境を作るべきだ。
- こどもの医療機関が限られており、受診が難しいことがある。
- 小児科の開業医など高齢の医師が多く、かかりつけ医などがこの先何年開院されているのか不安だ。たとえばインフルエンザの予防接種をこどもに受けさせたくてもすぐ予約がいっぱいになり、なかなか受けられない。すぐ受診できる環境にしてほしい。
- 市内の小児科の個人医院が少なくいつも混んでいて、全ての医院が午後休診の日もあり、親子でつらい思いをする。救急で病院へ行っても小児科医がいない場合が多く、大した処置も出来ないことがよくある。現存の小児科の先生のほとんどが高齢で、今後もっと小児科が減るのは確実だ。市は今のうちから対策を進める必要がある。例えば、長野県にある小児総合専用病院のような、救急や怪我、病気に対応出来る専門施設等の建設を県や飛騨地域で検討してほしい。

- ・市には産婦人科が少なく、ロコミなどでも評価の高い病院がない。現在夫婦で不妊治療を受けているが、評価の高い病院を探して富山や岐阜、名古屋などの病院へひと月に何度も通院しなければならないため、交通費だけでも高額となる。他の地域では不妊治療にかかる交通費を助成しているところもあると聞かすが、市も少子化対策の一環として助成してもらいたい。または、優秀な産婦人科を高山に誘致して、近くで患者が病院を選べる環境作りに取り組んでもらいたい。
- ・高山では受けられない治療があり、富山や岐阜の方まで行かないと治療できないのは不便だと思う。
- ・医師の高齢化が進み、特に小児科と皮膚科が不足しているように思う。ぜひとも地域のかかりつけ医として迎え入れてほしい。
- ・医療に関して。例えば生徒がスポーツで怪我をした場合、市内の病院に不安を感じて（担当医が専門的な怪我をみた経験が少ないなどの理由で）市外の岐阜や富山や金沢などの病院に通院するという話をよく聞く。市でもレベルの高い医療が受けられるようになるとよい。

学校教育

- ・住んでいる支所地域にはこどもが習い事ができる場所が少ない。車で20分（地域の奥の方からは1時間近く）かけて通う。こどもの学力差にもつながると思うので、支所地域にも充実した学習の機会を整えてほしい。
- ・全国でPTAのあり方についてニュースになっている。丹生川小学校では退会届を出せば退会できるように今年度から変わったが、PTA会長に退会届を出すのもためられ、退会者がほとんどいない。結局、現実には強制加入である。市としては、「退会届を出す」ではなく「入会届を出す」という方向で検討してほしい。中学校の規約には「任意」ではなく「義務」になっているので、困っている。
- ・私が住んでいる地区では昔の学区再編や少子化の影響により、小学校で学年1クラスしかない。クラス替えもできず、6年間ずっと同じ仲間と過ごす。他のこどもが多い学校と比べ、競争力やいろいろなこども達と顔を合わせる機会が圧倒的に少ない。他校との交流授業や、根本的な学区の見直しを求められることを求める。
- ・我が子は小さい頃から続けているスポーツを継続するために私立高校に進学した。公立ならば授業料は免除だが、私学では補助はあっても、高い授業料はとても負担だ。市民であるならば公立・私立高校を分けず、授業料のさらなる支援か免除がほしい。そして、高校から先の進学を考えたとき、大学の授業料と生活費と、とてもお金がかかる。国の施策として、3人こどもがいれば大学の学費免除という話もあるが、なぜ人数により制限されるのか。将来をこれからになっていくこどもの学びのために、無利子の学資援助制度を市で作ってほしい。こども、こどもと言っても、産まれたこどもの話ばかりで、本当に一番お金のかかる高校・大学にかけてもっと手厚い支援制度を市としてしっかり考え、すぐ実行してほしい。
- ・近い将来、飛騨高山への大学の誘致。
- ・学校の長期休み（夏休み、冬休み、春休み）にも給食がほしい（夫婦共働きなので）。
- ・山王トンネルの掃除を中学生にさせるべきではない。大人（車）が汚したものを、なぜ中学生に掃除させるのか。（市が）トンネル・地下道の掃除をしてほしい。夜間通行止めにして、トンネル清掃車が入らないのであれば、消防車を使えばいいのでは。
- ・飛騨には短大しかなく、4年生大学がない。飛騨市が大学設置に動いているが、先行きが心配だ。近年は大学進学志望者が増えていると思うが、授業料に加えて住居費等も大変な出費である。ぜひ、飛騨の全市・村が共同で大学設置（誘致）に取り組んでほしい。
- ・こども達が学校を卒業したら、学校とは関わらなくなる。

- 学校教育におけるタブレットなどのデジタル化がすすむ事に反対だ。幸福度が高いフィンランドでは、教育のデジタル化によって子ども達の成長に悪影響が高まり能力が低下したという実態があり、アナログ教育にベクトルを変えた経緯がある。デジタル化は便利な部分がある一方、デメリットがある事も理解して頂きたい。また、学校給食にオーガニック食品を使用することを強く希望する。地産地消を基本とした昔ながらの和食を推奨する。学校給食で牛乳を提供しているが、子どもが乳糖不耐症でお茶を持参するのに牛乳代を払うのはおかしい。そもそも米に牛乳を飲むこと自体反対であるが、せめて選択する権利があるべきだ。
- 生徒達の自転車通学について。ヘルメットを被らず、狭い道路や交通量の多い道で逆走して通過する生徒達が多いへん多く、横切る度に危ないと思っている。学校で何かしら指導してほしい。
- 学区割りを早急に見直すべきである。
- 中学校の部活動地域移行について、地域移行に向けての取り組みが始まり説明会等もあったが、現在中学校で部活動（野球部）に入っている中学1、2年生のことはあまり考えてくれていないのでは、と残念に感じた。新しく発足した軟式野球のクラブチームは入団対象は6年生から、大勢受け入れるそうだ。少子化や野球人口が減少している中、部活動で野球を選ぶ生徒がいなくなってしまうのではないかとも思った。市内の他の部活動は、もう少し今活動している生徒ありきで地域移行を考えているようだ。先生方のためだけでなく、一生懸命やっている子ども達のためにも、地域移行というものがどうかよい方向へむかうことを願う。

歴史文化

- 古い町並だけでなく、城山公園に城を復元してほしい。
- 市の観光は古い町並、朝市（中途半端）だけが目玉のようなのだが、いつまで続くか。将来を見て検討の時だと思う。朝市か陣屋か、古い町並か、屋台か、プラス何か必要。城山公園という自然地があるので、この地の利用を。桜の名勝、モミジの名勝、将来きっと大きな財産となる。市民が春、秋、自慢できる所がほしい。
- 城山始め、いろいろなところに建立されている碑の文字が古くて読めないものが多く、残念だ。読みやすく手を加えてもらえるとよいと思う。
- 城山の照蓮寺が老朽化していて心配である。門横の鐘樓の屋根がつぶれかけている。隣の稲荷神社もひどい状態だ。観光客も多く訪れる城山なので、市の力で修繕・保存してほしい。
- 子ども達が授業で市の伝統文化に触れたり、タブレットを用いた授業でDX化は進みつつも市の文化が若い時代に継承されていることをうれしく思う。
- 伝統維持を地域の善意と迎合に依存せず、伝統は少なからず変わって行くものであることを許容する。伝統から利益を得る観光業が人的、経済的負担を負うべきである。
- 市にも高山城跡があるが、もっと城に力を入れて良いと思う。御城印やVRなどを取り入れていくとお城ファンがたくさん訪れ、知ってもらえる機会になると思う。上三之町などの城下町や陣屋と一緒に売り込むべきだろう。一般的に御城印はコピーの物であるが、300円から500円で売れるので、収益に繋がる。日本人観光客を増やす一助になるだろう。

生涯学習・文化芸術

- 高齢者グループで週2回公民館を利用している。公民館へ行けば人と話せ、いろいろな情報を知ることができて、とても良い場所だ。
- 市は観光都市だが、美術や芸術に関する建物が少ないと感じる。市立の美術館（隣接する公園など）の設立を考えてみてはどうか。

- ・現在、高山駅周辺は高層のホテル（外資ほか市外の）によって埋め尽くされている。また、わずかに残る古い建築も（個人所有で仕方ないが）どんどん壊され、市内の古びた味わいが減りつつある。それを考えると、古民家再生利用の民泊はまだ良い。市の観光の賞味期限を考えると不安になる。日頃図書館を利用しているが、土日祝は県外からの観光客の車で駐車場がいっぱいで入れない。図書館は必要だが、立地場所が観光地域にあるため、市民にとって不便である。それより、今の建物を観光施設にし、別の場所（例えば天満駐車場または不動橋駐車場）に図書館を移転してはどうか。民泊が集中するエリアには、食堂やスーパーが必要になり、経済も動く。シャッター商店街の本町を民泊街として活用すれば、ホテルの進出を防げるのでは。
- ・文化会館のデジタル化をすすめてほしい。チケットを取る場合や部屋を借りる場合のくじなど、アナログで利用者の負担が大きい（時間がかかりすぎる）。スマホで利用できるようにしてほしい。
- ・古い町並に代表されるような歴史的な文化を大切にしていくのは勿論賛成だが、それ以外にも新しい文化や芸術が発信されていくようなまちづくりを希望する。

スポーツ

- ・市民プール、サッカー場、スキー場、原山市民公園など、こども達の遊び場が増えてとてもうれしい。野球場も整備されると聞き、うれしく思っている。ぜひ、古い物、新しい物にとらわれず、どちらも生かされる魅力的な市になってほしい。若者、こども達の住みやすい市に。
- ・中山野球場をどこかに移転するか、できなければ今の場所でトイレ等を整備し、せめて高校野球の飛騨大会くらいは昔に戻して、楽しみを作してほしい。
- ・奥飛騨の温水プールを健康増進のために利用したい。以前のように年間20回の無料券を発行してほしい。
- ・移住者だが、冬の生活ついて年々不便に感じている。冬季はこども達（中学生以上）が体を動かせる場所がなく、とても制限される。移動がとてもストレスで外に出るのが億劫である。
- ・飛騨市に比べると公園やスポーツ施設の充実さが劣る部分があるので、頑張してほしい。市民プールの改修や大ハグランドや中山公園球場の改修など、最近力入れていることはありがたい。
- ・高地トレーニングエリアでは春から秋まで国道をランナーが走っているが、事故防止策を講じてほしい。ハイシーズンだけでも、エリアの前後で案内標識を増やしたり、電光掲示板を使って注意喚起をするなどしてはどうか。

土地利用・都市計画

- ・駅西開発には注目している。何もない、芝だけのポッポ公園が人気であるように、公園の中に文化会館があるというようなイメージで造ってほしい。敷地いっぱい建物を建てるのではなく、緑地の部分をたくさん作ってほしい。
- ・いつまで待ったら火葬場ができるのか。構想から8年たって、ようやく場所が確定した。遅すぎる。今の建物では貧しすぎて、他県の人があきれてはてている。恥ずかしい限りだ。外国人受け入れより市民のための事業を優先させるべきだ。
- ・火葬場については早くすすめてほしい。市民はいずれ火葬場にお世話になるのに、どの地域でも火葬場が移動してくることに反対だという。現在の場所は今までもこれからも存在し、ご近所の方々の理解の上で成り立っていることを考えてほしい。
- ・新火葬場の早期完成を願っている（令和7年中に）。
- ・観光に注力していることはわかるが、市民に対するサービスが低下していると感じる。下水処理センター、葬儀場、ゴミ処理施設の更新をしていくことが重要ではないか。

- 新しい火葬場を早くつくってほしい。
- 駅西に複合施設を作り、地域活性化のランドマーク的なビルを造る（映画館、衣料品、食事処など）。
- 新しい文化会館にいろいろ集約して、こどものための施設も作られるようだ。しかし、混み合う道路沿いでなく、北小学校近くに施設がほしい。現行の小さな（駐車場もなくわかりにくい）施設の代わりに、学校以外で子ども達が徒歩や自転車で気軽に行けて、駐車場・駐輪場を備え、幅広い年齢層が混ざって滞在できるような施設を希望する。現在、学童保育は定員オーバー。親族にしっかり見てもらえることもと、支援サービス（放課後デイ）に行く子どもとの中間の子ども達に、心が不安定で他人に迷惑をかけたり非行に走ったりする子どもを見かける。こういう夢や希望を持たない子どもが、幸せな大人になって良い社会を作れるのだろうか、不安を感じる。
- まちの開発、人口、地域負担のバランスがいびつになってきている。開発に市のグランドデザインが見えない。伝統を担っている地域は買い物などの利便性が低く、地域行事などの負担も非常に重くなって、住みにくくなっている。旧市街地域の空洞化、少子高齢化がすすむ中で、10年後には、現在の形や規模を維持することはできないのではないか。

公共交通

- 車を運転できなくなったら不便すぎる。バスの本数が少なすぎる。タクシーに乗って移動するほどの経済力はない。バス乗り場に屋根がほしい。
- 外国人観光客が運転するレンタカーが路肩に違反駐車していて、ほかの車が通りづらいのを見かけるし、結構危ない運転をしている（外国人の運転免許取得が簡単すぎるのではないか）。また、陣屋近くの中橋を超大型バスが通るのが危ないので、規制を強化してほしい。
- 車がないと家からどこへも行けない。市は給料が少ない人がほとんどなのに、物価が高く、ガソリン代、タイヤ代（冬用）などもかかりすぎて大変である。私は今はまだ車に乗れるからよいが、年をとったら絶望的だ。小さなバスでも、あちこちに安く移動できないと、貧しい人々は引きもこもるしかできなくなりそうだ。
- 有斐ヶ丘経由の公共バス停留所の設置を是非とも求める。
- バスの運行など、市民の足としてももう少し便を増やすか、乗り場（バス停）を増設してほしい。自宅近くになく、利便性が悪い。
- 市は公共交通があまりにも不便すぎると昔から感じている。
- バスを利用したいときに時間がかかりすぎて、子どもとバスに乗れない。
- 私の地域は環境は静かで騒音もあまりなく、安心して暮らしているが、交通の便はとても不自由だ。高齢なので出かけるにも車が必要であり、バスは近くを通らない。家族からは運転免許返納を強いられているが、返納によって行動範囲が狭くなるので迷っている。高齢者が免許返納後に行動できるよう配慮があれば、優しく、うれしい。
- のらマイカーだけでは不便だ。病院の多い地区、店舗が集積している地区に、のらマイカーだけでなく8～10人乗りの車を運行してほしい。運行時間帯も考慮してほしい。
- 運転免許を返納した時の（買い物、通院等）移動手段が心配だ。近くに路線バスやのらマイカー等の乗降場がない。中心部より離れていて、人口的な理由もあるかと思うが。
- 買い物や外食するための交通が不便である。75歳以上にはタクシーの割引（自己負担50%）を希望する。都会は交通量が多いので、非常に便利。
- 公共交通のさらなる充実を望む。

- ・私の住む地域で、のらマイカーがタクシー予約に変更されて運行されて便利になった。バスの時間だけでなく電車の時間にも対応されると、もっと利用しやすくなると思う。この地域はバス停もJRの駅も町の入り口にあるため、奥に住んでいると足がないので、とても重宝している。コロナも落ち着き、今後はもっと利用できたらと思っている。
- ・のらマイカーの運行を、せめて1時間に1便来るように増やしてほしい。現状では高齢者が運転免許証を返納するとかなり不便になる。
- ・観光ばかり力を入れ、市民の実態の生活が置き去りになっているようだ。老人にとっては住みにくい。1日3～4便のバス運行では非常に不便だ。
- ・バス料金の値引きについて。市民の証明があれば区域内は100円で乗車できるようだが、区間をまたいだ場合に、例えば2区間なら200円、3区間であれば300円というふうに利用できるとよいと思う。市民の証明はマイナンバーカードを利用してもよいと思う。
- ・運転免許返納後、特に冬場の交通手段、買い物などに、タクシー券（半額券）などを配布してほしい。
- ・のらマイカーを見るたび空なので、経費の無駄だと思う。いつまで運行を続けるつもりか。
- ・のらマイカーを初田町の方にも運行してほしい。
- ・市には交通機関がバスかタクシーしかない。車がないと買い物や病院に行く足が無く、困っている高齢者がたくさんいると思われる。免許証返納後1年間はタクシーの割引があるそうだが、その後は普通料金に戻ると聞いた。のらマイカーはバス停までが遠くて歩行が困難な人は使えない、病院の予約時間帯にちょうどよいバスがないなど、今後高齢化が加速するのに、対策が考えられていないように感じる。
- ・大型観光バス等の駐車場を確保してから、いろいろなイベントに取り組んでほしい。
- ・私の地区（支所地域）からのバスの便が少なく、特に土日は朝夕1便ずつしかないので、イベント等に参加できなくて残念だ。
- ・バス停（喫煙所ではない）でタバコのポイ捨てする者がいたので、注意を促すよう市の担当者に依頼したところ、注意をするか看板をたてるなどの措置をするとの回答があった。しかし、3ヶ月たった現在も何も対応されていない。また何らかのフィードバックをするよう担当者に依頼したが、何のフィードバックもない。
- ・高山駅でICカードが使えなくて不便を感じた。ICカードにしていくのはかなり難しいかもしれないが、検討してほしい。
- ・バス通勤のため、バスの下呂線の17時の便および5時の便を土日祝日も運行してほしい。
- ・公共交通機関のDX化を推進してほしい。
- ・匠バスの経済合理性が見えない。市内循環バスの便数が少な過ぎるため、より利用率が下がる悪循環になっている。北陸、中津川、松本方面への道路、公共交通の強化。
- ・神明駐車場の観光バスの規制の運用は、古い町並の混雑防止の観点からとても良い施策だと感じた。外国人観光客や県外のレンタカー、更に観光バスが古い町並に入ると、今後更に事故が増える一因にもなりかねない。観光バスの規制を希望する。
- ・公共交通機関を利用する機会は少ないが、ダイヤ本数が少ないため不便を感じることがある。
- ・自動車運転免許証の返納後の移動手段を充実させてほしい。
- ・バスがなくなってしまう、行きたいときに自由に外出できなくて不便。
- ・市内以外の高校生や高齢者にとって学校や病院に行くのにバスが少ない。バス利用者から意見を聞くなどして改善してほしい。一方、市内観光用のバスは、実際乗っている人が少ない。必要でないバスを別の方法で利用するなどもっと検討してほしい。

- ・地元民がもっとまちなかに買い物に行けるよう、駐車場を数箇所無料で利用出来るようにしたらよいと思う。いいお店がたくさんあるのに駐車料金払ってまでは……と言う話をよく聞く。マイナンバーカードをかざせば無料になるとか、決められた駐車場の無料駐車カードを各家庭に配布するとかできないか。

住宅・公園・景観

- ・こどもが遊ぶ屋内施設が少ない。
- ・こどもの遊べる所が少ない。スポーツをする所も少ない。
- ・護国神社下の「二の丸池」について。昔と比べ、今は散歩コースとしてベンチや植栽などで整備されているが、池そのものは「大きな防火用水」の域を出ていない。ロケーション的に、とてももったいない。現状の二の丸池は、底がコンクリート造りで、ヘドロ化した沈殿物が見られる。地質など含め、調査されたことはあるのか。関市の「モネの池」のような、本当の憩いの池にできないか。後世のためにもぜひ、市民が愛する憩いの池として、現状を見直す策を講じてほしい。
- ・城山を整備してはどうか。こどもや父母を連れて行くのに近くてとてもいい所だが、何となく寂れた感じ。今更だが、高山駅はいかにも残念。建物がちっとも高山らしくない。
- ・今、市全体では空き家が増えているようだが、持ち主のいろいろな事情で即処分とは難しいと思う。近い将来、自分にも降りかかってくる問題なので、気にしている。
- ・城山公園の駐車場が狭く、特に土日祝日は訪れても駐車スペースが無くて帰っていく車をよく見かける。公園の下にある伝承館は土日祝日でもほとんど利用されておらず、5～6台は駐車できるので、公園の利用者にはそちらも利用できるようにしたらどうか。また、1台あたりのスペースが狭いので、今の時代の車の大きさに合った駐車スペースを確保してほしい（高齢者でも足が痛いとかドアを全開にして乗降し、子連れの家族は大きな車が多い）。
- ・新しくなった市民プールの駐車場も、停める台数優先で1台あたりのスペースが狭い。スーパーの駐車場のような二重線を引いて1台あたりの駐車スペースを確保するのがよいと思う。原山公園に新しい遊具等が設置されるようだが、駐車場も含め、古川まで行かなくてもこどもが一日思い切り満足して遊べる広さや遊具を取り入れてほしい。
- ・市＝古い町並のイメージをこれ以上壊さないように、景観保全を厳しく取り組んでほしい。
- ・こどもの遊び場が少ない。木をふんだんに使って遊具を作り、子育て世代が親子で楽しめる公園が中心部にほしい。
- ・これだけ自然が豊かな土地でありながら、公園や自然や動物・植物にふれあえる施設がなく、子育て世代や高齢者、障がい者が楽しめる所が少ない。観光客のための施設や産業ばかりに力を入れるのではなく、もう少し市民が便利で安心して楽しく暮らせる市を目指してほしいと切に願う。
- ・市民の大人もこどもも屋内で遊べる大きな施設があったらいい。
- ・こどもが遊べる公園や広場が少ない。飛騨川公園や杉崎の公園のような施設が近くにほしい。少し遠い所だと一日かけて行かないといけないので大変だ。すでにある公園では、大きな子と小さな子の遊ぶ場所を分けてほしい。エア遊具やトランポリンなどで大きな子が遊んでいて小さな子がまったく遊べないことがあるし、一緒に遊んでいてもとても危ないと思う。
- ・高齢者は運転しなくなるので、買い物しやすい所に公営住宅があるとよい。
- ・冬期は公園等にあるトイレが使用できないので、使えるようにしてほしい。
- ・私は天気の良い日にウォーキングをしているが、近くにウォーキングができるような公園がないので、大型車が行き来する道路の脇を歩いている。近くに、自然を楽しみながら安心して歩ける公園がほしい。

- ・城山公園について。適切な樹木管理はしてあるのか。金竜ヶ丘の上の方が昔と比べて荒れている気がする。
- ・久々野消防署横に公園を作ってほしいという要望について、進捗を知りたい。20～30分かけて行く公園はたくさんあるが、気軽に行ける所に小さい子からお年寄りまで楽しめる公園を作ってほしい。
- ・こども達の公園が少ない。駐車場、トイレ、遊具が古い。
- ・もっと空き家を利用してまちの活性化をすすめてほしい。
- ・公園を整備し、若い人が楽しめるような環境づくりをしてほしい。
- ・どんどん空き家が民泊になっていく。空き家がなくなるのはよいが、民泊になることに不安を感じる（経営者が地元民ではない場合、ゴミや環境に配慮していないことがある）。
- ・住宅・公園・景観。美しく保つため、やらされ感がある。
- ・空き家の問題。
- ・空き家がとても多くなっている。行政として対応してほしい。
- ・市内公園等のトイレが冬期に閉鎖されるのは非常に困る。トイレ施設の改修により、冬期を含め通年利用できるようにしてほしい。
- ・地域活性化のため、国際観光都市として、城山公園やアルプス展望公園周辺の整備がもっと必要だと思う。また、駐車場を整備してアルプス展望公園近くに大型バスが駐車できるようにしたり、公園内に屋根付きの休憩所や軽飲食店、売店などを設置したりする。そうすれば、観光客による消費が見込めるだろう。
- ・快適に利用できる公園等の数が少ない。
- ・観光ばかりに力を入れ、自然を壊し、景観が悪くなるような開発をしている印象がある。飛騨の良い所は自然が豊かなことだ。森があり、生物がいて、人間も生きていける。田舎は田舎ならではの良さがある。
- ・新規公園は別として、各公園の老朽化がひどく、（塗装のハゲなど含め）遊べる公園の偏りが凄いなという印象を受ける。
- ・こども達が遊べる公園など増やして地元で遊べる環境を作ってほしい。広い楽しめる公園で遊ぶために富山県などまで行っている。他県の方がこどもが楽しめる公園がたくさんある。
- ・市で生活をする上で身近なところで買い物や外食ができ、たまに文化会館にてコンサートに行き、楽しく生活ができている。しかし年金生活になったとき社宅から出ることになると、どこに住めばいいかわからないので不安になる。
- ・こどもがのびのびと身体を動かして遊べる屋内の遊び場を充実させてほしい。
- ・ドライブやツーリング、魚釣りなどで高山地域（国道361号）を訪れる人達が景色を眺めながらゆっくりできるスポットや、公衆トイレなどの休憩所が少ない。
- ・空き家を利用し、人暮らしの高齢者が皆で暮らせるようにするなど、他県で上手く活用している所を勉強するなどして空き家の活用方法を考えてほしい。
- ・自然豊かな土地であることは当たり前ではないことに気づき、それを求めて来高するビジターの誘致をするならば、商業、ホテルばかりでなく公園、遊歩道等を整備して、都会にも他の僻地にも無い唯一無二の場所を楽園に育てることも必要だと考える。

道路・河川

- ・市は山に囲まれているので、狭い歩道には街路樹はいらない。散歩中に自転車や人が来たらすれ違いができない。街路樹が無ければ、すれ違いができる。また、街路樹を管理する費用も無駄である。

- 道路工事の場所がまだらで、他地区の工事場所などはいつ行われているかわからないため、移動する際に不便。信号を危険がありそうな所に設置するよう見直す。市街地に駐車場が少ない。祭りなどの際に観光客の車が多くて、車移動の必要な市民が駐車できない。
- 江名子地区で、雑草などが伸びて左右確認しづらい所があったり、車に当たったりするところがある。
- 飛騨の里へ行くまでの道路がボコボコ。高級ホテルもあり人や車が多いのに、通学路に指定されていて不安だ。歩行者用に色を塗ってあるが、外国人はマナーを守らず、危険なことが多い。
- 車道と歩道の区別がないため、こどもの通学に危険を感じる。特に中山中学校運動場下の周辺の十字路で車が速度を出しすぎており、危険だ。
- 市道に夏場、雑草が多く繁茂するのを除草してほしい。また、花を植えて環境美化に注力してほしい。観光都市高山、中心部の市道に「花いっぱい」運動をすすめ、美化してほしい。
- 通学路に白線を引いてほしい。道が狭く、小さな子どもを見ていると危ないと思う。高齢者が運転する場合、白線がないため、夜は危なく感じている。
- 通学路の危険な場所を重点的に整備してほしい。
- 中橋付近で、観光客が道の真ん中に出て写真を撮っている。横に3～4人並んで歩いている。さんまち通り・上三之町付近を車で通行する際、観光客が道を渡るのか渡らないのかわからず待ったり、車で通ろうとすると観光客が走ってきて渡ったりと、危険なことを経験した。この2か所には、交通整理員を配置したらどうか。
- 地域は高齢者が多い。冬場、住宅前の歩道の除雪が各戸に義務化(?)されているが、現状をよく見て、検討してもらいたい(重機による道路の除雪が歩道に入っている。高齢世帯や女性のための世帯もある)。
- 国道41号高山バイパスの千島北交差点について(無理がある合流ポイントの解消)。「左折専用レーン」をなぜ作らないのか。交通マナーが皆無の他県や海外のドライバーの増加により、渋滞はおろか、交通事故の危険性が極めて高い箇所となっている。観光産業にばかり力を入れず、地元民の安全確保を優先すべきだ。
- 国府小学校から広瀬町側の踏切の車両サイドに歩道を作って児童の安全を確保してほしい。市民の大人も子どもも屋内で遊べる大きな施設があったらいい。
- 道路の雪かきの基準を変えるべき。重機の出動が遅すぎるので、道路がでこぼこになることが多々見受けられる。もっと早く対応すべき。
- 道路の状態が悪い。専門知識のある人を育て、業者を選出したらと思う。運転しながらの携帯使用が多いが、取り締まりが少ない。早朝、信号無視が多い場所がある。自転車に乗りながら携帯使用、裏道利用者が多い。防犯カメラや警察の協力で、安全な市にしたらよいと思う。道路の交差点等にミラーが設置してあるが、汚れていて見えないので、洗うなりしてほしい。
- 中橋では観光客が道路の真ん中に出て写真を撮ったりするので、車で通るとき迷惑。何とかしてほしい。
- 通学路の整備の要望を早めに検討してもらいたい。
- 通学路の除雪ができていない。飛騨市のような行き届いた除雪を求める。
- 十三墓峠を早く完成させてほしい。
- 国分寺通りの歩道は、点字ブロックがはがれていたり、舗装がはがれてガタガタになっていたりしてひどい有様だ。特にベビーカーや車いすなどは車輪をとられて通りづらそう。舗装や点字ブロックだけでも修繕してほしい。

- ・神明町の駐車場について。一度試験的にバスの侵入を制限したが、地元の商店街に押されてすぐ解除された。道路を使用する者にとっては、バスの往来は大変危険で、渋滞の元である。観光団体客が道路をゾロゾロ渡り、バスが斜めに止まったまま動けない。中橋も同様だ。もっとしっかり検討して規制基準を作してほしい。
- ・さんまち通りで、古い町並から観光客が道路を横断するのに休日は人が途切れず、車が長い時間待っている場面をよく見かける。人出が多い時は交通整理の人員を配置できないか。
- ・古い町並の区画を車の進入禁止区域にすべきだと考える。さらにアスファルトではなく石畳にするなど。リピーターを増やすために、もう少し外観を良くした方がよい。
- ・一之宮から高山までの道路を片道2車線、もしくは雪の防災として高山まで一直線にしてほしい。
- ・市は雪が多い所である。買い物に行くのも、車のない人にとっては大変だ（雨の日も同様）。歩道はマンホールがあり、でこぼこして草が茂っていて、自転車も歩きも車いすも大変なので、歩道を整備してほしい。
- ・JR、県と話し合って陸橋を整備してほしい。
- ・美女街道の横の木が伸びている。整備してほしい。
- ・市内の道路で狭い箇所が多く、車社会に対応しきれない部分が残っている。街路樹等が美しいが、維持管理に多くの税が使われるので、処分しても良いのでは。
- ・花里校下の道は歩道が狭いので、歩道を広くしてほしい。
- ・飛騨は車社会であるため、観光地区以外は歩道が整備されておらず歩きづらい。
- ・自転車で走行時、道に段差や穴があるとタイヤが挟まってハンドルを取られて危険だ。砂利やセメントを詰めて補修してほしい。
- ・歩道、街灯の整備をすすめてほしい。
- ・雪またじについて市の窓口へ行き相談したが、シルバー人材センター等の電話番号を教えられたのみで、丁寧な対応ではなかった。シルバー人材センターでは個々の受付はしないとのことで、結局自分で何回かに分けてまたじした。
- ・観光客が来て市が賑やかになるのはよいが、車道を歩いている観光客が多くて危ない。避けながら車の運転をするので疲れる。
- ・保育園の通りを保護者でない人が車のスピードを出して通るので、園児が飛び出して来たらと思うとヒヤヒヤする。やめてほしい。
- ・除雪の際、側溝の水量が不平等のため、除雪しても流せない状況が常態化しており、非常に困っている。
- ・自転車に安心して乗れるよう、道路を整備してほしい。市街地への観光バスの乗り入れを控えてほしい。
- ・市道に開閉ができる柵が設置されている場所がある。11:00まで市道を通行止めになっていることはおかしいと思う。なぜ市道に障害物を設置してあるのか、関係のない市民がどうして柵の開閉をしなければいけないのか疑問である。市の広報で案内はあったのか。この件について市からきちんと回答してほしい。
- ・住民の少ない支所地域の道路整備にもしっかりと取り組んでいて、大変ありがたい。
- ・片側1車線しかない道路を2車線化してほしい。
- ・除雪に頼らない根本的な雪対策。
- ・市の意向が反映されるのか不明であるが、インフラにおいて、安房峠の中部縦貫道の早期開通を強く願う。この開通は、安全面、観光、利便性など、人々の生活に大きく影響をもたらすと思う。

- ・冬、市内の車幅の狭い道の除雪を市ができないか。積雪が続いた後、市内の車幅が狭い道が分厚い氷に覆われてガタガタになっている（特に日陰）。雪がない時でも車のすれ違いがギリギリな道が多い市内なのに、この状態では通行しにくい。
- ・高速道路などの普及は有難いが、もっと市街地の歩道にも目を向けてほしい。ガタガタですれ違うのも大変。
- ・市街地の生活道路で、交通量の多い割に道幅が狭くて走りづらく、かつ歩道がない場所が多い。
- ・道路の白線が消えていて、危ない。整備してほしい。道路で洗車したり遊んだりする人がいる。注意喚起してほしい。

上水道・下水道

- ・水道料金の値上げ反対。

防災・危機管理

- ・防災無線の放送が流れるが、山に囲まれているため、こだまして聞き取りにくい。
- ・防災用品の購入等、市で購入を斡旋してほしい（補助金付き）。
- ・各家庭にある防災ラジオをもう少し活用できるといい。アポ電等があった場合にラジオで知らせ、外からも聞こえると、皆が気を付けたり声をかけあったりできると思う。そこに犯行を行う人がいたら、放送を聞いて諦めるのではないか。
- ・高山駅西側の空いた土地（現在駐車場など）の活用について。建物は建てず、そのまま土地の状態を維持した方がよい。災害（地震・豪雨など）が起こった場合、そこにテントを設置し、避難場所や必要物資配給所として活用できる。市には海外からの観光客が多く、その方々の避難場所としても活用できる。現在の避難場所である学校やその他建物には、こういう方々にも使用できるほどのキャパはないと考えるため。
- ・災害対策について、避難所の使い方を改善してほしい。すべての避難者のプライバシーに配慮できる空間にしたり、障がい者や小さなこどもでも安心して居られるような空間作りを考えてほしい。
- ・避難指示について、居住地の大字名と小字名を、放送の時に明確に伝えてほしい。
- ・地球温暖化の影響により激甚災害が各地で頻発している。災害発生時において初期段階時に最も大事なことは、被災状況の早期の全容把握と共有である。特に全国一広い自治体である市においては、それらが困難で失敗することになりかねない。それを担保・強化するためにもインターネット回線などの通信網の強化・ダブルネットワーク化が必要だと考える。当地域の電気通信会社の場合、宅内工事費まで考慮すると10万円程度が必要になる（以前は地域差があり、私の住む地域は高いため現在も導入を断念している）。せめて、公民館などの公共施設に災害時の基地として使用することを前提に全額補助によりインターネット設備を導入すること、及び各戸においても補助制度を新設されることを望む。

消防・救急

- ・消防団の人員確保。災害が発生しても、消防署だけでは人員も少なく、地域に根付いた消防団が必要。しかしながら、人員が減少している。
- ・消防・救急について、体を張って仕事をしているので、給料の見直しをしてはどうか。
- ・消防団の活動について。近所の若い人は、「飲み会のために勝手にお金をためているのはおかしい」と、消防団を嫌がって市から出た。「すべてにおいて市は遅れている」という認識をまず持つて物事を見てほしい。

木の活用

- ・ 周りが山に囲まれた立地なので、もう少し登山客が訪れてみたくなるような登山道の整備、国内外に向けてのアピールをしてみてもどうか。
- ・ 市は90%ほどを森林が占めているが、市街地の緑が少ないと思う。空き家ができると一棟貸しの宿泊施設や駐車場になるだけで、子どもが遊べる公園も少ないと思う。

生活環境・資源循環

- ・ ごみ処理施設への140億円の投資は多すぎる。市内のごみ屋敷への対策をすすめるべき。
- ・ 地域によってはゴミにいろいろな物が混入していても回収される場合があると聞く。一人一人の日々の思いが無駄になっているようで残念だ。厳しくしてほしい。
- ・ 荘川町六廐のゴミの最終処分場建設には、絶対に反対。
- ・ 山王トンネルの中や出入口付近に目立つゴミがそのままになっているのが、いつも気になっている。家が近いので拾いに行ってもよいが、危ない行為はできないと思うので、定期的にチェック、清掃することを検討してほしい。
- ・ 町内班のゴミ収集場（ステーション）の件。各家庭のゴミをステーションに持ち込むが、場所によってゴミ袋のまま、網をかぶせてある、収集箱がある所などさまざまである。近年、外国人も多く来高している中で、みっともないので市で統一した収集箱を設置した方がよい（サイズ、木製、鉄製などいろいろあるが、統一するとカッコいい）。
- ・ 高山の業者が荘川地域にゴミを搬入していると聞いた。なぜ許可が下りたのか。放置しないでほしい。
- ・ ダンボール、雑誌、新聞等を廃品回収に出す機会が年2回の小中学校の廃品回収しかない。高齢者で自宅にたくさんためてしまい、火災の際に危険がある人が多くいる。外から見える場所に積んであるため、以前から気になっている。可燃ごみとして捨てている人もいる。他の市県のほとんどで2、3か月に1回収があると思うので、回収を増やしてほしい。
- ・ 古い町並を含む中心市街地の環境の悪化が問題になっている。飲食店、土産物店などが増え、ただの飲食・土産街になっている。また宮川は、確かに中橋～宮川朝市間は一見してきれいに見えるが、弥生橋～下流（特に万人橋下流）域には上流から流れてきたゴミ、ヘドロが溜まって茶色く、とても清い流れとは言い難い。観光が生活の向上につながっている市民が何人いるだろうか。むしろ、交通障害、マナー、ゴミ問題など、いわゆる観光公害で困っている市民が多数ではないか。よって交通・人数・店などの規制が必要である。それには、古い町並・中心市街地の人々の共通意識でルールを作ること（飲食物のゴミは買った店へ持っていくなど）。観光に関するすべてに規制を設けることが市民生活の向上につながる。
- ・ ごみ処理場はいずれ満杯になるのに、その先の処理対策が全く示されておらず、いつも心配している。早く、長期的な対策を示してほしい。
- ・ ゴミの分別でボタン電池やリチウム電池は電気店などの回収箱へとなっているが、見える所に回収箱があるわけではない。ボタン電池を売ってでも回収してもらえないお店があったり、捨てるのだけお願いしづらかったりと処分に困っている。拠点集積所等に回収箱があったら捨てやすくなる。あるいは、回収箱がある場所を広報などで教えてもらいたい。
- ・ 東南海地震が発生した場合などに、石油・ガス等のエネルギー供給が滞ると思われる。市には水素ステーションがあることや、森林自然の間伐材・端材などがあり、山里整備も兼ねられることから、バイオマス利用で製造した水素を備蓄して利用したり、発電して他地域へ売電したりなどを企業と連携して実行してもらいたい。これにより地元に雇用が生まれ、災害に対する不安が減少される。

- ・現在、市では薪ストーブの購入設置を推奨し補助金を出している。しかし、自宅近くの数軒に薪ストーブが設置されており、ストーブから出る煙に大変迷惑している。洗濯物を外に干すと臭くなるし、家の中まで入ってくる臭いで目が痛くなり涙が出るほどだ。いわゆる「薪ストーブ公害」に市として何らかの対策を取ってほしい。昨年も市へ要望したが、何の返事もなかった。対策の内容を広報で公表してほしい。
- ・資源の有効活用。何も無いところと思っていたが、自然だったり田畑だったり魅力はまだまだたくさんあるのではないかなと思う。それらを活用した生業などが増えるとよい。

農業・林業・畜産業

- ・米作りに取り組む人が減少している。もう少し、農業に関するPRをし、従事者の育成機関を設けるよう考える必要がある。
- ・これ以上ホテルはいらない。田畑を増やし、体験であっても、若い人に農林業の大切さを伝え、農林業に興味関心を持てる環境を作った方がいい。後々必要になると思う。
- ・林業はどうなるのか。山へ行くと、大きく太く育った木が数十年前から生い茂ったままである。山にまでお金はかけられない。草だらけの田も多くなり、農業も心配である。機械に数百万円かかる。
- ・田んぼの農振解除をもっと簡単にしてほしい。飛び地になっているところや共有地を市に寄付したい。
- ・なるべく地元のものを食べるようにしている。
- ・私は猟師だが、若者層の猟師が少ないことは問題だと考える。免許取得までの補助金は充実しているものの、取得後の教育環境が整っておらず、ペーパー猟師や、結果を出せず辞めてしまう猟師が多いと感じる。猟師の人口を増やすより、教育に力を入れて獲れる猟師を増やさないと、税金の無駄だと思う。
- ・戦後復興の一貫としてスギ・ヒノキ等が植林され、伐期を迎えているが、需要と材価の低下で放置され、イノシシやクマなどの繁殖地になっている。今、ウクライナ戦争等が原因で外材の輸入が減少しているためか、国産材利用が増え、材価も上がるというように少し動きが出てきている。市には国有林がたくさんあるが、手入れが皆無の状態だ。今後の対応について森林管理署とコンタクトを取ってほしい。
- ・農道空港のグライダー使用者に対する貸し出しの中止。いつも静かな所で生活している者にとっては連休中などの騒音は迷惑である。グライダーの音も耳障りだ。
- ・林業の衰退が著しく、山の木があっても、手入れして木材として売ろうとすると赤字になり、山の手入れができなくなる有様だ。今まで一生懸命手入れして育てた木がそのまま、山の手入れなどでき、木が利用される日がくるとよい。
- ・自然が豊かで良い所である。ただし、サルやイノシシなどの出現で、畑ができない状態だ。
- ・AIやデジタル化も大切だが、市は自然に恵まれた土地なので、自然農法、林業の大切さを感じる。
- ・観光地で稼ぐのではなく、農林業を大事にし、自給自足で生きて行けるような市を望む。
- ・農政も、もっと頑張ってもらいたい。

経済

- ・都会に比べ給料は安くて物価は高い。決して暮らしやすい地域ではないと思っている。地域の外食産業が観光客相手の価格に変更して高くなっているため、地元客が離れていっていることに気付いてほしい。

- ・年間何百万人という観光客が訪れている高山市。もっと市民生活（地元民）が豊かになっても良いのではないかと。利益が全部「外」に流出している。地元の若者が都会に流れるのは当たり前だ。
- ・観光事業以外の産業に力を入れてほしい。
- ・地域活性化のため、商品券の発行を要望する。物価の急上昇により家計の負担が増している。コロナ発生時と同様な「地域商品券」（1万円で1万3千円分）を販売してほしい。
- ・物価高やガソリン代の高騰に伴い生活が苦しい状態が続いているため、コロナ禍に実施したプレミアム商品券などがあるとありがたい。市は車が無いと生活できない地域なのでガソリン代の補助や灯油代の補助があるとよい。
- ・物価上昇により生活が圧迫されている。

雇用・労働

- ・企業を誘致してほしい。
- ・若者が他所へ行かないよう大企業工場などの誘致を希望する。
- ・私の住んでいる地域は環境も良く、徒歩圏内で用を足せる。ただし、こどもが少なく、こどもは高校を卒業したら市を離れて親世帯だけが残るとというのが現状だ。若い人が働ける企業があればよいと思う。
- ・観光だけでなく、若い世代の人が地元から離れなくてもよいように仕事先やいろいろな面を考えてほしい。ホテルが多いと感じる。もっと市民が憩える場所があっても良いと思う。
- ・シニア世代が元気であるためには、働く場所がほしい。
- ・観光だけではなく、若い人達が市に残って働くことのできる、魅力ある働き場所を誘致するなどに力を入れてほしい。
- ・高齢者が働けるところがもっとあればいいのと思う。
- ・地元にも魅力的な就職先がなく、高校を卒業して他県へ進学しても、また戻ってくる若者が少ない。そのため市内の高齢化が極端に進み、中心部なのに限界集落化してしまう。観光も大切ではあるが、オーバーツーリズム化してしまっており、ホテルがやたら増えすぎたのも気になる（特に現在ではコロナの影響により、宿泊業から離れた人材が戻らず、人材不足になっている）。
- ・高山地域は観光が充実し、働く場所があるが、私の地区には働く場所がない。
- ・3人の子を他県から戻したが、大変だった。都会から市へ戻りたくとも、給料の差があまりにも大きいため戻らない。市内は安すぎると思う。
- ・市内のビルで試験的商いお試し店らしき貸店舗を市で管理している。しかし、テナントはほとんど営業の実績が無いように見える。今までにいる4店舗ほどが、週何日営業しているのか。という状態である。責任感がない人に商人は無理かと思う。テナント料の支払いに市の税金が使われていると思うが、無駄な事業だと思う。次年度より中止し、より良い税金の使い方をしてほしい。
- ・地域活性化のため、大中企業の誘致を要望する。従業員100～1000人規模の優良企業を誘致する必要があるだろう。特に製造業やIT企業の誘致には「土地の無償貸し出し（10～20年）」やアクセス改善等が必要だと思う。これは、若者の他県への流出を防ぐことになるだろう。
- ・若者も生活しやすいように、賃金体制の向上を求める。
- ・私の周囲では若者の正規雇用が少なく、結婚など将来に不安を抱える20代30代の人が多いと思う。非正規雇用で求人募集をしてもなかなか働き手がいらない。安定した正規雇用が増えるとよい。これから人口減少がますますすすむので、地域で働きたい人の働き方に合わせた雇用を考えなければならないと思う。DXやITを上手に活用するノウハウが、すべての会社で必要だと思う。
- ・市内の最低賃金を上げてほしい。

- ・市の将来について。市の人口は令和2年4月から令和6年4月までに約4000人減少している。出生数も年々減少しているが、市からの転出もあり、人口がすごいスピードで減少していると感じている。この問題に真剣に取り組まないと、市が将来無くなってしまうのではないかと心配だ。私は約12年前にUターンで帰ってきた。就職活動する中、市の就業環境は相当劣悪で、給料は安く、休みは少ない……そんな会社ばかりだった。現在は人手不足の影響で、人材確保のために会社も労働環境を整えてはいるが、まだ都市部と比べると酷い。このような環境では、若者は大学や高校への進学で都市部に移住し、そのまま都市部で働いた方が給料も良くて休みも多くて幸せであるため、人口の流出は止まらないと思う。
- ・観光だけではなく、企業誘致、アウトレット、ショッピングモール等の誘致など、働く場所を拡大してほしい。

移住定住

- ・県外から市への移住等の受け入れも、真剣に取り組んでほしい。
- ・移住について、空き家が多くなっているが、空き家を何とか利用し、人口の減少を食い止めることを考えてほしい。大学生が市に戻りたいという気持ちを高めるにはどうしたらよいか。働く場を何とかできないか。
- ・賃貸住宅の家賃や固定資産税が高い割に、賃金が安すぎる。親の面倒を見るために50代になってから都会から市に帰ってきたが、まともな仕事はないし、シニア向けのUターンの支援もない。中高年になってから市に帰ってくる人もいると思うので、何かしら優遇されることがあれば、皆故郷に帰りやすくなると思う。
- ・愛知県稲沢市から地元の高山へ家族（夫は飛騨市出身）とUターンした際、補助金や奨学金補助等がとてもありがたかった。これが、飛騨市ではなく高山市へ戻ることにした決め手のひとつになった。
- ・これから数十年後、市の人口減少と共にこども達の人数も減少していくことが予想される。医療、介護と共に、雇用移住者の増加を考えながら、世界一住みやすい高山にしたい。
- ・私は大学は県外だったが就職を機に市に戻ってきた。入社当時は収入も期待できず、さらに奨学金を抱えての生活で大変苦しかったが、当時はUターン補助、住宅補助、そして奨学金補助が5年間あったため大変助かった。今は徐々に補助年数が減っていき、数年後には補助廃止と聞いている。若者にとって補助金があることはとても魅力的だと思う。廃止せず今後もずっと続けてほしい。そうすれば、県外へ進学就職していた地元のこども達にとって市へ戻るという選択肢も増えると思う。
- ・移住者がなければ、支所地域は少子高齢化が更に進んでしまう。移住を短期間体験できる体制を整えて、県外から受け入れる工夫をする等、他県でも行っていることを考えてほしい。今の自然環境を活用した仕事をもっと増やして、若者から高齢者までが生きがいを感じて働けるような工夫ができないか。

観光・プロモーション

- ・外国人のマナーの悪さに迷惑している。特にごみ（ポイ捨て）が増えた。民泊や小さな宿泊施設の周囲では特に目立つ。
- ・観光業に力を入れる体制は理解できないでもないが、これが本当に市民の利益につながっているのか。肌感覚では伝わってこない。逆に昨今言われているオーバーツーリズムになっていないのか。外国人のための店舗などは潤って、税収につながっているかもしれないが、一般市民の生活の安全性や、道路の混雑など、暮らしにくくなってきているように思う。いつまでこのインバウンドに頼

るのか。未来永劫続くとも思えないし、廃れた時どういう対策を取るのか。市政としての意見が聞きたい。

- 市が長年、観光誘致に力を注いだ成果があり、観光客が多すぎる。ホテルの建設ラッシュで、まちの中心地はホテルだらけになってしまっている。昔は静かなまちだった。今は観光客だらけ、まちの有名な飲食店は長蛇の列で、市民が気軽に飲食できないことが不満だ。
- 市は一般的には観光都市として捉えられ、市政も観光に特化していると思う。一部市民は潤っていると思うが、多数の市民はその恩恵を受けることはない。市の財政政策に疑問を抱いている。
- 観光客が市の中心部に集中している。支所地域にも観光スポット（例：安国寺の経蔵、四十八滝の紅葉）があるので、もう少し宣伝できないか。
- 観光地化が進みすぎて、道路の混雑、買い物の不便、観光客のマナーの悪さによるストレス等を感じる。地元民としては、日常生活が不便になったと感じる。観光に関わる一部の産業は発展し、良いことだとは思いますが、他の産業も発展させていかないと、観光だけの地域になってしまえば若者がもっと市を離れ、市外・県外へ就職してしまうのではないかと思う。
- 今、市は観光都市と言われ観光に力を入れているが、高齢化・人口減少がすすむ中、観光に携わる業種の人や市外の企業のみが潤っていると思う。観光に携わっていない元々の住民に何の恩恵もないのはおかしいと思われる。移住してきた人々にはいろいろな補助金が出されているが、市在住で商売をしている人はコロナ禍でも大変な思いをして自力で商売を続けてきている。観光業者から、売り上げに応じて観光税を徴収し、それを市民に還元すべきだと思う。もう少し市民全体を考えてほしい。
- なぜインバウンドにこだわるのか。外国人が来るから「良いまち」とは思わない。日本人が「行ってみたい」と思える魅力がこの市に欠けていると思う。対外国人用にホテル等が乱立し、普段生活している市民を置き去りにしていると思う。治安は悪化し、マナーも守られなくなっている。
- 最近、市内に空き家が増えてゲストハウスに改造されることが多くなった。そこに宿泊する外国人観光客が多くなり、治安が心配だ。よく近所に泊まっているが、話し声が大きい、ゴミを捨てる、写真を撮る、プライバシーの侵害だ。ゲストハウスをこれ以上増やさないよう取り締まってほしい。また、観光地以外には立ち入らないよう指導してほしい。
- 観光スポットの地域に居住しているが、空き家になると民泊になっていき、住民の数が急激に減少している。祭りが遂行できなくなるのは目に見えている。高齢化もあり、深刻な状況だ。高山祭が衰退したら、市の魅力も大きく下がると思う。民泊を規制してほしい。
- インバウンドや観光に力を入れるのはよいが、それが減少した時の対策も同時に考えてほしい。
- 観光名所だけでなく、スーパーなどの日常の生活空間にも外国人観光客がとても多いと感じる。経済的に恩恵があるのだろうと感じつつ、あまりにも市の雰囲気が変わってしまったことに戸惑いも感じている。
- 国内外問わず観光客からはもっと税金を徴収すべきである。
- 市も観光業が盛んで、活気を感じる。大勢いる外国人観光客の横断歩道の渡り方が気になる。
- 飛騨高山の観光産業がいつまで続くのか、一般庶民にはまったくわからない。現在約 50 数年続いているが、将来性はどうか。
- 外国人の観光客が増えてきたことはうれしいが、病院では対応に困っている。また、マナーの悪い外国人観光客もいる。何か対策してほしい。
- 岐阜県を知らない人が多すぎる。
- 1つの町内に何件も民泊がある。空き家が増えれば民泊が増えるのではないかと心配（治安にも不安がある）。

- ホテルの乱立が目立つが、地元の資本は少ないように思う。地元で税が入るような仕組みを考える必要がある。
- 昔は観光バスが市街地の駐車場に停まり、八幡の屋台会館もにぎわいがあった。貸切バスでの団体は皆、食事をとった後は白川郷を経て金沢へ向かう。ホテルはどんどんつくられているが、観光産業を考えてほしい。
- 観光業にばかり力を入れすぎかなとは感じる。他の、農業や土木業にもう少し手を差し伸べてほしい。
- 今の市は住民のまちではなく、観光客のためのまちになっている。駅前には派手な外観の店があり、ホテルが乱立し、中心部では老舗の商店が立ち退きにあっている。市民の賃金は安いのに、インバウンドの影響で物価が異常に高くなっている。暮らしにくいまちだと感じる。コロナ禍のように国の渡航制限がかかった場合、観光だけの市では生き残るのは難しいと感じる。よって、小さなまちの中での循環型社会を目指すのがとよいと最近思う。
- 外国人観光客が食事できる環境を整えてあげてほしい。夜、食事の場所を探して歩いている人が多くてかわいそうだ。
- 観光客（特に外国人）の市内での交通マナーがまったくダメである。しかし、中には日本人のようなモラルのある人もたくさんいると思う。外国人観光客のおかげで市民には潤っている人々もいるので、世界一の国際観光都市を目指すべきだ。
- 市は観光が主体だが、市民の現在の暮らしとはかけ離れた形骸化したような文化は、いずれ見識ある観光客に見放されるのではないかと危惧している。中身のある観光、そして観光に頼らない産業の発展を願う。
- 民間にて観光客を呼び寄せてはいるが、市政と一緒にプログラムで観光地のガイドが居るとよいと思った。海外の観光客に説明ができれば、すぐに SNS で拡散されて人気が出るのではないか。
- オーバーツーリズムへの対策について、外国人が交通ルールを守らなかったり、レンタカーなどでトラブルになったりしているため、こどもが事件や事故に巻き込まれないか不安だ。個人のモラルの問題とは言え、市としても看板等に外国語を増やしたり、パンフレットにルールを記載するなど、法令遵守を啓発していただきたい。
- 市政が観光に偏重している。
- 高山はオーバーツーリズムだと感じる。観光税のようなものを宿泊施設や観光施設などで徴収して、こどもや若い人達のための財源にしてほしい。
- インバウンドに対しての施策は整ってきていると思う。
- 県外にある商業リゾート施設のように朝市を発展させた施設があっても良いと思う。観光地としての魅力は古い町並くらいしかなく、そこに頼りっぱなしになっていては、いつかは廃れてしまう。コロナが落ち着き、観光客が増えている今だからこそ、次の観光客向けのエンターテインメントを増やす必要があるのではないか。金沢など同じような観光地だが行ってみると、高山市は1歩、2歩、観光地としての魅力が遅れていると思う。
- 観光に関して。一部の人（経営者）はインバウンドの影響で恩恵を受けるかもしれないが、それ以外の人は恩恵を受けることができていないと思う。働く人は、給料も安く、休みも多くない状態で働いている。人件費を抑えることで、その分の利益が経営者に流れているのではないか。古い町並や安川通りなどに、地元以外の会社が出資する店舗ができていく。市の観光資源を使って地元以外の会社が儲けるのはどうなのか。安川通りで観光客が道路を横断する際に、車やバスで道が渋滞していると車の陰からいきなり出てくるので、接触しそうで危険だ。市が観光に力を入れているのであれば、観光で得たお金で警備員を雇うなどして、安全の確保に努めてほしい。

- ・観光都市として今すべきは、新事業・新ルートの開拓ではなく、全市民総意のもと、総力を挙げて「現状維持に当たること」だと思う。いかに歴史に裏打ちされたまちとはいえ、現状を見ると、近い将来には高山らしさを失ってしまう可能性があると思うからだ。具体的に言うと、全国にある「かつては繁栄し今は廃墟となっているようなテーマパーク的地方のまち」の情景が重なる。ゴミ問題、交通マナー問題などもまさに今が瀬戸際だと心配している。変わってしまったもの、壊れてしまったまちを元に戻すことはできない。しかし今を残すことはできる。観光が地元の人々に快く受け入れられる取り組みには私も協力を惜しまない。
- ・観光産業よりも他に産業を推進すべきでは。

地域連携

- ・ずっと市で生活しており、今後も暮らし続けたいと思っているので、もっとみんなが暮らしやすい、活気ある市を作ってほしい。高山地域だけ盛り上げるのではなく、隅々（支所地域）まで盛り上げてほしい。
- ・支所地域などの連携もそうかもしれないが、飛騨の3市1村の連携が弱い。県も巻き込み、施設などについての共有も必要では（例：サッカー場、野球場、文化ホール）。それぞれの負担を役割分担すれば、高山市だけに作らなくてもよいのでは。社会教育をもっと充実させるために、各市村の施設やイベントなどを連携、共有することも考えたらよいと思う。
- ・市の中心部でホテルが乱立しており、昔の高山ではなくなっている。観光も大事だが、支所地域の発展も必要。
- ・市だけでなく飛騨市、下呂市、白川村も交えてもっと飛騨地域が一丸となって持続可能な地域になるような行政を行ってほしい。

協働のまちづくり

- ・体育委員が各班に割り当てられているため、半ば強制的にやらされる。スポーツは強制されて行うものではない。有志を募って、有志で役を決めて自主的に行うべきである。市は、それを良いことだと思えばバックアップすればよい。支所地域だと他にも半ば強制的にやらされることが多い。それが理由で支所地域に住まないなど、不満の声を多々聞く。
- ・町内会のあり方。若者が入りづらい。町内の人との関りがあまりない。
- ・子育て世代の人間は、通常の仕事（職場）だけでも忙しいのに、人によっては仕事に加えて学校での「役」、消防団活動、町内会での「役」（行政の範疇。）こどもの習い事関連の「役」等々が重なり、ことごとく時間を奪われ自分の時間が持てず、ストレスが多い。市政運営において町内会という単位は重要だと思われるが、「役」を嫌って町内会に入らない人は増えるばかり。そもそも絶対的人口が減っているのに「役」は減らない。担い手不足による兼務や高齢化などにより負荷大である。行政のやり方次第で「役」を見直し→減少、廃止にできる物がないか、ぜひ検証してほしい。
- ・自然災害（地震や台風など）が他所に比べて少ない地域なので、本当にありがたく思う。世界情勢がどうなろうとも、これからも安全で安心な暮らしが維持できるとよい。悪質な犯罪が地方でも増えてきている印象がある。防犯対策の取組みはどのようなことが行われているのか知りたい。
- ・町内会をなくしてほしい。
- ・各町内の問題かもしれないが、町内会に入らない家庭が多くある。町内会から抜けられる方も多いと耳にした。防災の面からも、もしもの時に大変だと思う。
- ・町内の仕事が多すぎる。花植えなど、美化は良いが年寄りは大変。
- ・町内会に未加入の人たちが多くいる。全員参加で、より良い町内づくりをすすめてほしい。

- ・アパートやマンションの住民も町内会に参加する条例を作り、町内活動を活性化することが重要だと思う。
- ・まち協の価値がよくわからない。まち協に対する予算の大きな部分が人件費になっているのではないか。
- ・私達の周囲は若い人達がおらず、町内の班は年配者ばかりになってきている。班を回すだけでも大変だ。班を超えてみんなで運営していけるとよい。もっと、若者が帰って来られるような市にしたい。
- ・市のまちづくりにおいて、町内会の在り方に疑問を感じている。昔は地域の活性化や家族間の助け合い等を身をもって感じる事ができたが、現在は、これまでの町内会のあり方そのものを時代に合った形に変更しないといけない気がする。高山でも隣近所同士挨拶をしない、家族構成を知らない、町内会自体に参加しない等が多く見られる。働き方も多様化しており、皆が「週末＝休日、昼間＝就業」とは言えない状況だ。こんな状況のままでは、昨今、震災の頻度が高くなってきている中で、声かけや助け合いの気持ちなど生まれるはずがない。そこで、一人一人が他人に関心を持ち、皆でまちづくりを考える様な仕組みを考えてほしい。
- ・少人数の集落だと高齢化で町内の役や消防団、PTAなどの負担が大きいため、仕事を休んだりしなければならない。これからもっと人口減少が進んでいくので各地域の負担を減らしていくためにもいろいろなことを簡素化してほしい。

広報公聴

- ・市民の声を聞く態勢（心がけ）を忘れずに、邁進してほしい。
- ・「広報たかやま」は新聞折込になっているが、新聞を購読していない若い人達には情報が届いていないのではないか。
- ・ケーブルテレビ局や地元情報誌があるかないかで、市の活動への興味や知れる情報がかかなり違う。私は経済的な理由でこれらを解約し、地域の動きと私生活とが遠くなったと感ずるので、みんなが見られたらいいと思う。
- ・デジタルとかオンラインとか、高齢者にもわかりやすいものに説明が必要だと思う。
- ・広報の放送は、最初と最後しか聞こえず、肝心の内容がまったく聞こえない。スマホで確認すればよいと言われても、今の時代でもスマホが使えない人間はいる。広報の放送は、そのためのものではないのか。本当にきちんと聞こえているのか、確認しているか。今まできちんと聞こえたことが一度もないような気がする。
- ・ふだんの情報源が地域のフリーペーパーなので（新聞や市民時報紙を購読していないため）、子育てに有益な情報や活用できる制度があれば、定期的に載せてほしい。
- ・支所地域であることと、重度障がい者の立場であることから、末端まで情報が届いていないと思っている。私は重度障がい者で、地域での活動や行事への参加は諦めているが、障がい者もふつうに参加できる市だとよいと思う（家族代筆）。
- ・市長面談が月2回設けられているが、限られた人の声しか届いていない。かつて前市長が行っていたように、地域へ出かけて対話集会を開いてほしい。
- ・活字離れが言われる中、広報等での市政運営等について関心を持って目を通す人（市民）がどれくらいいるか疑問だ。特に若者は新聞さえ読むこともなく、活字で「これだけ姿勢を頑張っている」と書かれていても、受け手に響くことが無ければ関心を持つどころではないと思う。やはり、SNSや動画で発信するとか、目で見てわかりやすい方法をもっと考えてもらいたい。

- ・このアンケートを書いてみて、市についてわかっていないことが多いことに改めて気づかされた。今後は市の情報をしっかり見ていきたい。
- ・まち協から連絡はあるが、「市長と語る会」は全然意味がない。もっと市長および幹部は市民との語らいの場を設けたほうがよい（飲酒なしで）。
- ・私から知ろうとしてないのも悪いのだが、市政が何をしているのか何も知らないのも、もっと「市政でこういうのやってます」「やりました」「こういうのをやろうとしています」と情報公開した方が馴染みやすいと思う。

多文化共生・人権

- ・在住外国人のマナーの悪さや、税金・保険料滞納、交通事故の多さ等、あちこちで不満が爆発・炎上しているのは周知のとおり。
- ・外国人にはあまり住んでもらいたくない。個人個人はよい人がほとんどだが、文化も習慣も違うため、今までの日本の安心安全な平和が保たれず、怖いからだ。失ってからでは二度と戻らないと思う。
- ・町内を見ると外国人ばかり。
- ・戦争がないことを祈る。
- ・外国人犯罪が激増している川口市。外国人による土地建物の取得がすすむ京都、北海道。問題が山積みなムスリム土葬墓地。不法残留、不法就労、技能実習生の失踪。日本人の就労機会の減少、処遇改善の阻害。市においても、新穂高等で外国人経営の旅館が何軒もあり、農家でも外国人の雇用が急増して、治安の悪化が懸念される。以上を踏まえ、市民が転出して自治体維持困難にならないよう、国政・県政でなく市政として数十年先を見据えて尽力してほしい。
- ・外国労働者と住民が交流する場所が必要だと思う。皆、口を揃えて高山は寂しいと言う。今後人口が減っていくことは明らかな。国内での移住人口は増えないので、外国人が楽しんで働き、住みやすい環境を提供すれば良いかと思う。

行政全般

- ・日頃の市政全般への努力に感謝する。
- ・市役所の改革が必要では……。当たり前のことしかしない（できない）人が多い。支所は頼りにならない。国や県が決めたことに沿って働いているだけの人が多いと感じるし、そのようなことが良しとされている環境だと感じる。このアンケートで何か変わる期待はない。失敗しないようにしている人ばかりの市役所では、市民のことを真剣には考えてもらえていないと感じている。おもしろい人材が必要である。いるのかもしれないが、押さえつけていないか。
- ・本庁と各支所の手続き・作業に差があると思っている。平等な事務作業をしてほしい。
- ・一部の人しか感じない行政サービスでしかないと思う。一部の人しか得していないと思う。
- ・10年後、20年後の市はどうなっていくのだろう。高齢者が増え、若者はおらず……支所地域が切り捨てられていく不安もある。逆に、切り捨ててコンパクトシティにしていかないと、サービスが十分に提供できなくなることも考えられる。地域を活性化しようとさまざまな活動が行われているが、多忙な日常の中で面倒くさいと感じてしまうことも多く、「はたしてこれで地域のためになっているのか」と思うことも多い。
- ・平成の市町村合併は、3割自治と言われた機能をさらに縮小するもので地域破壊につながると反対した。まさに、そういった状況が予想以上に早く進行しているのが現状だ。支所にはお金が十分配分されず、執行権も限られていて、地域の要望をいろいろ出しても実行されず、声を上げづらくな

っている。市職員が大幅に削減され、しかも身分が不安定な非正規職員が半数近くを占めている。これでは正規職員に負担が大きいのしかかり、市民の声が届きにくい。特に支所地域においては合併前は役場は雇用であり、地域を支える重要な守り手でもあったが、職員の減少で若者の雇用の場が失われている。今のままでは支所地域には人が住めなくなり、動物のすみかになってしまう。

- ・市役所内の各部・課について、縦の関係は当然だが、横の関係がまったくできていない。
- ・せっかくの補助金が受けにくい、本当に補助したいのか。
- ・こどもの悩み事など相談しやすく、行政がきちんと対応している。
- ・行政のための市政でなく、市民のための市政であってほしい。
- ・市は観光だけに力を入れているように感じる。観光は大きな収入源なので大切だが、それを市民に目に見える形で還元してほしい。いろいろな点で飛騨市の方が魅力を感じる（コロナの時も検査キットの助成など）。
- ・観光ばかりに力を入れているが、他県の業者が入って来ており、観光が地元のため活用されていない。若者や高齢者の住みやすい環境づくりに注力してほしい。若者が住みやすく、働く所をつくるため企業誘致するなど、観光以外でも取り組んでほしい。飛騨市のように行政が、どうしたら市民がもっと暮らしやすくなるかなど議論しているのか。削れるコストと必要なコストを検討してほしい。正直なところ、飛騨市や下呂市が色々取り組んでいるのを見て、高山市は何をやっているのかと思ってしまう。あちらは小規模だから実行しやすいのかもしれないが、参考になる事は沢山あるはずだ。
- ・観光だけでなく、住民が暮らしやすいサービスにもっと力を入れてほしい。
- ・市民税が高いのに、見合った行政サービスが提供されていると思えない。合併前の旧町村の高齢化、若年層の少数化が高山地域より顕著に感じられ、若年層が高山地域以外に定住するような魅力が必要ではないか。全国的に言える東京一極集中が、市でも高山地域一極集中になっていないか。支所地域の税金を安くして住みやすくするなどの対策が必要ではないだろうか。

DX（デジタルトランスフォーメーション）

- ・病院のデジタル決済化が進んでいない。いまだに現金で払うのはおかしい。
- ・デジタル対応は確かに今の時代必須だが、災害などのいざという時に脆い。面倒なところは多いが、もっとアナログの可能性を切り捨てずに検討していくことは大切だと思う。不穏な世界情勢からの物価の高騰などを見ても、いざという時のアナログの重要性は今後増していく気がする。
- ・デジタル化ばかりで不安。
- ・市ではさるばるコインを運用しているが、高齢者にはわかりづらくて利用できない。ガラケーでは利用できないので、以前にあった地域振興券がよい。アナログでしかわからない年代にも利用しやすくしてほしい。役所の仕事はデジタル化したほうが効率が良いと思うが、デジタル化についていけない人のことを考慮して、教えてほしい。
- ・結ネットを始めようと設定したところで、なぜかうまくいかず、情報を得られない。デジタル化についていけない人もいることを考慮してほしい。
- ・市全体に言えることで、デジタルに対する考えが大変遅れていると思う。支払いの際、デジタル払いが少なく感じる。
- ・パソコン普及率については無知だが、市の若者が世界の流行に遅れていないかが心配だ。今の時代では家にパソコンがなく成長したという人が居たら、遅れていると思われるだろう。スマホだけで何でもできると思うが、パソコン操作くらいはできるようにした方がいいと思う。

財政運営

- ・ 財政運営について、基金の運用利回りが低すぎる。
- ・ ふるさと創生1億円事業のお金の使途を知りたい。
- ・ 市は令和5年度、37億6164万円の黒字だった。市は税金（固定資産税、市民税）、介護保険料、国民健康保険料等を下げるべきだ。
- ・ 過疎地の集中と選択を進め、インフラ維持コストの効率化と持続可能な地域構築を進めてほしい。

その他

- ・ この先、急激な人口減少・少子高齢化が進み、地方自治体としては税収減となって厳しい時代が到来する。若い労働力は条件の良い大企業等に取り残られてしまい、市へはわずかな人数しか戻って来ないと思う。地方では道路建設事業の中止の可能性もあり、市の景気の先行きは極めて悪い予想しかできない。高齢者でも元気な方は経済を支えるため無理のない範囲で働く、市・県民税をもれなく徴収する努力、こどもたちが郷土を愛する心を育てる教育等、取り組むべき課題は多いと思っている。
- ・ 市政で何に注力されているのか、生活の中で実感できる場面が特にないので、市政に関心を持って意見することができない。
- ・ 高齢者のため、日常生活を送るのに精一杯で、行政の把握が難しい。
- ・ 支所地域に住んでいるが、バスもなく、店もなく、不便に思っている。自分自身も年をとり、だんだんと不安になる。周りも皆お年寄りが多く、助け合っているが、市内として賑わいも少なく、不便なことばかりだ。
- ・ アンケートの内容が、あまり意味のないように感じる。
- ・ 住みにくい。
- ・ 古くからの市の良い所はできるだけ残して欲しい。大都会と同じようにすることが、果たしてよいかどうか。
- ・ 隣の飛騨市の行政の取り組みに見習うべき点は多い。
- ・ 他県より移住して1年余り。生活が便利でとても過ごしやすく、四季行事もあって楽しい。生活を楽しみながら過ごしていこうと思う。
- ・ このような調査が無駄（職員の仕事が増える）。将来の人口減に備えて、コンパクトな市政を。支所地域への投資は税の無駄。過疎化にはあらがえない。人口に比べて市議員が多すぎる。12人でよい。（名古屋市 人口233万人、議員定数68人。大垣市 人口15.7万人、議員定数22人。岐阜市 人口39.6万人、議員定数44人。一方、市は面積が全国一だから、各委員会からみても必要。）
- ・ 若者のUターン、人のIターンを考える。中高年を心身ともに健やかにし、活動させる。究極「人」でしかないので、その改善をすべきかと思う。個々の幸福感がアップするよう願っている。
- ・ 市に来たばかりで、こども達や地域住民と関わる機会もないが、とても良いまちだと感じている。こんなに都会だと思っていたいなかった。もし可能であれば、このまま住み続けたい。とても歴史を感じるのに住みやすいことに、少々ギャップもあるが……。
- ・ このアンケートの対象を市民全員にすれば、多くの声が上がると思う。オンラインも普及しているので、ぜひ活用できるとよい。
- ・ このようなアンケートの郵送代、コピー代がもったいないと感じた。高齢者には無理なので仕方ないと思うが、オンラインなら費用がかからず良いと思う。
- ・ わかりにくいアンケート調査だと思う。

- このアンケートを取って意味があるのか、少し疑問に感じながら記入していた。設問が多すぎる。
- 市町村民税が高い。半分でよいのでは。
- 市にはペットと行ける所がないのが残念だ。
- 市長のリーダーシップを前面に出してほしい。
- 自営業を営んでいるが、大型安売り店ができて私の店の売上は下がり、独身の息子は（借金返済のため）アルバイトするという考えられない状態となっている。私の地域では空き家や一人暮らしが増えてきた。近所にはこどもが少ない。心配事はあるが、生まれ育った地域で、身内も多く暮らせることをありがたく思っている。
- 「感性の原始化」という言葉を耳にする。新聞紙上によれば、岐阜地区の女性は古い体質の現状に嫌気がさして出て行こうとしている、と書いてある。男尊女卑の儒教の考え方が、地方に行くほど社会の縮図として浸透としてあるように思える。そこで、「学歴優先」「年功序列」の慣習の中で思考停止しないで、一地方から変えていくことを提唱したい。地方自治の優等生と思われる高山市からあるべき姿に挑戦し続ける姿を市民に見せ続けてほしい。
- 何パーセントの人々が幸せなのか。それは金銭が豊かだからか。賃金が安いのに物価高、働く仕事は少なく、収入が足りないのが現状だろう。家を買っても、すぐ売家の札を目にする。ホームレスになるも、冬は寒くて無理な土地。たったこれだけの人口なのに、市政は十分なことができない。都会の方が充実している。大野郡白川郷は充実している。隣の飛騨市も頑張っている。市にも頑張してほしい。
- 今後、市政の明確な展望が知りたい。
- こどもから老人まで楽しめる娯楽施設がもう少しあれば。
- もう少し簡潔な方が、答える側も受け取る側も理解しやすく、重点箇所がわかるような気がする。
- 市は物価が高く、賃金は安く、生活しづらい。若者が働く職場が少ない。
- 私は70代半ばだ。問1、2については今のところ……という感じで回答できたが、5年、10年後の問いに同様では違うと思う。健康への不安、家族状況の変動があり、まったく同じでは。
- 賛成多数意見重視ではなく、少数意見も取り入れて、聞く耳を持ってもらいたい。地元民の意見もよいが、県の言うこと、他人の言うことにもっと耳を傾けたら、と思う。
- 知名度を上げてほしい。市長に頑張ってもらいたい。
- たくさん設問があったが、「わからない」の選択肢もあるとよいと思った。
- こどもの減少（少子化）は、親世代への対応が遅れているせいであり、親世代を潤わせるためにはもっと必要なことがあると思う。DXも良いのか悪いのか……。人同士のコミュニケーションを切り捨てていくデジタル。わかりやすすぎて、体を動かしたり、野山をかけめぐったり、本をじっくりと読んだりといった、地域や自分を鍛えることから遠ざかる世の中は、はたしてどうなのかと感じている。
- こども達が将来帰ってきても住みやすく、希望する仕事に就労できるような市政であってほしい（こちらに帰っても仕事がないとよく聞く）。地元のスーパーが閉店するので、将来車の運転ができなくなったときに困るだろう。金山で同スーパーが閉店したときは、下呂市が対策として別のスーパーと契約したと聞いた。高山市でも市政に対策を講じてほしい。
- 市は広いので、コンパクトシティー化をすすめて、行政やインフラの効率化や最適化を図るべきだと考える。
- このようなアンケートがあると、日頃の生活を振り返ることができ、市への要望も伝えやすく、大変良いことだと思う。これからも、良いまちになるように協力したい。

- 先日、市役所そばの歩道を歩いている際、「高山市」と書いてある自動車の危険な運転に遭遇した。市職員だとしたら、非常に腹立たしい。
- 自分の生活を送ることに精一杯で、市政にまで関心が及ばないのが正直なところだ。
- 現在は自分にとっては一番良い時ではないかと思っている。5年後もこの状態が続くのを祈っている。ただ、こども達の声が聞こえなくなったのは寂しい。少子化の時代、何とかならないものか。
- いろいろな設問に対してその実態情報を得ていないので、答えられない部分がある。
- 10年位で急に人口が減ってきていると感じる。地域の合併や事業の統合ができるとういと思う。
- 具体的な活動の内容を知らない。
- 市長の一期目は、内容の把握など大変な中で市民のために世界とつながり、市の未来を考えているのだと信じている。市民に平等に対応することを願っている。
- 行政は、子育て支援・予防医療・介護予防を民間任せにすることなく、本腰を入れて少子化・人口流出を防いでほしい。今の観光業が、周辺の体験イベントを増やすなどだけでは発展しないときがくると思う。その前に、エネルギーの地産地消、食料の地産地消、そして子育て・老人医療・介護からの自立などの事業を利用して市の経済を回すこと。将来を見据えた計画を考えてほしい。
- アンケートで回答できない設問があり、市政にもっと関心を持たなくてはと思う。
- このアンケートに関する意見。多項目にわたる調査がなされているが、直接該当しないと大部分がわからない。例えば、こどもに関する調査では、こどもがいない家庭では具体的な経験がないので「あまり感じない」に丸をつけることになる。同じことが福祉・医療についても言える。調査の精度を高めるためには「わからない」という項目があってもよい。したがって、抽出調査では面接の方が精度が高まる。このアンケートは失敗だと思う。
- 市街地だけに目を向けず、支所地域の活性化やそれなりの権限を与えてほしい。お伺いをたてる支所の地域は住みにくい。
- 固定資産税を軽減してほしい。まずは、身体障がい者手帳取得者の軽減を。また、市役所市民課窓口での各種書類（住民票など）の発行手数料が高過ぎる。
- 市制全般的に、飛騨市の方が活気があると思う。
- お金が無くて、楽しめない。
- 神社の維持費が高い。
- 市は上っ面だけを整えて、自己評価だけ高い。何においても本質がわかっていないので、お金と労力を無駄にかけているように思える。特に障がい者福祉においては、飛騨市や下呂市に劣っているにも関わらず、改善の意思がみられないと感じる。飛騨地域では高山が1番という変なプライドだけは高いが、中身が伴っていない。典型的な田舎者で、閉鎖的なのに外国人観光客には媚びを売っている。
- 長く負担になる無駄なハコモノは避けるべき。民間企業にインセンティブを助成し、誘致して任せべき。
- 地域の自己満足に終わらない主体性ある人生構築と競争力を向上する。
- 支所の合理化はもう少し進められるのでは。
- 自分が今のところ関わっていない（障がい者、高齢者）のことを聞かれても、「感じるか」「感じないか」より「わからない」が正確な回答になると思う。「地域」とは町内会なのかまちづくり協議会なのか、何を指しているのか曖昧に感じた。
- 丹生川で行われている宿禰祭りの宿禰鍋の大鍋を再開してほしい。大きさは日本一でなくとも、あの見応えのある大鍋と飛騨のおいしい野菜を沢山使った宿禰鍋が醍醐味だと思う。

- 若年層減少という局面を開けるような市政を早急にすすめるべき。人がいなければ何も産まれない。年収400万円前後でも自分の家を持ち、着るもの食べる物に困らない生活ができる場所であること。また、素晴らしい自然の中で様々なアクティビティが身近にできることなど、都心部では絶対に実現できない生活が市では可能であることをもっとアピールしてもいいと感じる。
- 健全なこどもの育成が未来に向けて大切なことは十分に理解しているが、優遇されるのが当たり前で感謝を忘れた若い親に育てられるこども達の将来を杞憂することがある。
- 狭い世間の中で凝り固まった概念から脱することも出来ず、理解できない進化に対する戸惑いを怒りのベクトルに変えてしまう高齢者も残念だ。
- 11月の広報誌に市政功労者の氏名が掲載されていた。そのほとんどが市役所及び県職員のOBであったように思う。それぞれが在職時に一定の勤続年数毎に表彰を受けているはずだ。市の貴重な予算を使って、このような方々を表彰するのは止めてほしい。表彰するのであれば、本当に市に貢献された一般市民のみを表彰してほしい。
- 観光ばかりに目を向けるのではなく、住民の幸せのための行政をお願いしたい。
- 飛騨地域においても限界集落では公共交通や公共施設などの利便性の悪化により、一層退去がすすむという負のスパイラルに陥っている。冬季の除雪費用や道路の修繕費など公共費のB/C（費用便益比）を考えれば、国交省が以前から提唱している「コンパクトシティ」について市こそ早期にモデルを構築し実現すべきだと考える。
- 市政に積極的に協力してくれる人には手当や税制待遇があっても良いと思う。それだけ時間、労力がかかるので。
- 観光客が増えても、観光業に就いていない家庭では生活の向上に繋がっていない。このままでは人口が減りそうで心配である。
- なんとか多くの課題を解決し、他の都市部の市町村に負けない市になってほしい。次回選挙では、今期の実績も含めて投票に行こうと考えている。
- 市の行政運営について。飛騨市と比較すると、新たなことに挑戦していくことに関しては、少ない気がする。自治体・組織が大きすぎるのか、業務に対する運営する職員が少ないのかは原因はわからない。職員と話すが、職員で生き生きして仕事をしている方をあまり見たことはないと思う。失敗は恐れずに挑戦していける地盤があったら素敵なまちになる気がする。
- コロナの期間中、セーフティーネットの網から漏れた苦い経験がある。行政による支援の対象に限界があることは理解するが、コロナの期間の総括などがされないまま、市のこれから先を考えてよいものだろうか。ただ、酷い思いをしたが、市への愛は変わらなかった。仮に以前住んでいた土地で同じ経験をしたならば、同じ場所に住み続けられなかっただろう。市が素敵な土地だと思うから今も住み続けているのだ。日々の商いや仕事に追われている私たちに代わって、市を私たち以上に日々考えているのが、役所の職員や市長だと思っている。アンケートへの少し低めな評点は、そもそも伸び代を意識したものであったり、便利や手厚さがいないことが、内発性を呼び覚ましたり、自分でなんとかする高山らしさ（良い面でも悪い面でも）だったりすることを感じてのものだ。身近な方や観光客に「いいまちだな」と言われることで市は成り立っている。それを市民は磨き続けるので、行政にはいっそうの努力を期待する。



高 山 市

まちづくりアンケート